

2026
SYLLABUS
[シラバス]

3

高校3年生

CONTENTS

※本冊子中の「TW」は「TopwiN」を表します。

学習の流れ

- 02 6年間の学習の流れ
- 04 年間スケジュール

科目別シラバス

- | | | |
|------------------|--------------------|--------------|
| 08 英語科カリキュラム | 26 数学科カリキュラム | 42 国語科カリキュラム |
| 10 英語TW α | 28 数学TW/T α | 44 現代文TW |
| 12 英語TW β | 30 数学TW/T β | 46 現代文SK |
| 14 英語T α | 32 数学TW γ | 48 現代文R |
| 16 英語T β | 34 数学SK α | 50 古典TW |
| 18 英語SK α | 36 数学SK β | 52 古文SK |
| 20 英語SK β | 38 数学R α | 54 古文R |
| 22 英語R α | 40 数学R β | 56 小論文 |
| 24 英語R β | | |
| 58 理科カリキュラム | 70 社会科カリキュラム | |
| 60 物理TW | 72 日本史TW α | |
| 62 物理SK | 74 日本史TW β | |
| 64 化学TW | 76 日本史SK α | |
| 66 化学SK | 78 日本史SK β | |
| 68 生物TW | 80 世界史TW | |
| | 82 世界史SK | |
| | 84 地理TW | |
| 86 受講にあたってのご案内 | | |

早稲田アカデミー大学受験部

学習の流れ

- ・ 6年間の学習の流れ
- ・ 年間スケジュール

【6年間の学習の流れ】

(導入:初習 演習:問題演習を交えながら再度学習 入試実戦:過去問演習) ★…一通りの学習が終わる

科目	クラス	中1			中2			中3			高1	
		1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2
英語	TWB→TW・T	All English4技能総合 (英検®準2級レベル)			All English4技能総合 (英検®2級～準1級レベル)			高校英文法・4技能導入 (英検®2級～準1級レベル)			★ 高校文法・4技能演習	
	TW→TW・T	中学文法導入 (英検®3級～準2級レベル)			中学文法発展演習 (英検®準2級～2級レベル)							
	S→SK <small>※高3のみ Rを開講</small>	中学文法導入 (英検®4級～3級レベル)			中学文法演習 (英検®3級～準2級レベル)			高校基礎文法・4技能導入 (英検®準2級～2級レベル)			高校文法・4技能導入	
数学	TWBα→TW	中学内容導入			IA導入		II導入			IIIC導入		
	TWBβ→TW						BC導入		★	IAB演習	IIIABC演習	
	TWα	中学内容導入			IA導入		II導入			IIIC導入		
	TWβ <small>※高3のみ γを開講</small>						BC導入		★		IIIABC演習	
	Sα→SK	中学内容導入			中学内容演習		IA導入	II導入		IIBC導入		
	Sβ→SK											
	Tα									IA導入	II導入	
	Tβ										IIBC導入	
	SKα									IA導入	II導入	
	SKβ											
	SKγ										IIBC導入	
	Rα											
	Rβ											
国語	TW	国語教養導入(古文文法・漢文句法導入)						★ 現代思想導入・古文漢文演習			読解演習(現古漢)	
	T										古文文法・漢文句法導入	
	SK <small>※高3のみ Rを開講</small>										大学入試国語導入(古典文法導入)	
物理	TW											
	SK											
化学	TW											
	SK											
生物	TW											
世界史	TW											
	SK											
日本史	TW											
	SK											
地理	TW											

				高2			高3			
3				1	2	3	1	2	3	
				入試実戦						
★ 高校文法・4技能演習							入試実戦			
★ III C演習							III C入試実戦			
				III ABC入試実戦			III ABC入試実戦			
★ III C演習							III C入試実戦			
				III ABC入試実戦			III ABC入試実戦			
★				III ABC演習	III C導入	★	III C演習	III C入試実戦		
				III ABC演習			III ABC入試実戦			
★	III C導入			★	III C演習		III C入試実戦			
★	III ABC演習						III ABC入試実戦			
				III C導入		★	III C演習	III C入試実戦		
				III ABC入試実戦			III ABC入試実戦			
★				III ABC演習			→TW/T/SKいずれかのβへ			
				III C導入		★	III C入試実戦			
				III ABC演習			III ABC入試実戦			
				入試実戦						
★	読解演習(古漢)	読解演習(現古漢)					入試実戦(TWへ合流)			
★				読解演習(現古漢)			入試実戦			
				力学導入	熱力学導入/波動導入	電磁気学導入	★	全分野演習		入試実戦
				力学導入	熱力学導入/波動導入	電気導入	★	全分野導入・演習		入試実戦
				理論化学導入	無機化学導入	有機化学導入	★	全分野演習		入試実戦
				理論化学導入	無機化学導入	有機化学導入	★	全分野導入・演習		入試実戦
				生物基礎導入	生物導入		★	全分野演習		入試実戦
				導入(全時代)		★	導入(全時代)		★ 演習	
				導入(原始～江戸時代=前近代まで)			導入(全時代・テーマ史)		★ 演習	
				導入(全範囲)		★	導入(全範囲)		★ 演習	

年間スケジュール(高1～高3) ★…クラス選抜試験

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
高1		無料春期講習会		オリエンテーション 保護者会① 定期試験対策	必修テスト① 個別面談①	定期試験対策 ★ 東大への英語・数学・国語 夏期講習会 オリエンテーション TW/Tクラス選抜試験(後期)
高2		オリエンテーション	春期講習会	保護者会① オリエンテーション	必修テスト① 個別面談①	★ 東大水準模試① 夏期講習会 オリエンテーション 東大必勝ジュニア①
高3	オリエンテーション	春期講習会	必勝コース選抜試験(前期)	必勝コース開講 保護者会① 個別面談① オリエンテーション	必修テスト① 必修テスト(マーク)② ★ 東大必勝模試①	夏期講習会 オリエンテーション 早慶難関大必勝模試 夏期集中特訓

※イベントの時期や名称は変更になる場合があります。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修テスト②	定期試験対策 保護者会② オリエンテーション	個別面談② 必修テスト③	定期試験対策 TW/Tクラス選抜試験(前期) ★	冬期講習会 オリエンテーション	個別面談③ 新年度説明会 東大への数学	必修テスト④ 定期試験対策

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修テスト②	東大必勝ジュニア② 保護者会② オリエンテーション	個別面談② 必修テスト③ 早慶大必勝ジュニア	東大水準模試② ★ 冬期講習会 オリエンテーション	正月特訓	個別面談③ 新年度説明会 必修テスト④	

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修テスト③ 必勝コース選抜試験(後期)	東大必勝模試②	必修テスト④ 必修テスト(マーク)⑤ 個別面談② オリエンテーション 保護者会②	個別面談③	東大必勝冬期特訓 冬期講習会 オリエンテーション	私立大学入試 東大必勝テストゼミ 直前特講 大学入学共通テスト 正月特訓	国立大学入試

科目別シラバス

- ・ 英語
- ・ 数学
- ・ 国語
- ・ 理科
- ・ 社会

英語科カリキュラム

中学1年～高校3年

英語科指導方針

TW・Tクラス 授業の進め方

● 英語を「他科目を補う」科目へ

これまでに培ってきた語彙・文法・構文の知識をもとに、東京大学をはじめとした最難関大学の問題に余力をもって対応できる力をつけることを目指します。高2までに体得してきた記述答案作成力をさらに洗練し、英語が他科目を補うアドバンテージとなることを目指して、さまざまな文章、問題形式に対応できる英語の総合力を磨いていきます。授業では、東京大学の問題形式を始め、難関国公立大、私立大の問題を幅広く扱います。その一方で、高3においても引き続き語彙や、文法、構文といった基礎事項の徹底を継続します。

● 領域別学習：α

αクラスにおいては、英文解釈の再確認と、多岐に渡る形式を網羅した長文総合問題の演習を扱います。記述問題の答案作成能力に重点を置き、添削を通じてその視座を身につけます。また、英和要約や、長文下線部説明などの記述問題の答案作成能力に重点を置き、論説文や説明文、エッセイといった多種多様な文章ごとに、どのようにして記述答案を作成していくかの視座を伝えます。自身の記述答案の出来を客観的に振り返ることができるよう、授業では毎週、英和要約問題の添削を実施します。9月以降は実戦感覚をより研ぎ澄ますために、TWクラスは毎回テストゼミを実施します。前期と同様、こちらも答案を毎週添削します。

● 領域別学習：β

βクラスにおいては、英文法の再確認と並行し、英作文の問題演習を扱います。英作文は、整序英作文や和文英訳、エッセイ型の自由記述英作文などあらゆる形式を網羅します。和文英訳では、典型表現の習得から日本語への直訳に工夫を要するような問題への解答視座を、自由記述英作文では文章の組み立てや構成を学ぶなかで、記述した英文をさらに洗練していくことを目指します。αクラスと同様、毎週和文英訳問題と自由記述型英作文の添削を月ごと交互に実施し、答案作成能力を洗練していきます。9月以降は実戦感覚をより研ぎ澄ますために、TWクラスは毎回テストゼミを実施します。前期と同様、こちらも答案を毎週添削します。

SK・Rクラス 授業の進め方

● 英語の実戦的運用

これまでに学んできた高校英文法の理解と運用をさらに発展させながら、それを基盤に、読解をはじめとした4技能の実戦運用を訓練します。授業では文法を介して一文を読み書きできるようになることを目指し、実際の大学入試の問題を取り上げながら、文章の読解、英文の記述の実戦演習を数多くこなしていきます。

● 領域別学習：α

αクラスでは英文解釈と長文総合問題の演習を行います。英文解釈では、文法単元にとらわれず、解釈を誤りやすい、解釈の難易度が高い英文を選びすぐって収録したテキストを使用し、多種多様な英文の解釈を学びます。読解では、大学入試問題の過去問をとりあげ、社会論、文化論といった論説文から、エッセイ、随筆といったさまざまなジャンルの文章に触れ、これまで学んできた英文法の知識と読解を有機的に結びつけていきます。

● 領域別学習：β

βクラスでは英文法知識を更に洗練させるべく、文中空所補充や整序英作文の演習を扱います。高校3年生からは加えて語法の再確認や和文英訳、さらに後期からは空所補充問題や、正誤判定問題など問題形式別演習を授業内で導入し、実戦での得点力を高めます。

【6年間の流れ】

TWBooster・TW(選抜クラス)・S(オープンクラス)																
中1～中3	中学英文法を全て網羅し、中3からは高校英文法の基礎を一通り体系的に学びます。また、中3では作文や和訳を取り入れ、日英両語による表現活動を導入します。															
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:33%;">TWBooster</th> <th style="width:33%;">TW・T</th> <th style="width:33%;">SK</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バイリンガルによるオールイングリッシュの授業を通じ、英語を英語で理解し、英語で発信することを目指す、4技能の総合学習講座です。1年間で英検®準1級に相当する力をつけていきます。</td> <td>語彙や語法といった知識の学習、高校文法の体系学習を1年間で終えます。合わせて、これまで培ってきた基礎語学力を基に、高度な英文の読解と作文による発信を本格的に学んでいきます。</td> <td>高校文法の体系学習に突入し、中学までの内容を凌駕する高度な表現を学んでいきます。無味乾燥な暗記のみに頼らない、本質的な勉強を進めていきます。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">TW・T</th> <th>SK</th> </tr> <tr> <td colspan="2">東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く英語力をつけます。英作文はもちろん、東大固有の設問形式に纏わる記述答案作成の力をつけるべく、実際の入試問題の演習を多く積みます。秋の東大模試で合格点に届く力をつけていきます。</td> <td>語彙や文法といった知識の基盤をかため、本格的に読解や作文といった演習に力を入れ、解答能力の向上を目指します。大学入学共通テストレベルの英語問題にも対応できる力をつけていきます。</td> </tr> <tr> <td>高3</td> <td colspan="2">各クラスが目標とする最難関大学の入試問題を演習形式で対策していきます。合格点に到達することは無論のこと、英語の得点で他科目を補うアドバンテージを生み出せるまで力をつけていきます。TWクラスでは記述答案作成力を更に洗練すべく、添削指導を実施いたします。</td> </tr> </tbody> </table>	TWBooster	TW・T	SK	バイリンガルによるオールイングリッシュの授業を通じ、英語を英語で理解し、英語で発信することを目指す、4技能の総合学習講座です。1年間で英検®準1級に相当する力をつけていきます。	語彙や語法といった知識の学習、高校文法の体系学習を1年間で終えます。合わせて、これまで培ってきた基礎語学力を基に、高度な英文の読解と作文による発信を本格的に学んでいきます。	高校文法の体系学習に突入し、中学までの内容を凌駕する高度な表現を学んでいきます。無味乾燥な暗記のみに頼らない、本質的な勉強を進めていきます。	TW・T		SK	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く英語力をつけます。英作文はもちろん、東大固有の設問形式に纏わる記述答案作成の力をつけるべく、実際の入試問題の演習を多く積みます。秋の東大模試で合格点に届く力をつけていきます。		語彙や文法といった知識の基盤をかため、本格的に読解や作文といった演習に力を入れ、解答能力の向上を目指します。大学入学共通テストレベルの英語問題にも対応できる力をつけていきます。	高3	各クラスが目標とする最難関大学の入試問題を演習形式で対策していきます。合格点に到達することは無論のこと、英語の得点で他科目を補うアドバンテージを生み出せるまで力をつけていきます。TWクラスでは記述答案作成力を更に洗練すべく、添削指導を実施いたします。	
TWBooster	TW・T	SK														
バイリンガルによるオールイングリッシュの授業を通じ、英語を英語で理解し、英語で発信することを目指す、4技能の総合学習講座です。1年間で英検®準1級に相当する力をつけていきます。	語彙や語法といった知識の学習、高校文法の体系学習を1年間で終えます。合わせて、これまで培ってきた基礎語学力を基に、高度な英文の読解と作文による発信を本格的に学んでいきます。	高校文法の体系学習に突入し、中学までの内容を凌駕する高度な表現を学んでいきます。無味乾燥な暗記のみに頼らない、本質的な勉強を進めていきます。														
TW・T		SK														
東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く英語力をつけます。英作文はもちろん、東大固有の設問形式に纏わる記述答案作成の力をつけるべく、実際の入試問題の演習を多く積みます。秋の東大模試で合格点に届く力をつけていきます。		語彙や文法といった知識の基盤をかため、本格的に読解や作文といった演習に力を入れ、解答能力の向上を目指します。大学入学共通テストレベルの英語問題にも対応できる力をつけていきます。														
高3	各クラスが目標とする最難関大学の入試問題を演習形式で対策していきます。合格点に到達することは無論のこと、英語の得点で他科目を補うアドバンテージを生み出せるまで力をつけていきます。TWクラスでは記述答案作成力を更に洗練すべく、添削指導を実施いたします。															

【ノート】

授業に参加するにあたり、以下の2つのノートをご用意ください。

① 授業内講義演習ノート

テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書のみならず、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。鉛筆やシャープペンシルに加え、赤と青のペンをご用意ください。

② 宿題演習ノート

宿題演習用のノートを別に用意して下さい。演習問題の解答だけを書き込むのではなく、間違えた問題の「問題文」と「解答」、「正解の根拠」をまとめましょう。単語の書き取りの練習もこのノートに行ってください。

【音声教材】

英語の音声学習用の教材には以下のものがあります。

① オンライン英会話「Online English Education (OEE)」

月3回のオンライン英会話です。早稲田アカデミーOnlineからOEEのユーザートップページにアクセス可能です。

② 英単語ターゲット1900用音源

スマートフォン、タブレットに対応した音声学習用アプリケーションです。旺文社のHP (<https://www.obunsha.co.jp>) よりインストール可能です。

③ 英熟語ターゲット1000用音源

スマートフォン、タブレットに対応した音声学習用アプリケーションです。旺文社のHP (<https://www.obunsha.co.jp>) よりインストール可能です。

【宿題の量】

学年・クラスにより多少は変動しますが、概ね以下のような分量の課題を出します。

- ① 通常期に関しては授業の復習平均2時間・各種テスト準備平均1時間/週×通常授業30回=90時間程度
- ② 長期休暇期間に関しては、春休み、GW、夏休み、冬休みで合計70時間程度

①+②で年間160時間程度の課題を出します。

また①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しにかかる時間」が増えます。

高2、高3で添削が授業時に行われる場合は、添削が返却されてから、書き直しを実施してください。見て、読んで、おしまい、にすることなく、必ず手を動かすようにしてください。

【テスト(高3)】

東大必勝模試	後期TW/Tクラスの受講には6月の試験で受講資格を得ることが必要です(9月の試験はクラス分けには使用しません)。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受験も可能です。また、この試験を当日全科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。											
	実施月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
必修テスト	記述型全国模試を5月、9月、10月の年3回、マーク型全国模試を6月、11月の年2回受験します。単元学習を離れた実力テストによって、普段の学習がどの程度定着しているかを判断できます。難問・奇問ではなく、標準的な出題がなされ、受験者の「最低限の実力」を正確に判定することが可能です。											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
月例テスト	5月より指定月の初回授業冒頭20分間で行う前月分の復習テストです。80点(100点満点)を合格点とします。 ※TWクラスは実施しません											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
単語テスト(α)	語彙力(英単語)を測定するテストです。TWα・Tα・SKαはさまざまな形式で、Rαは「英→和」「和→英」の形式で25問、各月の2回目と3回目の授業で実施します。英語力の基盤の勉強ですので、毎日時間を取りましょう。90点以上が合格点です。											
熟語テスト(β)	語彙力(英熟語)を測定するテストです。英文中選択空所補充の形式で25問、各月の2回目と3回目の授業で実施します。重要度は英単語と変わりません。90点以上が合格点です。											
文法確認テスト(SK・Rβ)	文法事項、英文表現の定着を測定するテストです。各月の2回目と3回目の授業で実施します。翌授業までに複数日、演習する時間を確保しましょう。80点以上が合格点です。											

高3英語TW α 選抜

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講には、東大必勝模試(TWクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

国内最難関大学に余裕をもって合格できる実戦的な英語力を構築し、入学後の原書講読や英語による論文執筆・口頭発表などにも耐えうるハイレベルな語学力の養成を目指すクラスです。 α クラスでは、英文読解の手法を用いて、英語で書かれた情報の受容力を錬成します。文体や話題など、あらゆるヴァリエティ(多様性)に対応し、すべての入試問題の形態に向き合える力を培います。後期には本番を想定した予想問題からなる1回完結のテストゼミを実施し(合計10回)、万全の体制をつくります。東京大学の入学試験では85点以上(120点満点/受験者平均はおおよそ60点台)の獲得をねらいます。さらなる実戦力を鍛えるために、5月から開講される週末の必勝志望校別コース(大学別特別対策講座)を併せて受講することもおすすめします。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3英語TW/ α Reading Comprehension(前期)

Scrutiny(精読篇)とComprehensives(通読篇)の2セクションからなり、前半セクションでは、東京大学・京都大学・大阪大学といったレベルを想定し、構造と脈絡の特定が難しいものをそれぞれ用意しています。3月は内容把握のための基礎手法を押さえ、4月からは論点別に徐々に難度を上げていきます。後半セクションでは、空所補充や内容一致、文・段落挿入問題などの典型的な出題形式に触れながら論理の展開と文章の構想、ひいては文章の背景や筆者の姿勢までを把握する技法を磨き、仕上げに、東大型の要約問題を演習します。

使用法

予習: 精読篇の和訳問題と通読篇の記号選択式問題はあらかじめ答案を用意しておいてください。

授業: 予習されたものの解説をし、要約問題はその場で演習をします。毎週添削も受けられます。

復習: 新出の語彙を専用のノートやカードに整理し、未知の文構造については手持ちの文法書の当該項目を参照しておいてください。

■ 高3英語TW α テストゼミナール(後期)

東京大学をはじめとする最難関大学の入試傾向を踏まえた実戦テストゼミ。80分のテスト演習と40分の解説を行います。解答用紙を複数枚用意し、記述式の設問については授業にて回収を行い、次回授業までに担当講師が採点のうえ返却します。語彙・要約・和訳・記号式長文・記述式長文の5本柱で構成され、文体(論説・随筆・小説)、話題(自然科学・人文科学・社会科学・文藝)を相互に入れ替えながら出題し、本番でのあらゆる出題に備えた盤石の実力養成をします。

■ 英単語ターゲット1900

大学受験で有用性の高い必要最低限の語彙をコーパス分析によって抽出し、フレーズ単位で効果的に理解させるよう工夫が凝らされた単語帳です。毎週決められた範囲について、確認テストを実施します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英単語ターゲット1900の指定範囲英単語の練習(1日15分/毎日)

毎週100~200語指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に空所補充や語形変化など多様な形式の確認テストを合計25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは翌授業後の追試を指示します。

② テキスト「高3英語TW/ α Reading Comprehension」の指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題/ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

③ テストゼミの復習

テストゼミの答案返却は次回授業となります。記憶が鮮明なうちに解答を見て、よく復習しておきましょう。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
3月~7月	テスト 5分	諸伝達 5分	演習・解説【語彙・英文解釈】 35分	演習・解説【通読】 75分
9月以降	テストゼミ【演習】 80分			テストゼミ【解説】 40分

【カリキュラム】

月	回	精読	通読	単語テスト
3月	①	構造把握基礎①(動詞型・節)	文体研究①/論証過程研究①	-
	②	構造把握基礎②(節)	文体研究②/論証過程研究②	1-200
	③	構造把握基礎③(非定形動詞)	文体研究③/論証過程研究③	201-400
春期	①	動詞構造(動詞型・ネクサス)	論説の文体と社会科学	-
	②	句節構造(関係詞・接続詞・比較)	説明的文体と自然科学	-
	③	概念把握(時間・法性・否定)	随筆の文体と人文科学	-
	④	文脈把握(訳語・省略・代用)	物語・小説の文体と批評	-
4月	①	動詞構造①(動詞型・態)	設問形式研究①/要約と説明①	1-400
	②	動詞構造②(非定形動詞)	設問形式研究②/要約と説明②	401-600
	③	動詞構造③(非定形動詞)	設問形式研究③/要約と説明③	601-800
5月	①	句節構造①(関係詞)	設問形式研究④/要約と説明④	801-1000
	②	句節構造②(関係詞)	設問形式研究⑤/要約と説明⑤	1001-1200
	③	句節構造③(比較)	設問形式研究⑥/要約と説明⑥	1201-1400
6月	①	句節構造④(比較)	設問形式研究⑦/要約と説明⑦	1401-1600
	②	概念把握①(法)	設問形式研究⑧/要約と説明⑧	1601-1800
	③	概念把握②(法)	設問形式研究⑨/要約と説明⑨	1801-1900
7月	①	文脈把握①(省略)	設問形式研究⑩/要約と説明⑩	1-600
	②	文脈把握②(代用)	設問形式研究⑪/要約と説明⑪	601-1200
	③	文脈把握③(訳語選定)	設問形式研究⑫/要約と説明⑫	1201-1900
夏期	①	構造と脈絡①(動詞構造)	テーマ別読解(人文)/要約・文藝①	-
	②	構造と脈絡②(動詞構造)	テーマ別読解(社会)/要約・文藝②	-
	③	構造と脈絡③(機能語構造)	テーマ別読解(自然)/要約・文藝③	-
	④	構造と脈絡④(機能語構造)	テーマ別読解(人文)/要約・文藝④	-
	⑤	構造と脈絡⑤(概念構造)	テーマ別読解(社会)/要約・文藝⑤	-
	⑥	構造と脈絡⑥(概念構造)	テーマ別読解(自然)/要約・文藝⑥	-
9月	①	形式別・分野別テストゼミ①		-
	②	総合実戦テストゼミ①(語彙・要約・和訳・記号式長文・記述式長文)		-
	③	総合実戦テストゼミ②(語彙・要約・和訳・記号式長文・記述式長文)		-
10月	①	形式別・分野別テストゼミ②		-
	②	総合実戦テストゼミ③(語彙・要約・和訳・記号式長文・記述式長文)		-
	③	総合実戦テストゼミ④(語彙・要約・和訳・記号式長文・記述式長文)		-
11月	①	形式別・分野別テストゼミ③		-
	②	総合実戦テストゼミ⑤(語彙・要約・和訳・記号式長文・記述式長文)		-
	③	総合実戦テストゼミ⑥(語彙・要約・和訳・記号式長文・記述式長文)		-
12月	①	形式別・分野別テストゼミ④		-
	②	総合実戦テストゼミ⑦(語彙・要約・和訳・記号式長文・記述式長文)		-
	③	総合実戦テストゼミ⑧(語彙・要約・和訳・記号式長文・記述式長文)		-
冬期	①	物語文の読解 ※TW2組のみ開講	倒置と語順転倒 ※TW2組のみ開講	-
	②	報道文の読解 ※TW2組のみ開講	省略を含む文の演習 ※TW2組のみ開講	-
	③	典型的論説文の読解 ※TW2組のみ開講	総合演習① ※TW2組のみ開講	-
	④	図表つき論説文の読解 ※TW2組のみ開講	総合演習② ※TW2組のみ開講	-
1月	①	入試演習①		-
	②	入試演習②		-
	③	入試演習③		-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3英語TWβ 選抜



東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。
※受講には、東大必勝模試(TWクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

国内最難関大学に余裕をもって合格できる実戦的な英語力を構築し、入学後の原書講読や英語による論文執筆・口頭発表などにも耐えうるハイレベルな語学力の養成を目指すクラスです。βクラスでは、英語で書かれた情報の文法的・語法的側面の解析力を高めながら、そこで獲得した正確な表現力を活用して、実際に英文を執筆する作業(英作文)を行います。前期においてすべての文法・語法分野を系統学習し、英作文に有用な表現を網羅。同時に東京大学をはじめとする難関大学特有の出題形式に習熟させ、東大志望者の場合、夏の東大模試の時点ですでに余裕のある得点ができる能力を涵養します。後期からは本番の出題を想定した1回完結のテストゼミを実施し(合計12回)、万全の体制をつくります。実際の受験では85点以上(東京大学/120点満点/受験者平均はおよそ60点台)の獲得をねらいます。さらなる実戦力を鍛えるために、5月から開講される週末の必勝志望校別コース(大学別特別対策講座)を併せて受講することをおすすめします。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3英語TW/Tβ Written Expression(前期)

Analysis(解析篇)とComposition(構成篇)の2セクションからなり、前半では択一や正誤、整序などの多様な問題形式を通じて、英文が構成される構造的メカニズムと意味概念形成のプロセスを解析し、英文法と語法の網羅的な理解を促進させます。後半では、translation(翻訳)とcomposition(自由英作)を扱い、京都大学に代表される本格的な和英翻訳の手法と、東京大学に代表されるひねりの効いた自由英作文へのアプローチを伝授します。

使用法

予習: 解析篇に予習は不要ですが、構成篇については、指定のあった問題の答案を用意しておいてください。

授業: 解析篇は、解説ののちにその場で演習をします。構成篇についても、演習するものはその場で添削します。

復習: 定評のある文法書(もしくは参考書)を1冊携行し、授業で新出の項目について調べてみることを強くすすめます。受講生の多くが大学入学(あるいは卒業)後も英語を長く使用することを考慮すれば、すぐれた辞典と文法書はぜひ手元に用意しておいてほしいものです。

■ 高3英語TWβ テストゼミナール(後期)

東京大学をはじめとする最難関大学の入試傾向を踏まえた実戦テストゼミ。80分のテスト演習と40分の解説を行います。解答用紙を複数枚用意し、記述式の設問については授業にて回収を行い、次回授業までに担当講師が採点のうえ返却します。音韻・聴解・文法語法・作文の4本柱で構成され、音韻パートでは発音・アクセント、聴解パートではリスニング、文法語法パートでは択一・正誤(不要語削除を含む)・整序、作文パートでは条件英作・和英翻訳・自由英作を出題します。

■ 英熟語ターゲット1000

大学受験に必要な熟語を、コンピュータ解析にもとづいて抽出して編纂した大学受験英熟語帳の決定版。見出し語とその意味のみならず、それが実際に使用されている例文、および、見出し語との同義語・反意語もあわせて必ず学習し、1000の表現を、余すことなく理解してください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英熟語ターゲット1000の指定範囲英熟語の練習(1日15分/毎日)

毎週100個指定された範囲の英熟語を覚えます。翌週に「英文中選択空所補充形式」の確認テストを25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

その週の復習として、指定範囲の解き直しを宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

③ テストゼミの復習

テストゼミの答案返却は次回授業となります。記憶が鮮明なうちに解答を見て、よく復習しておきましょう。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
3月~7月	テスト 5分 諸伝達 5分	文法・語法解説 30分	演習【正誤・整序問題など】 35分	演習【英作文】 45分
9月以降	テストゼミ【演習】 80分		テストゼミ【解説】 40分	

【カリキュラム】

月	回	文法	作文	熟語テスト
3月	①	解析手法の基礎①(語の形態)	翻訳と構成の基礎手法①	-
	②	解析手法の基礎②(句の形態)	翻訳と構成の基礎手法②	1-100
	③	解析手法の基礎③(節の形態)	翻訳と構成の基礎手法③	101-200
春期	①	動詞構造網羅①(動詞型と態)	英語基礎表現構文網羅①	-
	②	動詞構造網羅②(非定形動詞)	英語基礎表現構文網羅②	-
	③	動詞構造網羅③(非定形動詞)	英語基礎表現構文網羅③	-
	④	動詞構造網羅④(時制・相・法)	英語基礎表現構文網羅④	-
4月	①	句節構造(関係詞)/解法研究①/動詞語法①	翻訳と構成①(テーマ・形式別)	1-200
	②	句節構造(関係詞)/解法研究②/動詞語法②	翻訳と構成②(テーマ・形式別)	201-300
	③	句節構造(文の形式)/解法研究③/動詞語法③	翻訳と構成③(テーマ・形式別)	301-400
5月	①	句節構造(接続詞)/解法研究④/動詞語法④	翻訳と構成④(テーマ・形式別)	401-500
	②	句節構造(比較)/解法研究⑤/動詞語法⑤	翻訳と構成⑤(テーマ・形式別)	501-600
	③	句節構造(比較)/解法研究⑥/名詞語法①	翻訳と構成⑥(テーマ・形式別)	601-700
6月	①	概念構造(時間)/解法研究⑦/名詞語法②	翻訳と構成⑦(テーマ・形式別)	701-800
	②	概念構造(法性)/解法研究⑧/代名詞語法①	翻訳と構成⑧(テーマ・形式別)	801-900
	③	概念構造(否定)/解法研究⑨/代名詞語法②	翻訳と構成⑨(テーマ・形式別)	901-1000
7月	①	変則構造(倒置省略)/解法研究⑩/形容詞語法①	翻訳と構成⑩(テーマ・形式別)	1-400
	②	変則構造(倒置省略)/解法研究⑪/形容詞語法②	翻訳と構成⑪(テーマ・形式別)	401-700
	③	変則構造(強調)/解法研究⑫/副詞語法	翻訳と構成⑫(テーマ・形式別)	701-1000
夏期	①	構造解析実践演習①/語法網羅①	テーマ別英訳・自由英作形式別研究①	-
	②	構造解析実践演習②/語法網羅②	テーマ別英訳・自由英作形式別研究②	-
	③	構造解析実践演習③/語法網羅③	テーマ別英訳・自由英作形式別研究③	-
9月	①	形式別・分野別テストゼミ①		-
	②	総合実戦テストゼミ①(音韻・聴解・文法語法・作文)		-
	③	総合実戦テストゼミ②(音韻・聴解・文法語法・作文)		-
10月	①	形式別・分野別テストゼミ②		-
	②	総合実戦テストゼミ③(音韻・聴解・文法語法・作文)		-
	③	総合実戦テストゼミ④(音韻・聴解・文法語法・作文)		-
11月	①	形式別・分野別テストゼミ③		-
	②	総合実戦テストゼミ⑤(音韻・聴解・文法語法・作文)		-
	③	総合実戦テストゼミ⑥(音韻・聴解・文法語法・作文)		-
12月	①	形式別・分野別テストゼミ④		-
	②	総合実戦テストゼミ⑦(音韻・聴解・文法語法・作文)		-
	③	総合実戦テストゼミ⑧(音韻・聴解・文法語法・作文)		-
冬期	①	総合①(音韻・語彙・作文総合) ※TW2組のみ開講		-
	②	総合②(音韻・語彙・作文総合) ※TW2組のみ開講		-
	③	総合③(音韻・語彙・作文総合) ※TW2組のみ開講		-
	④	総合④(音韻・語彙・作文総合) ※TW2組のみ開講		-
1月	①	入試演習①		-
	②	入試演習②		-
	③	入試演習③		-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3英語Tα (読解) 選抜

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

※受講には、東大必勝模試(TWクラス選抜試験)か早慶難関大必勝模試(Tクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

講座の目的

文構造と文法事項、さらには文内容も十分理解したうえで一文を正確に和訳する精読力と、文同士・段落同士のつながり(論理関係)を理解する長文読解力を相乗的に伸ばすのが本講座のねらいです。

長文講義では、英文の論理関係を正確に読み解く力と、設問側に隠された出題者の意図を見抜く解答力を総合的に鍛えます。

学年の終了時においての到達度の目安は、東大二次試験に余裕を持って合格できる英語力です。さらなる実戦力を鍛えるために、5月から開講される週末の必勝志望校別コース(大学別特別対策講座)を併せて受講することもおすすめします。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3英語TW/Tα Reading Comprehension(前期)

■ 高3英語TW/Tα長文(後期)

長文読解のメインテキストです。東大や難関国立大、早慶大などの入試問題を中心に構成されています。抽象度の高い本格的な長文を論理的に読み解くスキルや、説明問題などの記述形式の問題へ対応できる力を養成します。

使用法

予習:講師の指示があった場合は指定範囲の長文を予習してから臨んでください。予習では、まず辞書を使用せずに全ての問題をノートに解答し、その後、全文の語句を調べておいてください。

授業:長文の解説を中心に授業は進みます。解説の際に講師が行う板書は、ノートに写してください。

復習:長文問題を音読してから解き直します。その際、構文がわからない部分が残らないようにノートを参照しながら復習してください。疑問点はそのまませず、授業担当者やアシスタスタフに質問してください。なお、TWα・Tαクラスは各講の難関大学編を主に扱います。

■ 英文解釈II(後期)

短文精読の演習テキストです。抽象度の高い文章を正確に読むために、一文を正確に読む力をつけ、国立大などの英文和訳問題への対応力を身につけます。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で演習、解説を行います。授業で扱った問題以外の中から宿題が指示されます。

宿題:ノートに英文を写し、構文の分析を行ったうえで和訳します。訳文は頭の中だけでなく、必ずノートに書くようにしましょう。

■ 英単語ターゲット1900

大学受験で有用性の高い必要最低限の語彙をコーパス分析によって抽出し、フレーズ単位で効果的に理解させるよう工夫が凝らされた単語帳です。毎週決められた範囲について、定義・派生・表現・語源などの観点で作られたハイレベルの確認テストを実施します。なお、月例テストでも前月の単語テスト範囲から10問程度出題します。

■ 多義語コーパス

さまざまな意味を持つ単語を1冊にまとめた教材です。指定時期にはテストを行います。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英単語ターゲット1900の指定範囲英単語の練習(1日15分/毎日)

毎週200~300語指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に空所補充や語形変化など多様な形式の確認テストを合計25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは翌授業後の追試を指示します。

② テキスト「高3英語TW/Tα Reading Comprehension/長文」の指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題/ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
単語テスト 5分	解説 諸伝達 5分 5分	演習・解説【精読】 45分	解説【長文読解】 60分	

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	長文	精読	単語テスト
3月	①	構造把握基礎①(動詞型・節)	文体研究①/論証過程研究①	-
	②	構造把握基礎②(節)	文体研究②/論証過程研究②	1-200
	③	構造把握基礎③(非定形動詞)	文体研究③/論証過程研究③	201-400
春期	①	動詞構造(動詞型・ネクサス)	論説的文体と社会科学	-
	②	句節構造(関係詞・接続詞・比較)	説明的文体と自然科学	-
	③	概念把握(時間・法性・否定)	随筆的文体と人文科学	-
	④	文脈把握(訳語・省略・代用)	物語・小説的文体と批評	-
4月	①	動詞構造①(動詞型・態)	設問形式研究①/要約と説明①	1-400
	②	動詞構造②(非定形動詞)	設問形式研究②/要約と説明②	401-600
	③	動詞構造③(非定形動詞)	設問形式研究③/要約と説明③	601-800
5月	①	句節構造①(関係詞)	設問形式研究④/要約と説明④	月例テスト
	②	句節構造②(関係詞)	設問形式研究⑤/要約と説明⑤	801-1000
	③	句節構造③(比較)	設問形式研究⑥/要約と説明⑥	1001-1200
6月	①	句節構造④(比較)	設問形式研究⑦/要約と説明⑦	月例テスト
	②	概念把握①(法)	設問形式研究⑧/要約と説明⑧	1201-1400
	③	概念把握②(法)	設問形式研究⑨/要約と説明⑨	1401-1600
7月	①	文脈把握①(省略)	設問形式研究⑩/要約と説明⑩	月例テスト
	②	文脈把握②(代用)	設問形式研究⑪/要約と説明⑪	1601-1800
	③	文脈把握③(訳語選定)	設問形式研究⑫/要約と説明⑫	1801-1900
夏期	①	構造と脈絡①(動詞構造)	テーマ別読解(人文)/要約・文藝①	-
	②	構造と脈絡②(動詞構造)	テーマ別読解(社会)/要約・文藝②	-
	③	構造と脈絡③(機能語構造)	テーマ別読解(自然)/要約・文藝③	-
	④	構造と脈絡④(機能語構造)	テーマ別読解(人文)/要約・文藝④	-
	⑤	構造と脈絡⑤(概念構造)	テーマ別読解(社会)/要約・文藝⑤	-
	⑥	構造と脈絡⑥(概念構造)	テーマ別読解(自然)/要約・文藝⑥	-
9月	①	空所補充 説明問題	第1~4回 倒置の考察	-
	②	リード文つき内容一致	第5~7回 強調と倒置	1-400
	③	英語文での内容一致	第8~10回 関係代名詞の応用	401-700
10月	①	リード文無し内容一致	第11~12回 分裂文(強調構文)	月例テスト
	②	説明問題	第13~17回 様々な比較	701-1000
	③	空所補充型要約問題	第18~23回 比較の倒置と省略	1001-1300
11月	①	記述型要約問題	第24~25回 名詞構文①	月例テスト
	②	段落補充問題	第26~27回 名詞構文②	1301-1600
	③	段落ごとの内容一致	第28~30回 助動詞と仮定法	1601-1900
12月	①	総合問題①	第31~32回 同格表現	月例テスト
	②	総合問題②	第33~36回 省略①	多義語対策①※別教材を事前に配布します
	③	総合問題③	第37~39回 省略②	多義語対策②※別教材を事前に配布します
冬期	①	物語の読解	倒置と語順転倒	-
	②	報道文の読解	省略を含む文の演習	-
	③	典型的論説文の読解	総合演習①	-
	④	図表付き論説文の読解	総合演習②	-
1月	①	入試演習①	-	-
	②	入試演習②	-	総まとめテスト①
	③	入試演習③	-	総まとめテスト②

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3英語Tβ(文法・作文) 選抜

通常授業(1回)

講習会(1回)

120分

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

※受講には、東大必勝模試(TWクラス選抜試験)か早慶難関大必勝模試(Tクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

講座の目的

与えられた選択肢を組み合わせるだけの受動的な文法学習から脱却するために、文法学習であっても英作文演習の手法を取り入れ、自ら英文を構築することで、鋭い構造分析力と磐石な英文構成力を錬成します。同時に、併願校となる難関私立大学の入試で求められる知識を身につけるため、効果的な語彙力増強、網羅的な語法問題演習も行います。さらなる実戦力を鍛えるために、5月から開講される週末の必勝志望校別コース(大学別特別対策講座)を併せて受講することもおすすめします。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3英語TW/Tβ Written Expression(前期)

■ 高3英語TW/Tβ文法(後期)

英文法と語法の理解を磐石のものとし、そのうえで、その知識を文法問題のみならず、英作文や英文読解にまで応用する力を付けるために編纂されたテキストです。あらゆる事象を扱いながら、それを可能なかぎりコンパクトに編集し、この1冊がそのまま文法・語法辞典としても機能するようつくられています。

使用法

予習:見開き左ページに掲載された例文の和訳を、辞書を引きながらノートに記しておいてください。

授業:左ページの例文を用いながら、右ページにまとめられた文法事項を解説し、解説後に、続くページに掲載された練習問題に取り組みます。練習問題は、Basic(基本)、Intermediate(標準)、Advanced(発展)とグレード別になっており、IntermediateとAdvancedを中心に講義内で演習し、その場で解説します。

復習:講義内演習でやり残した練習問題のうち、担当講師に指定されたものを翌週までに取り組んでください。指定のなかったものも、巻末の解答を使用して、実力強化に用いてください。

■ 高3英語TW/Tβ作文(後期)

文法ジャンル別[整序・条件英作]、表現ジャンル別、アプローチ別+テーマ別+自由英作文の3パートから成り立ち、多角的視点から英文構築能力をムラなく無駄なく培うために編纂されたテキストです。

使用法

予習:事前に指定された問題を、和英・英和・英英辞書各種を用いて解答しておいてください。ほとんどの問題が、文法篇テキストで扱うテーマと連動しており文法篇テキストの復習用としても適しています。

授業:授業内で演習、解説を行います。また、その場で適宜、添削も行います。

復習:指定された残りの問題に取り組みます。辞書を用いずに1度解答し、その上で辞書を使用して解答を洗練させてください。和英辞書のみならず、使用した語句を英和辞書・英英辞書で参照し直すことをおすすめします。

■ 英熟語ターゲット1000

大学受験に必要な熟語を、コンピュータ解析にもとづいて抽出して編纂した大学受験英熟語帳の決定版。見出し語とその意味のみならず、それが実際に使用されている例文、および、見出し語との同義語・反意語もあわせて必ず学習し、1000の表現を、余すことなく理解してください。なお、月例テストでも前月の熟語テスト範囲から10問程度出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英熟語ターゲット1000の指定範囲英熟語の練習(1日15分/毎日)

毎週100~200個指定された範囲の英熟語を覚えさせます。翌週に「英文中選択空所補充形式」の確認テストを25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

その週の復習として、指定範囲の解き直しを宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
熟語テスト 5分	解説 諸伝達 5分	解説・演習【文法・語法】 70分		演習・解説【作文】 35分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	文法	作文	熟語テスト
3月	①	解析手法の基礎①(語の形態)	翻訳と構成の基礎手法①	-
	②	解析手法の基礎②(句の形態)	翻訳と構成の基礎手法②	1-100
	③	解析手法の基礎③(節の形態)	翻訳と構成の基礎手法③	101-200
春期	①	動詞構造網羅①(動詞型と態)	英語基礎表現構文網羅①	-
	②	動詞構造網羅②(非定形動詞)	英語基礎表現構文網羅②	-
	③	動詞構造網羅③(非定形動詞)	英語基礎表現構文網羅③	-
	④	動詞構造網羅④(時制・相・法)	英語基礎表現構文網羅④	-
4月	①	句節構造(関係詞)/解法研究①/動詞語法①	翻訳と構成①(テーマ・形式別)	1-200
	②	句節構造(関係詞)/解法研究②/動詞語法②	翻訳と構成②(テーマ・形式別)	201-300
	③	句節構造(文の形式)/解法研究③/動詞語法③	翻訳と構成③(テーマ・形式別)	301-400
5月	①	句節構造(接続詞)/解法研究④/動詞語法④	翻訳と構成④(テーマ・形式別)	月例テスト
	②	句節構造(比較)/解法研究⑤/動詞語法⑤	翻訳と構成⑤(テーマ・形式別)	401-500
	③	句節構造(比較)/解法研究⑥/名詞語法①	翻訳と構成⑥(テーマ・形式別)	501-600
6月	①	概念構造(時間)/解法研究⑦/名詞語法②	翻訳と構成⑦(テーマ・形式別)	月例テスト
	②	概念構造(法性)/解法研究⑧/代名詞語法①	翻訳と構成⑧(テーマ・形式別)	601-700
	③	概念構造(否定)/解法研究⑨/代名詞語法②	翻訳と構成⑨(テーマ・形式別)	701-800
7月	①	変則構造(倒置省略)/解法研究⑩/形容詞語法①	翻訳と構成⑩(テーマ・形式別)	月例テスト
	②	変則構造(倒置省略)/解法研究⑪/形容詞語法②	翻訳と構成⑪(テーマ・形式別)	801-900
	③	変則構造(強調)/解法研究⑫/副詞語法	翻訳と構成⑫(テーマ・形式別)	901-1000
夏期	①	構造解析実践演習①/語法網羅①	テーマ別英訳・自由英作形式別研究①	-
	②	構造解析実践演習②/語法網羅②	テーマ別英訳・自由英作形式別研究②	-
	③	構造解析実践演習③/語法網羅③	テーマ別英訳・自由英作形式別研究③	-
9月	①	動詞形成構造①/形容詞語法①	条件英作/法と文体⑰～⑱/ジャンル別(人文)	-
	②	動詞形成構造②/形容詞語法②	条件英作/法と文体⑲～⑳/ジャンル別(社会)	1-200
	③	機能語形成構造①/形容詞語法③	条件英作/法と文体㉑～㉒/ジャンル別(自然)	201-400
10月	①	機能語形成構造②/形容詞語法④	条件英作/法と文体㉓～㉔/ジャンル別(時事)	月例テスト
	②	時間表現法/冠詞類語法	条件英作/法と文体㉕～㉖/ジャンル別(人文)	401-600
	③	法性表現法①/副詞語法①	条件英作/論理①～②/ジャンル別(社会)	601-800
11月	①	法性表現法②/副詞語法②	条件英作/論理③～④/ジャンル別(自然)	月例テスト
	②	比較表現法①/名詞語法①	条件英作/論理⑤～⑥/ジャンル別(時事)	801-1000
	③	比較表現法②/名詞語法②	条件英作/論理⑦～⑧/ジャンル別(人文)	1-300
12月	①	要素移動諸系①/名詞語法③	条件英作/論理⑨～⑩/ジャンル別(社会)	月例テスト
	②	要素移動諸系②/代名詞語法①	条件英作/論理⑪～⑫/ジャンル別(自然)	301-600
	③	要素移動諸系③/代名詞語法②	条件英作/ジャンル別(時事)	601-1000
冬期	①	総合①(音韻・語彙・作文総合)	-	-
	②	総合②(音韻・語彙・作文総合)	-	-
	③	総合③(音韻・語彙・作文総合)	-	-
	④	総合④(音韻・語彙・作文総合)	-	-
1月	①	総合⑤(音韻・語彙・文法語法・作文)	-	-
	②	総合⑥(音韻・語彙・文法語法・作文)	-	-
	③	総合⑦(音韻・語彙・文法語法・作文)	-	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3英語SKα (読解)

対象

難関国公立大や、早慶上智大などの最難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

文構造や文法事項も理解したうえで一文を正確に和訳する精読力と、文同士・段落同士のつながり(論理関係)を理解する長文読解力を相乗的に伸ばすのが本講座のねらいです。

長文講義では、英文の論理関係を正確に読み解く力と、設問に隠された出題者の意図を見抜く解答力を総合的に鍛えます。

学年終了時における到達度の目安は英検[®]準1級、TOEICで750点程度となり、早慶上智大合格に必要な水準に到達することを目指します。さらなる実戦力を鍛えるために、5月から開講される週末の必勝志望校別コース(大学別特別対策講座)を併せて受講することをおすすめします。

※英検[®]は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3英語SKα (前期・後期)

3月から使用する長文テキストです。形式別の解法を定着させ、最新の入試頻出テーマを理解するための良問を精選しています。

使用法

予習:講師の指示があった場合は一部予習を課すことがあります。予習では、まず辞書を使用せずに全ての問題をノートに解答し、その後、わからなかった全文語句を調べておいてください。

授業:長文の解説を中心に授業は進みます。解説の際に講師が行う板書は、ノートに写してください。

復習:長文問題を音読してから解き直します。その際、構文がわからない部分が残らないようにノートを参照しながら復習してください。疑問点はそのままにせず、授業担当者やアシスタスタフに質問してください。月例テストは各回の大問1または大問2より出題します。

■ 英文解釈Ⅰ (前期)・Ⅱ (後期)

短文精読の演習テキストです。抽象度の高い文章を正確に読むために、一文を正確に読む力をつけ、国立大などの英文和訳問題への対応力を身につけます。月例テストの範囲になる点を踏まえた学習が必要です。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で演習、解説を行います。授業で扱った問題以外の中から宿題が指示されます。

復習:ノートに英文を写し、構文の分析を行った上で和訳します。訳文は頭の中だけではなく、必ずノートに書くようにしましょう。

■ 英単語ターゲット1900

大学受験で有用性の高い必要最低限の語いをコーパス分析によって抽出し、フレーズ単位で効果的に理解させるよう工夫が凝らされた単語帳です。毎週決められた範囲について、定義・派生・表現・語源などの観点で作られたハイレベルの確認テストを実施します。なお、月例テストでは前月の単語テスト範囲から語い問題を10問程度出題します。

■ 多義語コーパス

さまざまな意味を持つ単語を1冊にまとめた教材です。指定時期にはテストを行います。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英単語ターゲット1900の指定範囲英単語の練習 (1日15分/毎日)

毎週200語程度指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に空所補充や語形変化など多様な形式を組み合わせた確認テストを合計25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは翌授業後の追試を指示します。

② 長文テキストの指定範囲の演習 (1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題/ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

③ テキスト「英文解釈Ⅰ・Ⅱ」の指定範囲の演習 (1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題/ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

【授業進行例(通常授業)】

0		30		60		90		120
単語テスト 5分	解説 5分	諸伝達 5分	演習・解説【精読】 45分	解説【長文読解】 60分				

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	長文	精読	単語テスト
3月	①	日常生活①	-	-
	②	日常生活②	-	1-200
	③	文化①	-	201-400
春期	①	長文総合問題演習①	Vの諸相	-
	②	長文総合問題演習②	Sの諸相	-
	③	長文総合問題演習③	各動詞型の特長	-
	④	長文総合問題演習④	SVOC型の特性	-
4月	①	文化②	第1回 動詞型	1-400
	②	自然・化学技術①	第2回 節と接続詞	401-600
	③	自然・化学技術②	第3回 名詞節とwhat	601-800
5月	①	社会・経済①	第4回 関係代名詞	月例テスト
	②	社会・経済②	第5回 関係代名詞の省略	801-1000
	③	日常生活③	第6～7回 名詞節と副詞節	1001-1200
6月	①	日常生活④	第8回 同格関係	月例テスト
	②	文化③	第9～10回 thatの働き	1201-1400
	③	文化④	第11～12回 不定詞と動名詞	1401-1600
7月	①	自然・科学技術③	第13回 分詞構文	月例テスト
	②	自然・科学技術④	第14～16回 ダッシュやコロンの働き	多義語対策①※別教材を事前に配布します
	③	社会・経済③	第17～18回 等位接続詞	多義語対策②※別教材を事前に配布します
夏期	①	長文総合問題演習①	-	-
	②	長文総合問題演習②	-	-
	③	長文総合問題演習③	-	-
	④	長文総合問題演習④	-	-
	⑤	長文総合問題演習⑤	-	-
	⑥	長文総合問題演習⑥	-	-
9月	①	入試英語長文総合演習①	第1～4回 倒置	1-1600
	②	入試英語長文総合演習②	第5～7回 強調と倒置	1601-1800
	③	入試英語長文総合演習③	第8～10回 関係代名詞の応用	1801-1900
10月	①	入試英語長文総合演習④	第11～12回 分裂文(強調構文)	月例テスト
	②	入試英語長文総合演習⑤	第13～17回 様々な比較	1-400
	③	入試英語長文総合演習⑥	第18～23回 比較の倒置と省略	401-700
11月	①	入試英語長文総合演習⑦	第24～25回 名詞構文①	月例テスト
	②	入試英語長文総合演習⑧	第26～27回 名詞構文②	701-1000
	③	入試英語長文総合演習⑨	第28～30回 助動詞と仮定法	1001-1300
12月	①	入試英語長文総合演習⑩	第31～32回 同格表現	月例テスト
	②	入試英語長文総合演習⑪	第33～36回 省略①	多義語対策③※別教材を事前に配布します
	③	入試英語長文総合演習⑫	第37～39回 省略②	多義語対策④※別教材を事前に配布します
冬期	①	長文総合問題演習①	-	-
	②	長文総合問題演習②	-	-
	③	長文総合問題演習③	-	-
	④	長文総合問題演習④	-	-
1月	①	入試英語長文総合演習⑬	-	-
	②	入試英語長文総合演習⑭	-	1301-1600
	③	入試英語長文総合演習⑮	-	1601-1900

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3英語SK β (文法・作文)

対象

難関国公立大や、早慶上智大などの最難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

与えられた選択肢を組み合わせるだけの受動的な文法学習から脱却するために、文法学習であっても英作文演習の手法を取り入れ、自ら英文を構築することで、鋭い構造分析力と磐石な英文構成力を錬成します。同時に、難関私立大学の入試で求められる知識を身につけるため、効果的な語い力増強、網羅的な語法問題演習も行います。さらなる実戦力を鍛えるために、5月から開講される週末の必勝志望校別コース(大学別特別対策講座)を併せて受講することもおすすめします。

【教材】※講習会は別テキストです。

■ 高校新演習スタンダード 大学受験 英語 文法編(前期)

3月から7月に使用する英文法のメインテキストです。入試に必要な不可欠な文法内容を、選択・整序・正誤・空欄補充などさまざまな問題形式で確認します。

使用法

予習:基本的に必要ありません。担当講師の指示に従ってください。

授業:基本的な事柄を導入してから、演習問題Bを中心に演習に入ります。講師が行った板書をきちんとノートに写し、家庭で復習できるようにしてください。また、演習問題を解くときもノートを参考にしながら、しっかりと考えながら解くことを習慣にしましょう。

復習:授業で扱われた内容をノートを見ながら復習します。また、講師から指示のあったテキストの問題を解き、解説をしっかりと読んでください。間違えた問題は、まとめをつくるなどして、なぜ間違えたのかを考えるようにしてください。

確認テスト:翌週の授業で使用します。講師から指示があるまで解かないでください。

■ 高校新演習プログレス 大学受験 英語 文法・語法編(後期)

9月から1月に使用する英文法のメインテキストです。文法単元学習と設問形式別演習を並行して行います。

使用法:基本的には前期と同様です。

授業:基本的な事柄を導入してから、講師が指定する問題の演習に入ります。

確認テスト:翌週の授業で使用します。講師から指示があるまで解かないでください。

■ 英熟語ターゲット1000

大学受験に必要な熟語を、コンピュータ解析にもとづいて抽出して編纂した大学受験英熟語帳の決定版。見出し語とその意味のみならず、それが実際に使用されている例文、および、見出し語との同義語・反意語もあわせて必ず学習し、1000の表現を、余すことなく理解してください。なお、月例テストでは前月の熟語テスト範囲から語い問題を10問程度出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英熟語ターゲット1000の指定範囲英熟語の練習(1日15分/毎日)

毎週100個指定された範囲の英熟語を覚えます(9月②から範囲が広くなります)。翌週に「英文中選択空所補充形式」の確認テストを25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

その週の復習として、指定範囲の解き直しを宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
文法・熟語テスト 15分	諸伝達 5分	解説・演習【文法・語法】 65分		演習・解説【作文】 35分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	文法	確認テスト	熟語テスト
3月	①	第1講 時制	-	-
	②	第12講 仮定法	第1講	1-100
	③	第3講 助動詞	第12講	101-200
春期	①	動詞の語法と文型(1)	-	-
	②	動詞の語法と文型(2)	-	-
	③	動詞の語法と文型(3)	-	-
	④	動詞の語法と文型(4)	-	-
4月	①	第2講 動詞	-	1-200
	②	第4講 受動態	第2講	201-300
	③	第5講 不定詞	第4講	301-400
5月	①	第6講 動名詞/第7講 分詞	-	月例テスト
	②	第9講 接続詞	第6-7講	401-500
	③	第8講 関係詞(1)(演習問題A)	第9講	501-600
6月	①	第8講 関係詞(2)(演習問題B)	-	月例テスト
	②	第10講 疑問詞	第8講	601-700
	③	第16講 否定	第10講	701-800
7月	①	第13講 名詞・冠詞・代名詞(1)(演習問題A)	-	月例テスト
	②	第13講 名詞・冠詞・代名詞(2)(演習問題B)	第16講	801-900
	③	第14講 形容詞・副詞	第13講	901-1000
夏期	①	前置詞+比較(1)	-	-
	②	前置詞+比較(2)	-	-
	③	前置詞+比較(3)	-	-
9月	①	第16講 空所補充問題(1)	-	1-1000
	②	第20講 同意表現選択(1)	第16講	1-200
	③	第17講 空所補充問題(2)	第20講	201-400
10月	①	第22講 正誤問題(1)	-	月例テスト
	②	第18講 空所補充問題(3)	第22講	401-600
	③	第24講 連立完成問題(1)	第18講	601-800
11月	①	第19講 空所補充問題(4)	-	月例テスト
	②	第26講 整序問題(1)	第19講	801-1000
	③	第25講 連立完成問題(2)	第26講	1-300
12月	①	第21講 同意表現選択(2)	-	月例テスト
	②	第27講 整序問題(2)	第21講	301-600
	③	第23講 正誤問題(2)	第23講	601-1000
冬期	①	総合問題演習(1)	-	-
	②	総合問題演習(2)	-	-
	③	総合問題演習(3)	-	-
	④	総合問題演習(4)	-	-
1月	①	第28講 総合問題(1)	-	-
	②	第29講 総合問題(2)	-	-
	③	第30講 総合問題(3)	-	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3英語Rα（読解）

対象

基礎事項を確認しながら英語の力を高め、学習院大・明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大・東京理科大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

難関大学を目指す人を対象に、英文の基本となる「文構造」、そして「長文の論理展開」を学習していく講座です。初歩から丁寧に学習を進めますので、英語に不安を持っている人でも心配ありません。

本講では、1学期で英文法の知識を正しく使い正確に英文を解析できる力を付け、2学期以降本格的に英文の論理展開を学びます。

講義は精読と読解に分けて進められます。毎回、正確な英文の解析に必要なテーマを設け、その学習に最適な英文を学習します。また、長文においては私大レベルの問題を中心に、英文特有の論理構造を学習していきます。

学年終了時における到達度の目安は英検[®]2級、TOEICで600点程度となり、GMARCHなどの難関大学に合格するのに必要とされる水準に到達できます。さらなる実戦力を鍛えるために、5月から開講される週末の必勝志望校別コース(大学別特別対策講座)を併せて受講することもお勧めします。

※英検[®]は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高校新演習スタンダード 大学受験 英語 読解編

長文読解のメインテキストです。私大レベルの長文を中心に構成され、英文独特の論理構造を学んでいきます。

使用法

予習: 講師の指示があった場合は指定範囲の長文を予習してから臨んでください。予習では、まず辞書を使用せずに全ての問題をノートに解答し、その後、テキストに付属する予習ノートを使いながら、全文の語句を調べておいてください。

授業: 長文の解説を中心に授業は進みます。解説の際に講師が行う板書は、ノートに写してください。

復習: 長文問題を音読してから解き直します。その際、構文がわからない部分が残らないようにノートを参照しながら復習してください。疑問点はそのままにせず、授業担当者やアシスタスタフに質問してください。

■ 高校新演習スタンダード 英語構文

一文一文を正確に訳出する力を付けるための精読演習用のメインテキストです。

使用法

予習: 不要です。

授業: ポイントの導入を行った後で、演習問題を中心に授業を行います。テキストの英文をノートに写し、精読作業は全てノートにやっていきます。テキストへの解答などの書き込みは原則禁止です。

復習: 基本問題と授業で扱わなかった演習問題を宿題ノートに解いてください。

確認テスト: 翌週の授業で使用します。講師から指示があるまで解かないでください。

■ 英単語ターゲット1900

大学受験で有用性の高い必要最低限の語彙をコーパス分析によって抽出し、フレーズ単位で効果的に理解させるよう工夫が凝らされた単語帳です。毎週決められた範囲について、確認テストを実施します。月例テストでも前月範囲から一部出題します。

■ 多義語コーパス

さまざまな意味を持つ単語を1冊にまとめた教材です。指定時期にはテストを行います。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英単語ターゲット1900の指定範囲英単語の練習 (1日15分/毎日)

毎週100語指定された範囲の英単語を覚えます。翌週に「英→和」「和→英」の確認テストを合計25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは翌授業後の追試を指示します。

② 長文テキストの指定範囲の演習 (1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

③ テキスト「英語構文」の指定範囲の演習 (1日15分/2日に1回)

指定範囲の演習を宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
単語 テスト 5分	解説 5分	諸伝達 5分	演習・解説【精読】 45分	解説【長文読解】 60分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	長文	精読	精読テスト	単語テスト
3月	①	第1講 様々な構文を使った文の読解(1)	第1講 SVの発見	-	-
	②	第2講 様々な構文を使った文の読解(2)	第2講 隠されているSVの発見	第1講	1-100
	③	第3講 様々な構文を使った文の読解(3)	第3講 形式主語と形式目的語	第2講	101-200
春期	①	長文総合問題演習(1)	基本5文型①	-	-
	②	長文総合問題演習(2)	基本5文型②	-	-
	③	長文総合問題演習(3)	基本5文型③	-	-
	④	長文総合問題演習(4)	基本5文型④	-	-
4月	①	第4講 様々な構文を使った文の読解(4)	第4講 補語の研究	第3講	1-200
	②	第5講 図表を含んだ読解(1)	第5講 時制の研究①	第4講	201-300
	③	第6講 図表を含んだ読解(2)	第6講 時制の研究②	第5講	301-400
5月	①	第7講 文脈による意味の読解(1)	第7講 時制の研究③	第6講	月例テスト
	②	第8講 文脈による意味の読解(2)	第8講 無生物主語構文①	第7講	401-500
	③	第9講 文の要約(1)	第9講 無生物主語構文②	第8講	501-600
6月	①	第10講 文の要約(2)	第10講 名詞構文の研究①	第9講	月例テスト
	②	第11講 英文空所補充(1)	第11講 名詞構文の研究②	第10講	601-700
	③	第12講 英文空所補充(2)	第12講 名詞構文の研究③	第11講	701-800
7月	①	第13講 内容一致英文完成	第13講 関係詞の研究①	第12講	月例テスト/ 801-900
	②	第14講 意見文の読解(1)	第14講 関係詞の研究②	第13講	多義語対策①※別教材を事前に配布します
	③	第15講 意見文の読解(2)	第15講 関係詞の研究③	第14講	多義語対策②※別教材を事前に配布します
夏期	①	長文総合問題演習(1)	-	-	-
	②	長文総合問題演習(2)	-	-	-
	③	長文総合問題演習(3)	-	-	-
	④	長文総合問題演習(4)	-	-	-
	⑤	長文総合問題演習(5)	-	-	-
	⑥	長文総合問題演習(6)	-	-	-
9月	①	第16講 対話文の読解(1)	第16講 比較構文①	-	1-900
	②	第17講 対話文の読解(2)	第17講 比較構文②	第16講	901-1000
	③	第18講 物語文の読解(1)	第18講 比較構文③	第17講	1001-1100
10月	①	第19講 物語文の読解(2)	第19講 条件構文①	第18講	月例テスト/ 1101-1200
	②	第20講 論説文の読解(1)	第20講 条件構文②	第19講	1201-1300
	③	第21講 論説文の読解(2)	第21講 条件構文③	第20講	1301-1400
11月	①	第22講 下線部設問型読解(1)	第22講 副詞節の研究①	第21講	月例テスト/ 1401-1500
	②	第23講 下線部設問型読解(2)	第23講 副詞節の研究②	第22講	701-900
	③	第24講 英問英答型読解(1)	第24講 副詞節の研究③	第23講	901-1100
12月	①	第25講 英問英答型読解(2)	第25講 否定構文①	第24講	月例テスト
	②	第26講 指示語説明問題(1)	第26講 否定構文②	第25講	多義語対策③※別教材を事前に配布します
	③	第27講 指示語説明問題(2)	第27講 倒置と強調の構造	第26講	多義語対策④※別教材を事前に配布します
冬期	①	長文総合問題演習(1)	-	-	-
	②	長文総合問題演習(2)	-	-	-
	③	長文総合問題演習(3)	-	-	-
	④	長文総合問題演習(4)	-	-	-
1月	①	第28講 総合問題(1)	第28講 挿入の構造と句読法	-	-
	②	第29講 総合問題(2)	第29講 共通と省略の構造	-	1101-1300
	③	第30講 総合問題(3)	第30講 同格の構造	-	1301-1500

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3英語Rβ (文法)

対象

基礎事項を確認しながら英語の力を高め、学習院大・明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大・東京理科大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

高校英文法を基本的な事項から丁寧に学習していきます。文法事項を正確に身につけ、大学受験の際にはさまざまな文法問題に正答でき、読解問題においても正確かつスピーディーな解釈ができる英語力を完成させることが本講座のねらいです。

学年終了時における到達度の目安は英検®2級、TOEICで600点程度となり、GMARCHなどの難関大学に合格するのに必要とされる水準に到達することを目指します。さらなる実戦力を鍛えるために、5月から開講される週末の必勝志望校別コース(大学別特別対策講座)を併せて受講することもおすすめします。

※英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。このコンテンツは公益財団法人 日本英語検定協会の承認や推奨、その他の検討を受けたものではありません。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高校新演習スタンダード 大学受験 英語 文法編(前期)

3月から7月に使用する英文法のメインテキストです。入試に必要な不可欠な文法内容を、選択・整序・正誤・空欄補充などさまざまな問題形式で確認します。

使用法

予習:基本的には必要ありません。担当講師の指示に従ってください。

授業:基本的な事柄を導入してから、演習問題Aの演習に入ります。講師が行った板書をきちんとノートに写し、家庭で復習できるようにしてください。また、演習問題を解くときもノートを参考にしながら、しっかりと考えながら解くことを習慣にしましょう。

復習:授業で扱われた内容を見ながら復習します。また、講師から指示のあったテキストの問題を解き、解説をしっかり読んでください。間違えた問題は、まとめをつくるなどして、なぜ間違えたのかを考えるようにしてください。

確認テスト:翌週の授業で使用します。講師から指示があるまで解かないでください。

■ 高校新演習プログレス 大学受験 英語 文法・語法編(後期)

9月から1月に使用する英文法のメインテキストです。後期は文法単元学習と設問形式別演習を並行して行います。

使用法:基本的には前期と同様です。

授業:基本的な事柄を導入してから、講師が指定する問題の演習に入ります。

確認テスト:翌週の授業で使用します。講師から指示があるまで解かないでください。

■ 英熟語ターゲット1000

TWβ・Tβ・SKβ・Rβ指定の熟語帳。熟語テストに使用します。長く記憶に残すために、指定範囲から毎日なるべく多くの熟語を繰り返し覚えるようにしましょう。熟語テスト前日だけの学習にならないようにしましょう。なお、月例テストでも前月の熟語テスト範囲から10問程度出題します。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 英熟語ターゲット1000の指定範囲英熟語の練習(1日15分/毎日)

毎週50個指定された範囲の英熟語を覚えます。翌週に「英文中選択空所補充形式」の確認テストを25題出題します。90点合格で、不合格の場合は追課題もしくは授業後の追試を指示します。

② メインテキストの指定範囲の演習(1日15分/2日に1回)

その週の復習として、指定範囲の解き直しを宿題ノートにします。演習後は巻末解答を見ながら丸付けをし、間違えた問題を解きなおしてください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120	
文法・熟語 テスト 15分	諸伝達 5分	導入 25分	演習・解説 25分	導入 25分	演習・解説 25分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	文法	確認テスト	熟語テスト
3月	①	第1講 時制	-	-
	②	第12講 仮定法	第1講	1-50
	③	第3講 助動詞	第12講	51-100
春期	①	動詞の語法と文型(1)	-	-
	②	動詞の語法と文型(2)	-	-
	③	動詞の語法と文型(3)	-	-
	④	動詞の語法と文型(4)	-	-
4月	①	第2講 動詞	-	1-100
	②	第4講 受動態	第2講	101-150
	③	第5講 不定詞	第4講	151-200
5月	①	第6講 動名詞/第7講 分詞	-	月例テスト
	②	第9講 接続詞	第6-7講	201-250
	③	第8講 関係詞(1)(演習問題A)	第9講	251-300
6月	①	第8講 関係詞(2)(演習問題B)	-	月例テスト
	②	第10講 疑問詞	第8講	301-350
	③	第16講 否定	第10講	351-400
7月	①	第13講 名詞・冠詞・代名詞(1)(演習問題A)	-	月例テスト
	②	第13講 名詞・冠詞・代名詞(2)(演習問題B)	第16講	401-450
	③	第14講 形容詞・副詞	第13講	451-500
夏期	①	前置詞+比較(1)	-	-
	②	前置詞+比較(2)	-	-
	③	前置詞+比較(3)	-	-
9月	①	第1講 時制	-	1-500
	②	第3講 助動詞	第1講	501-550
	③	第9講 仮定法	第3講	551-600
10月	①	第2講 動詞の語法	-	月例テスト
	②	第4講 受動態	第2講	601-650
	③	第5講 準動詞	第4講	651-700
11月	①	第7講 関係詞	-	月例テスト
	②	第6講 接続詞	第7講	701-750
	③	第8講 比較	第6講	751-800
12月	①	第20講 同意表現選択(1)	-	月例テスト
	②	第22講 正誤問題(1)	第20講	801-850
	③	第24講 連立完成問題(1)	第22講	851-900
冬期	①	総合問題演習(1)	-	-
	②	総合問題演習(2)	-	-
	③	総合問題演習(3)	-	-
	④	総合問題演習(4)	-	-
1月	①	第28講 総合問題(1)	-	-
	②	第29講 総合問題(2)	-	-
	③	第30講 総合問題(3)	-	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

数学学科カリキュラム

中学1年～高校3年

数学科指導方針

TW・SKγ(中高一貫組) 授業の進め方

- 中学で仕上げた土台を基に発展的な演習へ
TWクラスでは既に中学3年生までに数学ⅡBC(ベクトル)までの単元学習は終了しており、あとは理系の数ⅢCを残すのみです。文理共通範囲の数学ⅡABCは3年間、数学ⅢCについても2年間じっくりと入試演習に割く時間を確保しています。高2の12月時点で、「東大の数学で合格点に到達する解答能力」を作り上げます。
SKγクラスでは中学3年生までに高校数学の土台となる数学ⅠAの学習まで終了しております。これから数学ⅡBC(ベクトル)の単元学習を進め、文理共通範囲の数学ⅡABCの基礎をしっかりと固めてから高2以降演習+理系は数学Ⅲの学習を進めます。
- 課題・授業内容において「負荷をかける時期」をコントロール
早期に必要な計算力を身につけて高校数学の学習をスムーズかつハイスピードで進めるためには、やはり相応の負荷が必要です。いわゆる「できる子」でも年間130時間程度、やり直しや追加課題が必要な子だと年間200時間程度の課題が必要であると考えています。しかしながらそれを年間通じて一定のペースで消化しようとする、「困難な時期」が発生します。学校のある通常期と夏休みなどの長期休暇期間に合わせて適切に課題量を調整するのはもちろん、さらに個別に追加課題が必要な状況においても個々の状況に合わせ、本人と一緒に計画を立て、その通りに進んでいるかをチェックします。また、授業内容に関しても、通常期は「基礎・基本を確実にできるようにすること」を優先し、「発展的な問題」は講習会や学年が上がってからの演習時期で復習とともに繰り返し扱うことで、「余裕のある時期」に知識と処理能力の向上を図ります。

T・SK・R(高校受験組) 授業の進め方

- 中高一貫校のペースに追いつく
Tクラス・SKクラスでは数学ⅡBC(ベクトル)までの単元学習を早期に終え、数学ⅡABCの入試演習および理系であれば数Ⅲの単元学習に入るタイミングを早めています。これはなにより「最難関大学の現役合格には中高一貫の先取り学習に追いつくこと」が必要であることに他なりません。特にTクラスでは高1の1年間で数学ⅡBC(ベクトル)の単元学習まで完了し、標準的な中高一貫校のカリキュラムに追いつくように設計しています。
- 課題・授業内容において「負荷をかける時期」をコントロール
早期に必要な計算力を身につけて高校数学の学習をスムーズかつハイスピードで進めるためには、やはり相応の負荷が必要です。いわゆる「できる子」でも年間130時間程度、やり直しや追加課題が必要な子だと年間200時間程度の課題が必要であると考えています。しかしながらそれを年間通じて一定のペースで消化しようとする、「困難な時期」が発生します。学校のある通常期と夏休みなどの長期休暇期間に合わせて適切に課題量を調整するのはもちろん、さらに個別に追加課題が必要な状況においても個々の状況に合わせ、本人と一緒に計画を立て、その通りに進んでいるかをチェックします。また、授業内容に関しても、通常期は「基礎・基本を確実にできるようにすること」を優先し、「発展的な問題」は講習会や学年が上がってからの演習時期で復習とともに繰り返し扱うことで、「余裕のある時期」に知識と処理能力の向上を図ります。

【3年間の流れ】

	TW・SKγ(中高一貫組)	T・SK・R(高校受験組)
高1	<p>【TW】 高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学Ⅲの基本知識をこの1年間で学習します。</p> <p>【SKγ】 一気に知識や考え方・解法の幅が広がる数学ⅡBを1年間かけて確実に固めていきます。文理共通範囲である数学ⅡABCの単元学習はここで完了します。</p>	<p>【T】 夏休みまでに数学ⅠAの単元学習を終え、それを土台に冬期講習会までに数学ⅡBCの単元学習を終えます。この1年間で、まずは標準的な中高一貫校のペースに追いつきます。理系の生徒は、3学期に数学Ⅲを導入します。</p> <p>【SK】 冬休みまでに数学ⅠAの基本事項を終え、3学期からは数学Ⅱの先取りを行います。</p>
高2	<p>【TW】 数学ⅡABC、数学Ⅲともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。</p>	<p>【T】 高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の応用問題演習を扱いながら、単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学Ⅲの基本知識をこの1年間で学習します。</p> <p>【SK】 夏休みまでに数学ⅡBCの基本事項を終えます。後期は高校数学の基本事項を一通り習得していることを前提とし、各分野の復習とともに単元横断的な考え方や解法を習得します。また、理系の生徒に関しては数学Ⅲの基本知識を後期の半年間で学習します。</p>
高3	<p>数学ⅡABC、数学Ⅲともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力・記述答案作成能力の向上を図ります。</p>	<p>【T】 【SK】 数学ⅡABC、数学Ⅲともに入試問題を用いての実戦演習を反復し、本番で得点できる解答能力の向上を図ります。</p> <p>【R】 夏休みまでに数学Ⅲの単元学習を終え、並行してⅠAⅡBから入試問題演習を行います。</p>

【カリキュラム】

		中1			中2			中3		
		〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉
TWBooster	α		中1～中3代数		Ⅰ導入	Ⅱ導入	Ⅱ導入		ⅠⅡ演習	
	β		中1～中3幾何		A導入	B導入	B導入	ⅠAⅡB演習		
TW	α		中1～中3代数	中3代数	Ⅰ導入		Ⅱ導入			
	β		中1～中3幾何	中3幾何	A導入		Ⅰ導入	B導入	Ⅱ演習	
S	α		中1～中3代数	中3代数	中学代数復習		Ⅰ導入		Ⅱ導入	
	β		中1～中3幾何	中3幾何	中学幾何復習		A導入	ⅠA演習		

【ノート】

授業に参加するにあたり、以下の3つのノートをご用意ください。

① 授業ノート

講義内容（理論の説明部分）、授業内での問題演習部分ともに1冊のノートでまとめて構いません。後から見返す際の見やすさを考えて、ノート左ページを講義内容、右ページを左ページの講義内容に対応する演習問題を解くページとすることを推奨しますが、ある程度自分なりに見やすくなるよう工夫していただいて構いません。講師からの特別な指示がない限り、テキストに直接書き込むことはせず、講師からの説明内容はすべてこのノートに記録してください。

※最低限、黒・赤・青・緑の4色+適宜蛍光ペン1本あれば問題ありません。

② 宿題用ノート

宿題用のテキストの問題演習のための専用ノートをご用意ください。毎回の授業時に講師が回収し、宿題チェックを行います。問題を解き、赤ペンで答え合わせをすところまで、このノートに実施してください。

※間違えた問題の解きなおしは③のノートに行ってください。

③ 間違いまとめノート

自分の間違えた問題の解き直し、および「どんな間違いをしてしまったか」を蓄積するノートです。「授業内で間違えてしまった問題」「宿題で間違えてしまった問題」「テストで間違えてしまった問題」、すべてここに記録しましょう。②のノートとともに、毎回の授業で講師がチェックします。

【宿題の量】

学年により多少変動はしますが、概ね以下のような分量の課題が課されます。

- ①通常期に関しては、 $\alpha\beta$ 合計平均3時間前後/週 × 通常授業30回 ÷ 年間90時間程度
- ②長期休暇期間に関しては、春休み中、GW、夏休み中、冬休み中で合計40時間程度

①+②で年間130時間程度分の課題が課されます。

また、①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しや復習にかかる時間」が増えます。

①で $\alpha\beta$ 合計で通常期平均+1時間、講習会平均+2時間の復習時間が増加

②で長期休暇課題が1.5倍程度に増加

すると仮定すると、

1時間 × 通常30回 + 2時間 × 講習会（春夏冬）合計11回 + 休暇課題20時間 ÷ 70時間程度

となるため、この場合は年間200時間程度必要です。

【テスト（高3）】

東大必勝模試	後期TW/Tクラスの受講には6月の試験で受講資格を得ることが必要です（9月の試験はクラス分けには使用しません）。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受験も可能です。また、この試験を当日全科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。											
	実施月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
必修テスト	記述型全国模試を5月、9月、10月の年3回、マーク型全国模試を6月、11月の年2回受験します。単元学習を離れた実力テストで、普段の学習がどの程度定着しているかを最終的に判断することができます。授業担当者から、必修テストの結果を元に課題が指定されることがあります。											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
月例テスト	5月より指定月の初回授業冒頭20分間で月例テストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。目標点数の目安は60点です。*TW/Tクラスは実施しません。また、SKクラスは11月以降実施しません。											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
確認テスト	毎月の第2回目、第3回目の授業において実施するクラスがあります。前週に学習した内容の確認テストを行います。テキストの類題が出題されます。目標点数の目安は60点です。											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

		高1			高2			高3		
		〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉
TW	α	III導入			III演習			III演習		
	$\beta \cdot \gamma$	I II ABC演習			I II ABC演習			I II ABC演習		
SK γ		II B導入			I II ABC演習					
T	α	I導入	II導入	III導入	III導入	III演習		III演習		
	β	A導入	B導入	I II ABC演習	I II ABC演習			I II ABC演習		
SK	α	I導入	II導入		II導入	III導入		III演習		
	β	A導入		B導入	B導入	III導入		I II ABC演習		
R	α							III導入	III演習	
	β							I II ABC演習		

高3数学TW/T α (数III C演習) 選抜

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

※3月～7月の受講には東大水準模試(兼 TW/Tクラス選抜試験)、9月からの受講には東大必勝模試(兼 TW/Tクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

講座の目的

数学III Cの入試問題演習を行います。夏期までは単元別に入試問題演習を行うことで各単元における頻出問題の解法を身につけ、発想力・記述力・問題処理力を向上させます。9月からは総合演習を行い、実戦でさまざまな発想・知識を引き出すことのできる力を付けていきます。

III CはIII ABCに比べて相対的にこれまでの演習量が少ないケースがあります。この講座で早期に最難関大学の数学III Cの問題をすばやく正確に処理できるレベルまで鍛え上げます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3数学TW/T α (前期・後期)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 授業テキスト指定題演習(1週間で2時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2～3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 添削課題(4月・5月・6月の③回授業にて提示、30分程度)

上記該当回にて添削課題が課されますので、解いたものを翌月①回授業時まで提出してください。担当講師が添削し、返却します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
諸伝達 5分	演習 30分	解説・講義 25分	演習 30分	解説・講義 30分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	授業内容
3月	①	【数III C演習】極限①
	②	【数III C演習】極限②
	③	【数III C演習】極限③
春期	①	【数III C演習】微分法:接線、グラフの増減、グラフの概形
	②	【数III C演習】微分法:媒介変数表示、最大・最小①
	③	【数III C演習】微分法:最大・最小②
	④	【数III C演習】微分法:方程式・不等式への応用
4月	①	【数III C演習】連続性、微分可能性、導関数
	②	【数III C演習】平均値の定理、凸不等式
	③	【数III C演習】定積分と関数、積分方程式
5月	①	【数III C演習】定積分の計算の応用①
	②	【数III C演習】定積分の計算の応用②
	③	【数III C演習】定積分と不等式、面積評価
6月	①	【数III C演習】区分求積法、媒介変数表示された曲線
	②	【数III C演習】面積
	③	【数III C演習】回転体の体積
7月	①	【数III C演習】曲線の長さ
	②	【数III C演習】2次曲線①
	③	【数III C演習】2次曲線②
夏期A	①	【数III C演習】非回転体の体積
	②	【数III C演習】座標空間における回転体
	③	【数III C演習】体積の総合演習
夏期B	①	【数III C演習】複素数平面①
	②	【数III C演習】複素数平面②
	③	【数III C演習】複素数平面③
9月	①	【数III C演習】総合演習①
	②	【数III C演習】総合演習②
	③	【数III C演習】総合演習③
10月	①	【数III C演習】総合演習④
	②	【数III C演習】総合演習⑤
	③	【数III C演習】総合演習⑥
11月	①	【数III C演習】総合演習⑦
	②	【数III C演習】総合演習⑧
	③	【数III C演習】総合演習⑨
12月	①	【数III C演習】総合演習⑩
	②	【数III C演習】総合演習⑪
	③	【数III C演習】総合演習⑫
冬期	①	【数III C演習】理科大・上智大入試問題研究
	②	【数III C演習】早大・慶大入試問題研究
	③	【数III C演習】首都圏国立大入試問題研究
	④	【数III C演習】最難関国立大入試問題研究
1月	①	大学入学共通テスト対策(または別途総合演習)
	②	【数III C演習】総合演習⑬
	③	【数III C演習】総合演習⑭

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3数学TW/Tβ(数ⅠⅡABC演習) 選抜

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

※3月～7月の受講には東大水準模試(兼TW/Tクラス選抜試験)、9月からの受講には東大必勝模試(兼TW/Tクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

講座の目的

数学ⅢABCの入試演習を行います。夏期までは単元別に入試問題演習を行うことで各単元における頻出問題の解法を身につけ、発想力・記述力・問題処理力を鍛えていきます。9月からは総合演習を行い、実戦でさまざまな発想・知識を引き出すことのできる力を付けていきます。

理系の人はⅢCに注力しすぎてⅢABCがおろそかにならないようバランスの取れた学習を進めるため、文系の人は数学を苦手科目にせず確実な得点源とするため、この講座でポイントを押さえた授業を行います。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3数学TW/Tβ(前期・後期)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 授業テキスト指定題演習(1週間で2時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2～3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 添削課題(4月・5月・6月の③回授業にて提示、30分程度)

上記該当回にて添削課題が課されますので、解いたものを翌①回授業時までに提出してください。担当講師が添削し、返却します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
諸伝達 5分	演習 30分	解説・講義 25分	演習 30分	解説・講義 30分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	授業内容
3月	①	【数ⅠⅡABC演習】数と式①
	②	【数ⅠⅡABC演習】数と式②
	③	【数ⅠⅡABC演習】高次方程式
春期	①	【数ⅠⅡABC演習】数列:いろいろな数列①
	②	【数ⅠⅡABC演習】数列:いろいろな数列②
	③	【数ⅠⅡABC演習】数列:整数と数列
	④	【数ⅠⅡABC演習】数列:数学的帰納法
4月	①	【数ⅠⅡABC演習】整数問題①
	②	【数ⅠⅡABC演習】整数問題②
	③	【数ⅠⅡABC演習】整数問題③
5月	①	【数ⅠⅡABC演習】整数問題④
	②	【数ⅠⅡABC演習】論理
	③	【数ⅠⅡABC演習】場合の数
6月	①	【数ⅠⅡABC演習】確率①
	②	【数ⅠⅡABC演習】確率②(漸化式)
	③	【数ⅠⅡABC演習】直線と曲線、束の考え方
7月	①	【数ⅠⅡABC演習】軌跡・領域
	②	【数ⅠⅡABC演習】領域と最大最小
	③	【数ⅠⅡABC演習】直線と曲線の通過領域
夏期A	①	【数ⅠⅡABC演習】微分法:接線、グラフと最大・最小
	②	【数ⅠⅡABC演習】積分法:方程式・不等式への応用、定積分
	③	【数ⅠⅡABC演習】積分方程式、面積
夏期B	①	【数ⅠⅡABC演習】ベクトル①
	②	【数ⅠⅡABC演習】ベクトル②
	③	【数ⅠⅡABC演習】場合の数・確率
9月	①	【数ⅠⅡABC演習】総合演習①
	②	【数ⅠⅡABC演習】総合演習②
	③	【数ⅠⅡABC演習】総合演習③
10月	①	【数ⅠⅡABC演習】総合演習④
	②	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑤
	③	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑥
11月	①	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑦
	②	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑧
	③	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑨
12月	①	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑩
	②	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑪
	③	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑫
冬期	①	【数ⅠⅡABC演習】理科大・上智大入試研究
	②	【数ⅠⅡABC演習】早大・慶大入試研究
	③	【数ⅠⅡABC演習】首都圏国公立大入試研究
	④	【数ⅠⅡABC演習】最難関国公立大入試研究
1月	①	大学入学共通テスト対策(または別途総合演習)
	②	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑬
	③	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑭

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3数学TW γ (数I II ABC演習)



東大文系・京大文系・一橋大学志望の生徒。

※3月～7月の受講には東大水準模試(兼TW/Tクラス選抜試験)、9月からの受講には東大必勝模試(兼TW/Tクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

東大文系・京大文系・一橋大学の数学で「合格点」に到達するために、頻出の単元・分野に絞って入試問題演習を行います。夏期までは単元・分野別に入試問題演習を行うことで、各単元における重要な考え方・典型的な解法を整理します。9月からは総合演習を行い、「最低限必要な点数」を得点するための解答能力を養成します。

他科目に比較して数学の負担が大きくなりすぎないよう、合格するために必要な分量で最終調整を図ります。

【教材】

■ 高3数学TW γ (前期・後期)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ 入試数学「実力強化」問題集

授業前に各単元・各分野の必要事項を確認しておくためのテキストです。

使用法

担当講師の指示に従い、授業前に必要な箇所を確認・演習を行ってから授業に臨んでください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 授業テキストおよび「実力強化」問題集の指定題演習 (1週間で2時間程度)

毎回の授業にて担当講師から指示された問題に関して、宿題専用のノートを用意し演習してください。解けなかった問題・間違えてしまった問題に関しては「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 添削課題 (4月・5月・6月の③回授業にて提示、30分程度)

上記該当回にて添削課題が課されますので、解いたものを翌月④回授業時まで提出してください。担当講師が添削し、返却します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
諸伝達 5分	演習 30分	解説・講義 25分	演習 30分	解説・講義 30分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	授業内容
3月	①	【数IIIABC演習】基本事項演習① 代数
	②	【数IIIABC演習】基本事項演習② 幾何
	③	【数IIIABC演習】基本事項演習③ 座標
春期	①	【数IIIABC演習】最大・最小①
	②	【数IIIABC演習】最大・最小②
	③	【数IIIABC演習】方程式・不等式①
	④	【数IIIABC演習】方程式・不等式②
4月	①	【数IIIABC演習】場合の数・確率①
	②	【数IIIABC演習】場合の数・確率②
	③	【数IIIABC演習】場合の数・確率③
5月	①	【数IIIABC演習】整数①
	②	【数IIIABC演習】整数②
	③	【数IIIABC演習】整数③
6月	①	【数IIIABC演習】数列①
	②	【数IIIABC演習】数列②
	③	【数IIIABC演習】数列③
7月	①	【数IIIABC演習】軌跡
	②	【数IIIABC演習】領域①
	③	【数IIIABC演習】領域②
夏期A	①	【数IIIABC演習】微分
	②	【数IIIABC演習】積分①
	③	【数IIIABC演習】積分②
夏期B	①	【数IIIABC演習】ベクトル①
	②	【数IIIABC演習】ベクトル②
	③	【数IIIABC演習】直線、曲線の通過領域
9月	①	【数IIIABC演習】総合演習①
	②	【数IIIABC演習】総合演習②
	③	【数IIIABC演習】総合演習③
10月	①	【数IIIABC演習】総合演習④
	②	【数IIIABC演習】総合演習⑤
	③	【数IIIABC演習】総合演習⑥
11月	①	【数IIIABC演習】総合演習⑦
	②	【数IIIABC演習】総合演習⑧
	③	【数IIIABC演習】総合演習⑨
12月	①	【数IIIABC演習】総合演習⑩
	②	【数IIIABC演習】総合演習⑪
	③	【数IIIABC演習】総合演習⑫
冬期	①	【数IIIABC演習】早慶大・一橋大・京大入試演習①
	②	【数IIIABC演習】早慶大・一橋大・京大入試演習②
	③	【数IIIABC演習】早慶大・一橋大・京大入試演習③
	④	【数IIIABC演習】早慶大・一橋大・京大入試演習④
1月	①	大学入学共通テスト対策(または別途総合演習)
	②	【数IIIABC演習】総合演習⑬
	③	【数IIIABC演習】総合演習⑭

高3数学SK α (数学III C演習)

対象

難関国公立大や、早慶上智などの最難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

数学III Cの入試問題演習を行います。9月までは単元別に入試問題演習を行うことで各単元における頻出問題の解法を身につけ、発想力・記述力・問題処理力を向上させます。10月からは総合演習を行い、実戦でさまざまな発想・知識を引き出すことのできる力を付けていきます。

IIIはIAIIBに比べて相対的にこれまでの演習量が少ないケースがあります。この講座で早期に最難関大学の数学III Cの問題をすばやく正確に処理できるレベルまで鍛え上げます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3数学SK α (前期・後期)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習: 次回分の「計算問題」を確認しておきましょう。

授業: 授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習: さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

■ 微積分／基礎の極意

自習に使用する復習用のテキストです。

使用法

復習: 授業内で扱う数学III Cの応用レベルの問題が掲載されています。テキストは「例題⇒解説⇒練習問題」の順で構成されていますので、授業ノートを照らし合わせながら復習することで、理解度をさらに深められます。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 微積分 基礎の極意 (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行いましょ。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。※高2時点で完了している場合は実施の必要はありません。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で2時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2～3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し(①がある場合はそれと同じノートでも可)、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120			
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 25分	演習 15分	解説 10分	講義 25分	演習 15分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	確認テスト
3月	①	【数III C演習】極限の基礎	-
	②	【数III C演習】微分の基礎	極限の基礎
	③	【数III C演習】積分計算	微分の基礎
春期	①	【数III C演習】数列の極限	-
	②	【数III C演習】関数の極限	-
	③	【数III C演習】連続性、微分可能性	-
	④	【数III C演習】極限の発展演習	-
4月	①	【数III C演習】接線、増減、極値	-
	②	【数III C演習】グラフの概形	接線、増減、極値
	③	【数III C演習】最大・最小	グラフの概形
5月	①	【数III C演習】方程式への応用	月例テスト
	②	【数III C演習】不等式への応用	方程式への応用
	③	【数III C演習】定積分の応用	平均値の定理、2変数の処理
6月	①	【数III C演習】定積分で表された関数①	月例テスト
	②	【数III C演習】定積分で表された関数②	定積分で表された関数①
	③	【数III C演習】定積分と不等式、面積評価	定積分で表された関数②
7月	①	【数III C演習】区分求積法	月例テスト
	②	【数III C演習】面積	区分求積法
	③	【数III C演習】体積	面積
夏期A	①	【数III C演習】非回転体の求積	-
	②	【数III C演習】回転体の体積	-
	③	【数III C演習】曲線の長さ	-
夏期B	①	【数III C演習】複素数平面①	-
	②	【数III C演習】複素数平面②	-
	③	【数III C演習】複素数平面③	-
9月	①	【数III C演習】2次曲線①	-
	②	【数III C演習】2次曲線②	2次曲線①
	③	【数III C演習】極座標・極方程式	2次曲線②
10月	①	【数III C演習】総合演習①	月例テスト
	②	【数III C演習】総合演習②	-
	③	【数III C演習】総合演習③	-
11月	①	【数III C演習】総合演習④	-
	②	【数III C演習】総合演習⑤	-
	③	【数III C演習】総合演習⑥	-
12月	①	【数III C演習】総合演習⑦	-
	②	【数III C演習】総合演習⑧	-
	③	【数III C演習】総合演習⑨	-
冬期	①	【数III C演習】入試演習①	-
	②	【数III C演習】入試演習②	-
	③	【数III C演習】入試演習③	-
	④	【数III C演習】入試演習④	-
1月	①	大学入学共通テスト対策(または別途総合演習)	-
	②	【数III C演習】GMARCH理科大対策	-
	③	【数III C演習】早慶上智対策	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3数学SK β (数学IIABC演習)

対象

難関国公立大や、早慶上智大などの最難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

数学IIABCの入試問題演習を行います。9月までは単元別に入試問題演習を行うことで各単元における頻出問題の解法を身につけ、発想力・記述力・問題処理力を鍛えていきます。10月からは総合演習を行い、実戦でさまざまな発想・知識を引き出すことのできる力を付けていきます。

理系の方はIII Cに注力しすぎてIIABCがおろそかにならないようバランスの取れた学習を進めるため、文系の方は数学を苦手科目にせず確実な得点源とするため、この講座でポイントを押さえた授業を行います。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3数学SK β (前期・後期)

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習: 次回分の「計算問題」を確認しておきましょう。

授業: 授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習: さまざまなパターンの問題をテーマごとに掲載しています。自分の苦手な範囲の問題を中心に演習してください。また詳しい解答・解説のページも設けていますので、解けなかった問題の解法も理解することができます。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 授業テキスト指定題演習 (1週間で2時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2～3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 25分	演習 15分	解説 10分
		講義 25分	演習 15分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	確認テスト
3月	①	【数ⅠⅡABC演習】基礎事項演習①	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】基礎事項演習②	基礎事項演習①
	③	【数ⅠⅡABC演習】基礎事項演習③	基礎事項演習②
春期	①	【数ⅠⅡABC演習】数列:等差・等比数列、数列の和	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】数列:いろいろな数列の和①	-
	③	【数ⅠⅡABC演習】数列:いろいろな数列の和②、漸化式①	-
	④	【数ⅠⅡABC演習】数列:漸化式②、数学的帰納法	-
4月	①	【数ⅠⅡABC演習】2次関数、方程式、不等式①	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】2次関数、方程式、不等式②	2次関数、方程式、不等式①
	③	【数ⅠⅡABC演習】高次方程式	2次関数、方程式、不等式②
5月	①	【数ⅠⅡABC演習】多項式の除法	月例テスト
	②	【数ⅠⅡABC演習】場合の数	多項式の除法
	③	【数ⅠⅡABC演習】確率①	場合の数
6月	①	【数ⅠⅡABC演習】確率②	月例テスト
	②	【数ⅠⅡABC演習】三角関数	確率②
	③	【数ⅠⅡABC演習】平面ベクトル①	三角関数
7月	①	【数ⅠⅡABC演習】平面ベクトル②	月例テスト
	②	【数ⅠⅡABC演習】空間ベクトル	平面ベクトル②
	③	【数ⅠⅡABC演習】座標空間における直線・平面・球	空間ベクトル
夏期A	①	【数ⅠⅡABC演習】微分法:接線、グラフと最大・最小	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】積分法:方程式・不等式への応用、定積分	-
	③	【数ⅠⅡABC演習】積分法:積分方程式、面積	-
夏期B	①	【数ⅠⅡABC演習】直線と曲線、束の考え方	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】軌跡・領域	-
	③	【数ⅠⅡABC演習】領域と最大・最小	-
9月	①	【数ⅠⅡABC演習】整数①	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】整数②	整数①
	③	【数ⅠⅡABC演習】論理	整数②
10月	①	【数ⅠⅡABC演習】総合演習①	月例テスト
	②	【数ⅠⅡABC演習】総合演習②	-
	③	【数ⅠⅡABC演習】総合演習③	-
11月	①	【数ⅠⅡABC演習】総合演習④	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑤	-
	③	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑥	-
12月	①	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑦	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑧	-
	③	【数ⅠⅡABC演習】総合演習⑨	-
冬期	①	【数ⅠⅡABC演習】入試演習①	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】入試演習②	-
	③	【数ⅠⅡABC演習】入試演習③	-
	④	【数ⅠⅡABC演習】入試演習④	-
1月	①	大学入学共通テスト対策(または別途総合演習)	-
	②	【数ⅠⅡABC演習】GMARCH理科大対策	-
	③	【数ⅠⅡABC演習】早慶上智対策	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3数学R α (数学III C)

対象

基礎事項を確認しながら数学の力を高め、学習院大・明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大・東京理科大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

1学期は数学III Cを最初の導入から始めていきますので、学校で数学III Cを未習の方でも授業に参加することができます。夏期講習会までに数学III Cをひと通り終わらせ、2学期からは入試演習を中心に進めていき1学期に学習した内容を定着させていきます。

難関大学合格に向けて、最重要となる数学III Cの解答能力を身につけていきます。

【教材】

■ 数学III C(授業用)新版

授業で扱われるメインテキストです。導入に使う基礎的な問題から難関大学レベルの問題まで幅広く掲載されています。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業は「導入⇒例題解説⇒問題演習⇒解説⇒導入⇒…」の流れで進んでいきます。

復習:授業で扱った問題の解き直しに取り組みましょう。

■ 高校新演習プログレス数学III

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:既習分野の復習のため、問題演習中心の授業になります。

■ 演習用テキスト

12月・1月の授業で使用する問題演習用のテキストです。入試問題を中心に掲載していますので、授業後の自習教材としても利用できます。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:既習分野の問題演習中心の授業になります。

■ コンプリート 数学III、数学C

宿題に使用する問題演習用のテキストです。

使用法

各回の授業にて講師から範囲が指定されますので、次回の授業までに解いてくるようにしてください。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① コンプリート 数学III、数学C (1週間で1時間程度)

毎週の授業で扱った単元に合わせて、このテキストから指定箇所を宿題として指示します。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、赤ペンを用いて答え合わせを行います。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。※高2時点で完了している場合は実施の必要はありません。

② 授業テキスト指定題演習 (1週間で2時間程度)

授業テキスト内から2~3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し(①がある場合はそれと同じノートでも可)、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

③ 確認テスト・月例テストやりなおし (1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 25分	演習 15分	解説 10分
		講義 25分	演習 15分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【数C】 §6-1 放物線・楕円・双曲線	数学III C(授業用)	-
	②	【数C】 §6-2 二次曲線と直線	数学III C(授業用)	§6-1 放物線・楕円・双曲線
	③	【数C】 §6-3 媒介変数表示	数学III C(授業用)	§6-2 二次曲線と直線
春期	①	【数III】 §1-1 分数関数 / §1-2 無理関数 / §1-3 合成関数・逆関数	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】 §2-1 数列の極限 / §2-2 等比数列の極限	数学III C(授業用)	§1-1 分数関数 / §1-2 無理関数 / §1-3 合成関数・逆関数
	③	【数III】 §2-3 無限級数 / §2-4 関数の極限	数学III C(授業用)	§2-1 数列の極限 / §2-2 等比数列の極限
	④	【数III】 §2-5 いろいろな関数の極限 / §2-6 関数の連続性	数学III C(授業用)	§2-3 無限級数 / §2-4 関数の極限
4月	①	【数III】 §3-1 導関数の計算	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】 §3-2 各種の関数の導関数	数学III C(授業用)	§3-1 導関数の計算
	③	【数III】 §3-3 高次導関数・いろいろな微分法	数学III C(授業用)	§3-2 各種の関数の導関数
5月	①	【数III】 §3-4 接線と法線	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数III】 §3-5 平均値の定理 / §3-6 関数の増減と極値	数学III C(授業用)	§3-4 接線と法線
	③	【数III】 §3-7 グラフの凹凸	数学III C(授業用)	§3-5 平均値の定理 / §3-6 関数の増減と極値
6月	①	【数III】 §3-8 関数の最大・最小	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数III】 §3-9 方程式・不等式への応用	数学III C(授業用)	§3-8 関数の最大・最小
	③	【数III】 §4-1 不定積分	数学III C(授業用)	§3-9 方程式・不等式への応用
7月	①	【数III】 §4-2 いろいろな関数の不定積分	数学III C(授業用)	月例テスト
	②	【数III】 §4-3 定積分① / §4-4 定積分②	数学III C(授業用)	§4-2 いろいろな関数の不定積分
	③	【数III】 §4-5 定積分で表された関数	数学III C(授業用)	§4-3 定積分① / §4-4 定積分②
夏期A	①	【数III】 §4-6 定積分と面積① / §4-7 定積分と面積②	数学III C(授業用)	-
	②	【数III】 §4-8 定積分と体積	数学III C(授業用)	§4-6 定積分と面積① / §4-7 定積分と面積②
	③	【数III】 §4-9 区分求積法・不等式への応用 / §4-10 曲線の長さ	数学III C(授業用)	§4-8 定積分と体積
夏期B	①	【数C】 §5-1 複素数平面 / §5-2 複素数の極形式①	数学III C(授業用)	-
	②	【数C】 §5-3 複素数の極形式②	数学III C(授業用)	§5-1 複素数平面 / §5-2 複素数の極形式①
	③	【数C】 §5-4 複素数平面上の図形	数学III C(授業用)	§5-3 複素数の極形式②
9月	①	【数III演習】第3講 極限(1) 数列の極限	高校新演習プログレス数学III	-
	②	【数III演習】第4講 極限(2) 無限級数	高校新演習プログレス数学III	数列の極限
	③	【数III演習】第5講 極限(3) 関数の極限	高校新演習プログレス数学III	無限級数
10月	①	【数III演習】第6講 極限(4) いろいろな関数の極限と連続性	高校新演習プログレス数学III	月例テスト
	②	【数III演習】第7講 微分法(1) 微分係数と導関数	高校新演習プログレス数学III	いろいろな関数の極限と連続性
	③	【数III演習】第8講 微分法(2) いろいろな関数の微分	高校新演習プログレス数学III	微分係数と導関数
11月	①	【数III演習】第9講 微分法(3) 高次導関数といろいろな微分法	高校新演習プログレス数学III	月例テスト
	②	【数III演習】第13講 積分法(1) 不定積分の計算	高校新演習プログレス数学III	高次導関数といろいろな微分法
	③	【数III演習】第14講 積分法(2) 置換積分法・部分積分法	高校新演習プログレス数学III	不定積分の計算
12月	①	【数III演習】第15講 積分法(3) 定積分の計算	高校新演習プログレス数学III	月例テスト
	②	【数C演習】複素数平面①	「複素数平面演習(12月)」テキスト	定積分の計算
	③	【数C演習】複素数平面②	「複素数平面演習(12月)」テキスト	複素数平面①
冬期	①	【数III演習】第10講・第11講 微分法(4)(5) 接線・関数の増減とグラフの凹凸	高校新演習プログレス数学III	-
	②	【数III演習】第16講・第17講 積分法(4)(5) 定積分の利用・面積	高校新演習プログレス数学III	接線・関数の増減とグラフの凹凸
	③	【数III演習】第18講 積分法(6) 定積分と体積	高校新演習プログレス数学III	定積分の利用・面積
	④	【数III演習】第19講 積分法(7) 曲線の長さ	高校新演習プログレス数学III	定積分と体積
1月	①	大学入学共通テスト対策(または別途総合演習)	「高3数学Ra(1月)」テキスト	-
	②	【数III C演習】私大入試対策	「高3数学Ra(1月)」テキスト	-
	③	【数III C演習】私大入試対策	「高3数学Ra(1月)」テキスト	-

上記カリキュラムのほかに、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3数学R β (数学ⅠⅡABC)

対象

基礎事項を確認しながら数学の力を高め、学習院大・明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大・東京理科大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

薬学部や農学部、また文系数学受験などといった数学ⅠA、ⅡB+ベクトルのみを使う方も参加が可能な演習講座です。MARCHレベルの大学の合格点に達することを目標とします。

【教材】

■ 高校新演習スタンダード大学受験ⅠA・ⅡBC

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:既習分野の復習のため、問題演習中心の授業になります。

【宿題】

宿題には以下のものがあります。

① 授業テキスト指定題演習(1週間で2時間程度)

授業テキスト内の「演習題」から2~3問、講師からの指定箇所を宿題とします。宿題専用のノートを用意し、まずは一通り解き、答え合わせまで行いましょう。解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。

② 確認テスト・月例テストやりなおし(1週間で30分程度)

毎週の授業冒頭で行う確認テストや月例テストに関して、解けなかった問題・間違えてしまった問題は、授業ノートや解説を確認し、「間違いまとめノート」に解きなおしを行ってください。各テストは60点以上を目標の目安とし、60点に満たない場合は追試もしくは解き直しのチェックを実施します。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 15分	諸伝達 5分	講義 25分	演習 15分	解説 10分
		講義 25分	演習 15分	解説 10分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	授業内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	【数ⅠA演習】第1講 数と式 (標準問題)	高校新演習スタンダード数学ⅠA	-
	②	【数ⅠA演習】第2講 2次関数 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	数と式
	③	【数ⅠA演習】第2講 2次関数 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	2次関数 [1]
春期	①	【数ⅠA演習】第3講 図形と計量 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	-
	②	【数ⅠA演習】第3講 図形と計量 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	図形と計量 [1]
	③	【数ⅠA演習】第6講 図形の性質 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	図形と計量 [2]
	④	【数ⅠA演習】第6講 図形の性質 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	図形の性質 [1]
4月	①	【数ⅠA演習】第4講 集合と命題 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	-
	②	【数ⅠA演習】第4講 集合と命題 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	集合と命題 [1]
	③	【数ⅠA演習】第7講 場合の数と確率 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	集合と命題 [2]
5月	①	【数ⅠA演習】第7講 場合の数と確率 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	月例テスト
	②	【数ⅠA演習】第8講 整数 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	場合の数と確率
	③	【数ⅠA演習】第8講 整数 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅠA	整数 [1]
6月	①	【数ⅡBC演習】第1講 式と証明、複素数と方程式 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	月例テスト
	②	【数ⅡBC演習】第1講 式と証明、複素数と方程式 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	式と証明、複素数と方程式 [1]
	③	【数ⅡBC演習】第3講 三角関数 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	式と証明、複素数と方程式 [2]
7月	①	【数ⅡBC演習】第3講 三角関数 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	月例テスト
	②	【数ⅡBC演習】第4講 指数関数・対数関数 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	三角関数 [2]
	③	【数ⅡBC演習】第4講 指数関数・対数関数 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	指数関数・対数関数 [1]
夏期A	①	【数ⅡBC演習】第5講 微分・積分 (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
	②	【数ⅡBC演習】第5講 微分・積分 (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	微分・積分 [1]
	③	【数ⅡBC演習】第6講 数列 (標準問題)	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	微分・積分 [2]
夏期B	①	【数ⅡBC演習】第2講 図形と方程式 (標準問題)	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
	②	【数ⅡBC演習】第8講 ベクトル (標準問題) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	図形と方程式
	③	【数ⅡBC演習】第8講 ベクトル (標準問題) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	ベクトル [1]
9月	①	【数ⅠA演習】第1講 数と式 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅠA	-
	②	【数ⅠA演習】第2講 2次関数 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅠA	-
	③	【数ⅠA演習】第3講 図形と計量 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅠA	-
10月	①	【数ⅠA演習】第4講 集合と命題 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅠA	月例テスト
	②	【数ⅠA演習】第6講 図形の性質 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅠA	-
	③	【数ⅠA演習】第7講 場合の数と確率 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅠA	-
11月	①	【数ⅠA演習】第8講 整数 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅠA	月例テスト
	②	【数ⅡBC演習】第1講 式と証明、複素数と方程式 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
	③	【数ⅡBC演習】第2講 図形と方程式 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
12月	①	【数ⅡBC演習】第3講 三角関数 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	月例テスト
	②	【数ⅡBC演習】第4講 指数関数・対数関数 (入試実戦演習) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
	③	【数ⅡBC演習】第4講 指数関数・対数関数 (入試実戦演習) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
冬期	①	【数ⅡBC演習】第5講 微分・積分 (入試実戦演習) [1]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
	②	【数ⅡBC演習】第5講 微分・積分 (入試実戦演習) [2]	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
	③	【数ⅡBC演習】第6講 数列 (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
	④	【数ⅡBC演習】第8講 ベクトル (入試実戦演習)	高校新演習スタンダード数学ⅡBC	-
1月	①	大学入学共通テスト対策(または別途総合演習)	高校新演習スタンダード大学受験数学ⅠA/ⅡBC	-
	②	【数ⅡABC演習】総合問題演習	高校新演習スタンダード大学受験数学ⅠA	-
	③	【数ⅡABC演習】総合問題演習	高校新演習スタンダード大学受験数学ⅡBC	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

国語科カリキュラム

中学1年～高校3年

国語科指導方針

TW・T 授業の進め方

● 古典知識の早期体得

TWクラスは高1の1年間で現代文・古文・漢文の知識の修得と演習を行い、実際に東京大学をはじめとする最難関大学の問題に対処する知識と解答能力を身につけます。Tクラスは、高1の1年間で古文・漢文の知識基盤を構築します。高1のうちに古典の知識を身につけることで、高2からスムーズに他科目の勉強を進めることが可能になります。古文単語や漢文の頻出漢字などの知識は体得するのに時間を要しますので、高1の間に一通り学習し、高2・3で繰り返し確認し定着をはかります。

● 添削指導（高2TW・高3）

国立大学を中心とする記述・論述型の問題を扱い、授業内で演習したものを添削指導いたします。制限時間内にどのように論理的思考をし、それをいかに答案に表現するかを体験してもらいつつ、答案作成の方法論を伝えます。現代文には頻出単語（所謂キーワード）がありますので、その単語をどのように答案に組み込むかを教授します。古典では逐語訳を旨としつつ、文意に沿った答案を書くための方法を指導します。

● 中学・高校入試で培った国語力の維持

中学・高校入試の際に必死に学んだ国語。四字熟語や慣用句、漢字の知識はこれからの財産となるものです。しかしながら、昨日常生活で漢字を手で書くことの頻度は減りました。中学・高校入試で培った国語力を風化させない、そのために国語の受講を勧めます。「なあなあ」にせずに「ちゃんと」国語の学習をやり続ける、これがコンセプトです。授業中の制限時間内に問題を解くという習慣を絶やさないと、ということが国語力維持に大きく貢献するはずですが。

● 視野を広げる

東京大学をはじめとした最難関大学の入試には抽象度の高い文章が出題されます。自らの興味関心のみならず焦点化した狭い視野では、入試に出題される文章を理解すること自体が難しく、それを簡潔明瞭に表現するという高いハードルを越えることは不可能です。高2の夏休みに『寝ながら学べる構造主義』という本を読むことを課題とし、掲載されている思想家についての理解を深めます。マルクス、フロイト、ニーチェなど、構造主義者というよりは20世紀の知性に大きな影響を及ぼした三人についてまずは概観し、ソシュール、フーコー、レヴィ=ストロース、ラカンについて学びます。わたしたちにとっては自明と思われることも、ある時代のある時点から採用されている考え方だ、ということに触れる経験は皆さんの成長にもつながります。

SK・R 授業の進め方

● 古文知識の早期体得

高1の1年間で古文の知識基盤を構築します。高1のうちに古文の知識を身につけることで、高2からスムーズに他科目の勉強を進めることが可能になります。古文単語や古文文法などの知識は体得するのに時間を要しますので、高1の間に一通り学習し、高2、高3で繰り返し確認し定着をはかります（漢文の重要性が高い大学の受験を検討している場合はTクラスの受講をおすすめします）。

● 中学・高校入試で培った国語力の維持

中学・高校入試の際に必死に学んだ国語。四字熟語や慣用句、漢字の知識はこれからの財産となるものです。しかしながら、昨日常生活で漢字を手で書くことの頻度は減りました。中学・高校入試で培った国語力を風化させない、そのために国語の受講を勧めます。「なあなあ」にせずに「ちゃんと」国語の学習をやり続ける、これがコンセプトです。授業内の制限時間内に問題を解くという習慣を絶やさないと、ということが国語力維持に大きく貢献するはずですが。

● 小論文

慶應義塾大学をはじめとして入試に小論文が必要な場合は高3で開講される小論文講座を受講してください。志望別に分けて添削指導を実施しますので、さまざまなニーズに対応可能です。

【6年間の流れ】

	TW・T	SK				
中1	現代文は「論理トレーニング」を実施し、「何となく読む」状態からの脱却を目指します。論理を考え出し、論点をまとめ上げ、明快到記述する能力を養います。古文、漢文は有名作品の暗唱を行います。講習会で古文の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。					
中2	現代文は共通テスト対策を実施します。資料を適切に読み取り、明快到記述する能力を養います。古文、漢文は有名作品の暗唱をひきつづき行います。講習会で古典の文法をまとめて扱いますので、講習会を受講していただければ途中合流可能です。中2終了時で古典文法の学習は一通り終了します。					
中3	現代文は構造主義の思想を学びます。東大を始めとする最難関大学受験において、有効に働く背景知識を身につけます。古文、漢文は有名作品の暗唱をひきつづき行います。中3の1年間で中1、2の2年間で学習した古典文法を総復習し、知識を完成させます。					
高1	<table border="1"> <tr> <td>TW</td> <td>東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く国語力をつけます。現代文の知識を習得することに主軸を置き、古典の知識を定期的に復習します。最難関大学の入試問題を演習できる素地を作ります。</td> </tr> <tr> <td>T</td> <td>古文・漢文を扱います。古文・漢文のすべての文法事項を扱いますので、1年間頑張っていたら、古典の知識基盤を構築することが可能です。</td> </tr> </table>	TW	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く国語力をつけます。現代文の知識を習得することに主軸を置き、古典の知識を定期的に復習します。最難関大学の入試問題を演習できる素地を作ります。	T	古文・漢文を扱います。古文・漢文のすべての文法事項を扱いますので、1年間頑張っていたら、古典の知識基盤を構築することが可能です。	古文を中心に扱います。古文のすべての文法事項を扱いますので、1年間頑張っていたら、古文の基礎的な知識基盤を構築することが可能です。
TW	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く国語力をつけます。現代文の知識を習得することに主軸を置き、古典の知識を定期的に復習します。最難関大学の入試問題を演習できる素地を作ります。					
T	古文・漢文を扱います。古文・漢文のすべての文法事項を扱いますので、1年間頑張っていたら、古典の知識基盤を構築することが可能です。					
高2	東大をはじめとした最難関大学の合格水準に届く国語力をつけます。現代文の知識を習得することに主軸を置き、古典の知識を定期的に復習します。	古文の文法の復習をしながら、古文の読解と現代文の読解を行います。				
高3	東大をはじめとした最難関大学の入試問題を演習します。添削指導によって、記述答案作成力を更に洗練し、総仕上げをします。受講することで、自習時間に国語の勉強をしなくてもよくなり効率的です。宿題は解き直しなどが中心で時間はさほどかかりません（30分～1時間程度）。	早大をはじめとする難関私立大の入試問題を演習します。				

【ノート】

早稲アカ用のノートを1冊準備してください。

複数のノートを用意する必要はありませんが、宿題をやるときはどこからどこまでが宿題かわかるように記載してください。テキストへの解答の書き込みは授業内外を問わず禁止です。講師の板書のみならず、口頭で説明した内容も含め、学んだことを貪欲に書き込んでください。鉛筆やシャープペンシルに加え、赤・青・緑のペンをご用意ください。

【宿題の量】

学年・クラスにより多少は変動しますが、概ね以下のような分量の課題を出します。

- ①通常期に関しては授業の復習平均2時間・各種テスト準備平均1時間/週×通常授業30回=90時間程度
- ②長期休暇期間に関しては、春休み、GW、夏休み、冬休みで合計40時間程度

①+②で年間130時間程度の課題を出します。

また①②において「間違い箇所が多い場合」は必然的に「やり直しにかかる時間」が増えます。

【TWのみ】

高2高3で添削が授業時に行われる場合は、添削が返却されてから、書き直しを実施してください。見て、読んで、おしまい、にすることなく、必ず手を動かすようにしてください。添削答案と模範解答を見比べ、自分の解答作成の手順、目の付け所（換言すべき語をそのまま用いていないか、語彙、文法など）を確認するとともに、自分の解答にない要素で抽出せねばならなかったものはどれかをチェックしてください。

【テスト(高3)】

東大必勝模試

後期TWクラスの受講には6月の試験で受講資格を得ることが必要です(9月の試験はクラス分けには使用しません)。合格者は科目ごとに選出されますので、単科での受験も可能です。また、この試験を当日全科目受験し、優秀な成績を収めた方は「特待生」の資格が得られます。

実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
				6月			9月				

必修テスト

5月、9月、10月の年3回、記述型全国模試を受験します。単元学習を離れた実力テストで、普段の学習がどの程度定着しているかを判断することができます。合格点は140~160点が目安で、偏差値は70以上です。TW選抜や東大模試等と併せてしっかり準備を行い試験に臨んでください。
6月、11月の年2回、マーク型全国模試を受験します。国公立大志望の人にとっては、共通テストが大変重要になりますので、文系、理系ともに160点以上はとるように抜かりなく準備を行ってください。

実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
			5月	6月			9月	10月	11月		

月例テスト

5月より指定月の初回授業冒頭20分間で月例テストを行います。前月学習したテキスト内容から出題されます。合格点は80点が目安です。(現代文TW、古典TWは除く)

実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

確認テスト

各クラスの「カリキュラム」に記載されている「確認テスト」の準備を行ってください。古文単語テスト・漢字テスト・現代文のキーワードテスト(高3のみ)を授業冒頭で実施します。テキストの指定範囲から出題されるものですので、合格点は100点です。1問も間違えないように抜かりなく準備をしてください。毎回のテストに関しては、得点をサクスダイアリーに記載し、担当講師に報告、検印をもらってください。
長期休暇後にはそれまでの範囲の確認テストを実施しますので、毎回の出題範囲だけでなく、既習範囲の復習も定期的に行うようにしてください。

高3現代文TW **選抜**

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分



東大・国立医学部などの最難関大学を目指す生徒。
国公立二次試験で国語が必要な文系・理系の生徒が対象です。
※受講には、東大必勝模試(TWクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

講座の目的

東大および最難関国公立大学突破のために必要な論理的思考力や記述力を、毎回の授業で添削を行うことによって徹底的に鍛えます。また、センター試験の過去問を適宜扱うことにより、受験生にとって鬼門となりがちな共通テストの対策も万全に行います。

【教材】※講習会は別テキストです。

■ 高3現代文TW(前期・後期)

現代文のテキストです。実際の入試過去問題を用いて、長文の記述答案を毎回作成します。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で演習、解説を行います。

復習:授業での解説をもとに本文を読み直し、本文の根拠となる箇所、模範解答との乖離を確認してください。解き直しなどは担当講師の指示に従ってください。

■ センター過去問集(前期・後期)

センター試験の過去問集です。2001年度から2020年度までの現代文の過去問題が掲載されています。

■ 新版完全征服 頻出入試漢字コア2800

頻出漢字を集めた教材です。指定された回でテストを実施します。各回の単元をまとめて勉強し、合間の時間に確認して定着させてください。

■ 新入試評論文読解のキーワード300

東大をはじめとする最難関大学の現代文は出てくる重要語が決まっているため、授業に参加しその重要語を「知り」、解答作成の際に本文中から「抽出できる」ようになるだけで、答案が0点になることをかなりの確率で防ぐことができます。重要語を「知る」ためには語彙の学習が欠かせないので、キーワード集は抜かりなく学習してください。

【宿題】

漢字テスト、キーワードテストの準備が宿題です。テキストの解き直しや、センター試験の過去問、併願する私立大学の過去問などに関しては、担当講師の指示に従ってください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認 テスト 5分	解説 5分	諸伝達 5分	演習 45分	解説 60分

・クラスの人数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	単元	共通テスト対策	キーワードテスト	漢字テスト
3月	①	社会評論①	センター2020年 評論	-	-
	②	社会評論②	センター2020年 小説	第1部 時代区分	-
	③	社会評論③	センター2019年 小説	第1部 世界～自然	-
春期	①	思想・哲学/社会評論	-	-	-
	②	文化論/思想・哲学	-	-	-
	③	近代文明批評/芸術論	-	-	-
	④	文化論/文語文	-	-	-
4月	①	文化論①	センター2018年 評論	-	春期課題確認(1章～3章)
	②	歴史論	センター2018年 小説	第1部 近代～情報	-
	③	思想・哲学①	センター2017年 小説	第2部 ①1～25	-
5月	①	思想・哲学②	センター2016年 評論	-	2章
	②	近代文明批評	センター2016年 小説	第2部 ①26～47	-
	③	文学・芸術論①	センター2015年 小説	第2部 ②1～24	-
6月	①	科学論	センター2014年 評論	-	3章
	②	文学・芸術論②	センター2014年 小説	第2部 ②25～48	-
	③	社会評論④	センター2013年 小説	第2部 ②49～71	-
7月	①	文学・芸術論③	センター2012年 評論	-	4章
	②	文学・芸術論④	センター2012年 小説	第2部 ③1～21	-
	③	文化論②	センター2011年 小説	第2部 ③22～42	-
夏期	①	文化論/随筆	-	-	-
	②	文化論/随筆/社会評論	-	-	-
	③	近代文明批評/社会評論	-	-	-
9月	①	文学芸術論①	センター2010年 評論	夏期課題(第1部～第2部②)	-
	②	文化論①	センター2010年 小説	第2部 ③43～63	-
	③	思想・倫理	センター2009年 小説	第2部 ③64～85	-
10月	①	歴史論①	センター2007年 評論	-	5章
	②	文化論②	センター2008年 小説	第3部 接頭語・接尾語	-
	③	文学芸術論②	センター2007年 小説	第3部 重要語	-
11月	①	歴史論②	センター2004年 評論	-	1章
	②	文化論③	センター2006年 小説	-	2章
	③	日本人論	センター2005年 小説	-	3章
12月	①	思想・哲学	センター2002年 評論	-	4章
	②	近代文明批評①	センター2003年 小説	-	5章
	③	近代文明批評②	センター2002年 小説	-	1章
冬期	①	-	-	-	-
	②	-	-	-	-
	③	-	-	-	-
	④	-	-	-	-
1月	①	共通テスト対策	センター2001年 評論	-	-
	②	総合演習①	-	-	2～3章
	③	総合演習②	-	-	4～5章

・上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

・1月①が共通テスト実施日以後に実施される場合は、12月③と1月①の内容を入れ替えて実施します。

高3現代文SK

対象

難関国公立大や、早慶上智などの最難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

主に難関私立大学突破のために必要な論理的思考力や記述力、選択肢の吟味法などを総合的に鍛えます。SKクラスでは早稲田大学をはじめとする私立大学の対策を行います(講習会では東大以外の国立大学の問題も扱います)。

抽象度の高い文章を正確に読解できる力を養成するために、前期は思想史の概略を学ぶ構成になっています。現代語の語彙力、学習の基礎となる漢字力の充実には確認テストで対応します。後期は大学入試問題の演習を行いながら、前期に構築した精読力をもとに、設問ごとの解法や効率的に読解するための技術、難関大学独自の出題形式への対応法などを学びます。

【教材】※講習会は別テキストです。

■ 高3現代文SK(前期・後期)

現代文SKのテキストです。実際の入試過去問題から、抽象的な文章の読解力を高めるための問題が収録されています。

使用法

予習:不要です。

授業:授業内で演習、解説を行います。選択肢の吟味、選定ができるよう、ポイントを確認します。

復習:選択式の問題に関してどこが選定の基準か、キーワードなどのポイントをもう一度見直し、解き直しを行ってください。解き直しの際は板書ノートも参照してください。疑問点は放置せず、担当講師やアシスタスタフに質問してください。

■ センター過去問集(前期・後期)

センター試験の過去問集です。2001年度から2020年度までの現代文の過去問題が掲載されています。

■ 新版完全征服 頻出入試漢字コア2800

頻出漢字を集めた教材です。月例テストの回以外は毎週テストを行います。各回の単元をまとめて勉強し、合間の時間に確認して定着させてください。

■ 新入試評論文読解のキーワード300

現代文のキーワード集です。月例テストの回以外でテストを実施します。現代文には日常会話では使われないような、特有の表現が出てきますので、わからないことばに出会ったら、辞書を引く前にこのキーワード集を参照するようにしてください。常に現代文を読むときには座右に置くようにしてください。特に第1部は暗記するぐらいの気持ちで読むようにしてください。第2部以降は単語を言われたら、定義が言える、程度になっていれば問題ありません。〈 〉のカッコでくられている定義を覚えてください。

【宿題】

- ①漢字テスト・キーワードテストの実施回はテストの準備が宿題です。(1日10分毎日)
- ②授業で扱った問題の復習が宿題です。担当講師が指示した復習法で実施してください。チェック方法も担当からの指示を守ってください。
- ③月例テストに向けて当該月に扱った問題をもう一度見直してください。また、当該月の漢字テストの範囲からも出題されますので、漢字の復習も行ってください。(1週間に2時間程度)

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 10分	解説 5分	諸伝達 5分	導入・読解 方法の説明 10分	演習 30分
				解説 60分

・クラスの人数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	共通テスト対策	キーワードテスト	漢字テスト
3月	①	読解入門①	センター2020年 評論	-	-
	②	読解入門②	センター2020年 小説	第1部 時代区分	1章
	③	前近代の世界観	センター2019年 小説	第1部 世界～自然	2章 書く1～12
春期	①	分野別問題演習	-	-	-
	②	分野別問題演習	-	-	-
	③	分野別問題演習	-	-	-
	④	分野別問題演習	-	-	-
4月	①	近代① 近代の嚆矢	センター2018年 評論	-	春期課題確認(1章・2章)
	②	近代② 資本主義	センター2018年 小説	第1部 近代～情報	2章 書く13～25
	③	近代③ 国民国家	センター2017年 小説	第2部 ①1～25	2章 読む1～4 分かる1～4
5月	①	近代④ 近代的主体	センター2016年 評論	月例テスト	
	②	近代⑤ ナショナリズム	センター2016年 小説	第2部 ①26～47	3章 書く1～15
	③	近代⑥ 科学と進化	センター2015年 小説	第2部 ②1～24	3章 書く16～29
6月	①	現代① 言語論/テキスト論	センター2014年 評論	月例テスト	
	②	現代② 相対化/表象論	センター2014年 小説	第2部 ②25～48	3章 読む1～6 分かる1～4
	③	現代③ 脱構築	センター2013年 小説	第2部 ②49～71	4章
7月	①	現代④ 都市論	センター2012年 評論	月例テスト	
	②	現代⑤ 新たな可能性①	センター2012年 小説	第2部 ③1～21	5章 同音・同訓漢字1～7
	③	現代⑥ 新たな可能性②	センター2011年 小説	第2部 ③22～42	5章 似た形の漢字1～5 間違いやすい漢字
夏期	①	分野別問題演習	-	-	-
	②	分野別問題演習	-	-	-
	③	分野別問題演習	-	-	-
9月	①	社会評論①	センター2010年 評論	夏期課題確認(第1部～第2部②)	-
	②	文化芸術論①	センター2010年 小説	第2部 ③43～63	5章 四字熟語
	③	思想・哲学①	センター2009年 小説	第2部 ③64～85	1章
10月	①	社会評論②	センター2007年 評論	月例テスト	
	②	文化芸術論②	センター2008年 小説	第3部 接頭語・接尾語	2章 書く1～12
	③	思想・哲学②	センター2007年 小説	第3部 重要語	2章 書く13～25
11月	①	社会評論③	センター2004年 評論	月例テスト	
	②	文化芸術論③	センター2006年 小説	-	2章 読む1～4 分かる1～4
	③	思想・哲学③	センター2005年 小説	-	3章 書く1～15
12月	①	社会評論④	センター2002年 評論	月例テスト	
	②	文化芸術論④	センター2003年 小説	-	3章 書く16～29
	③	思想・哲学④	センター2002年 小説	-	3章 読む1～6 分かる1～4
冬期	①	分野別問題演習	-	-	-
	②	分野別問題演習	-	-	-
	③	分野別問題演習	-	-	-
	④	分野別問題演習	-	-	-
1月	①	共通テスト対策	センター2001年 評論	-	-
	②	総合演習①	-	-	4章
	③	総合演習②	-	-	5章

・個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

・1月①が共通テスト実施日以後に実施される場合は、12月③と1月①の内容を入れ替えて実施します。

高3現代文R

対象

基礎事項を確認しながら、学習院大・明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

基礎を定着させ、現代文分野での高得点を目指す講座です。大学入試頻出の評論などの文章を論理的に読み解く力を養成します。文字を読むのではなく意味を読む方法を身につけることで、理解のスピードを上げて、効率的な学習ができるようにしていきます。語彙に関しても、授業内で扱った単語や別冊の用語集を用いて、覚えるべき単語を指導していきます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高校新演習スタンダード 大学受験 現代文

■ 高校新演習フォーカス 大学受験 現代文

入試頻出の評論・小説を中心に構成されています。明治・青山学院・立教・中央・法政などの過去問を題材としています。

使用法

予習:不要です。

授業:導入として読解法を教えてから演習をしてもらい、扱った問題に関して解説を行います。その際には単語・背景知識・テーマ別理解などさまざまな視点からアプローチをしていきますが、何よりも正答に至るプロセスを重要視します。誤答してしまった原因や正答にたどり着いた根拠を自分自身で理解できる力を身につけることができます。演習問題に加え、付属の確認テストも扱います。

復習:授業内で解説をした問題の解き直しをしてもらいます。単純に正答を覚えるというのではなく、講師が解説をした方法と同じプロセスで答えを導き出せるよう練習してください。また、授業内で触れた知識事項はノートやテキストにまとめていつでも確認ができるようにしてください。定期的に授業内で確認をしていきます。

■ 新版完全征服 頻出入試漢字コア2800

頻出漢字を集めた教材です。月例テストの回以外でテストを行います。各回の単元をまとめて勉強し、合間の時間に確認して定着させてください。

■ 新入試評論文読解のキーワード300

現代文のキーワード集です。毎回の授業でテストを実施します(月例テストでも前月内容から出題します)。現代文には日常会話では使われないような、特有の表現が出てきますので、わからないことばに出会ったら、辞書を引く前にこのキーワード集を参照するようにしてください。常に現代文を読むときには座右に置くようにしてください。特に第1部は暗記するぐらいの気持ちで読むようにしてください。第2部以降は単語を言われたら、定義が言える、程度になっていれば問題ありません。〈 〉のカッコでくくられている定義を覚えてください。

【宿題】

- ①漢字テスト・キーワードテストの実施回はテストの準備が宿題です。(1日10分毎日)
- ②授業で扱った問題の復習が宿題です。担当講師が指示した復習法で実施してください。チェック方法も担当からの指示を守ってください。
- ③月例テストに向けて当該月に扱った問題をもう一度見直してください。また、当該月の漢字テストの範囲からも出題されますので、漢字の復習も行ってください。(1週間に2時間程度)

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 10分	解説 5分	諸伝達 5分	導入・読解 方法の説明 10分	演習 30分
				解説 60分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	キーワードテスト	漢字テスト
3月	①	第1講 論説・評論(1)	科学①A	-	-
	②	第1講 論説・評論(1)	科学①B	第1部 時代区分	1章
	③	第2講 論説・評論(2)	科学②	第1部 世界～自然	2章 書く1～12
春期	①	分野別問題演習(1)	入試問題演習	-	-
	②	分野別問題演習(2)	入試問題演習	-	-
	③	分野別問題演習(3)	入試問題演習	-	-
	④	分野別問題演習(4)	入試問題演習	-	-
4月	①	第3講 論説・評論(3)	哲学・現代思想①A	-	春期課題確認(1章・2章)
	②	第3講 論説・評論(3)	哲学・現代思想①B	第1部 近代～情報	2章 書く13～25
	③	第4講 論説・評論(4)	哲学・現代思想②	第2部 ①1～25	2章 読む1～4 分かる1～4
5月	①	第5講 論説・評論(5)	現代社会	月例テスト	
	②	第6講 論説・評論(6)	日本①A	第2部 ①26～47	3章 書く1～15
	③	第6講 論説・評論(6)	日本①B	第2部 ②1～24	3章 書く16～29
6月	①	第7講 論説・評論(7)	日本②	月例テスト	
	②	第8講 論説・評論(8)	言語	第2部 ②25～48	3章 読む1～6 分かる1～4
	③	第9講 論説・評論(9)	文学	第2部 ②49～71	4章
7月	①	第10講 論説・評論(10)	芸術	月例テスト	
	②	第11講 小説・随筆(1)	近代の文学①	第2部 ③1～21	5章 同音・同訓漢字1～7
	③	第13講 小説・随筆(3)	現代の文学①	第2部 ③22～42	5章 似た形の漢字1～5 間違いやすい漢字
夏期	①	分野別問題演習(1)	入試問題演習	-	-
	②	分野別問題演習(2)	入試問題演習	-	-
	③	分野別問題演習(3)	入試問題演習	-	-
9月	①	【フォーカス】第1講 現代文の読解(1)	人間・文化論	夏期課題確認(第1部～第2部②)	-
	②	【フォーカス】第2講 現代文の読解(2)	言語・身体論	第2部 ③43～63	5章 四字熟語
	③	【フォーカス】第3講 現代文の読解(3)	文学・芸術論	第2部 ③64～85	1章
10月	①	【フォーカス】第4講 現代文の読解(4)	近代・現代論	月例テスト	
	②	【フォーカス】第5講 現代文の読解(5)	メディア論	第3部 接頭語・接尾語	2章 書く1～12
	③	【フォーカス】第6講 現代文の読解(6)	医療・環境論	第3部 重要語	2章 書く13～25
11月	①	第15講 論説・評論(1)	内容説明	月例テスト	
	②	第16講 論説・評論(2)	指示語	-	2章 読む1～4 分かる1～4
	③	第17講 論説・評論(3)	具体例	-	3章 書く1～15
12月	①	第18講 論説・評論(4)	理由説明	月例テスト	
	②	第19講 論説・評論(5)	内容合致・主張把握	-	3章 書く16～29
	③	第20講 小説(1)	語義	-	3章 読む1～6 分かる1～4
冬期	①	分野別問題演習(1)	入試問題演習	-	-
	②	分野別問題演習(2)	入試問題演習	-	-
	③	分野別問題演習(3)	入試問題演習	-	-
	④	分野別問題演習(4)	入試問題演習	-	-
1月	①	総合問題(5)(6)	共通テスト対策	-	-
	②	総合問題(1)(2)	文化・歴史	-	4章
	③	総合問題(3)(4)	教育・コミュニケーション	-	5章

・上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

・1月①が共通テスト実施日以後に実施される場合は、12月③と1月①の内容を入れ替えて実施します。

高3古典TW

選抜

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

対象

東大・国立医学部などの最難関大学を目指す生徒。
国公立二次試験で国語が必要な文系・理系の人が対象です。
※受講には、東大必勝模試(TWクラス選抜試験)で受講資格を得ることが必要です

講座の目的

東大をはじめとする最難関国立大の二次試験(記述式)を意識した設問解法の研究と実戦演習を行う講座です。原則的には、古文を月2回、漢文を月に1回扱います。

東大をはじめとする最難関大学では「訳す」というよりは「解釈」に近い現代語訳が求められます。本講座ではただ逐語訳するのではなく、作品全体の背景や本文の流れに沿い、適切な語句を補って解釈できるようにするための読解法を伝授します。1年間の授業を通じて、「受験で得点できる解答のつくり方」を身につけましょう。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3古典TW(前期・後期)

古文・漢文読解のメインテキストです。東大や京大など、最難関国立大学の二次試験の過去問を中心に構成されています。実際の入試過去問を用いて、長文の記述答案を毎回作成します。収録されているのはほぼ全て記述式の問題です。

使用法

予習:不要です。

授業:冒頭に解法の説明をします。それを受けてテキストの問題に自力でチャレンジしてもらいます。解答後すぐに解説を実施します。解説の際に講師が行う板書は、ノートに写してください。また、添削してほしい答案がある場合は遠慮なく授業後に講師に申し出てください。

復習:後日もう一度問題を解き直してみましょう。この時大切なのは、解答そのものを覚えているかではなく、その解答を導き出すための解法が身についているかどうかです。解法が定着していない場合は授業ノートを参照しましょう。記述問題に関しては、どこが採点基準か、重要単語の訳出などのポイントをもう一度見直し、解き直しを行ってください。疑問点はそのままにせず、担当講師やアシスタスタフに質問してください。

■ センター過去問集(前期・後期)

センター試験の過去問集です。2001年度から2020年度までの古典の過去問題が掲載されています。

■ 新版完全征服 合格古文単語380

古文単語帳です。月例テストの回以外はテストを実施します。毎回のテストは試験範囲から25問出題されます。例文を暗記し、文脈に即した訳ができるように対策を講じてください。テスト実施後はダイアリーに得点を記載し、間違えた単語があった場合にはダイアリーに備忘録を記すとともに、テキスト自体にも忘れずに印をつけておくようにしてください。

■ 古文文法問題集

古文文法を復習するための自習用の問題集です。月例テストの回以外は文法確認テストを実施しますので、対策を講じてください。

【宿題】

- ①古文単語テスト・文法確認テストの実施回はテストの準備が宿題です。(1日10分毎日)
- ②古典の記述解答を再度書き直すことが宿題です。書き直したノートを講師がチェックします。(1週間に90分程度)
- ③各回で扱った文章の知識事項を次の授業までにノートにまとめ、講師に提出してください。
- ④毎月、センター過去問集から過去問演習も宿題にします。時間を計って演習し(古文は20分・漢文は15分)、結果をダイアリーに記入し、授業時に担当者に見せて検印をもらってください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 10分	解説 諸伝達 5分 5分	導入・読解 方法の説明 15分	演習 25分	解説 60分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	単元	共通テスト対策	古文単語テスト	文法確認テスト
3月	①	【古文】雑々集	センター2020年 漢文	-	-
	②	【古文】宇治拾遺物語	センター2019年 漢文	1~50	動詞
	③	【漢文】韓非子	センター2020年 古文	51~100	形容詞・形容動詞
春期	①	【古典】宇治拾遺物語/唐語林	-	-	-
	②	【古典】源氏物語/説苑	-	-	-
	③	【古典】うたたね/南村輟耕録	-	-	-
	④	【古典】北辺随筆/金臺紀聞	-	-	-
4月	①	【古文】宇治拾遺物語	センター2018年 漢文	春期課題確認(1~380)	助動詞①
	②	【古文】唐物語	センター2017年 漢文	101~150	助動詞②
	③	【漢文】西湖遊覧志余	センター2018年 古文	151~200	助動詞③
5月	①	【古文】源氏物語	センター2016年 漢文	201~250	用言・助動詞のまとめ
	②	【古文】松蔭日記	センター2015年 漢文	251~300	助詞
	③	【漢文】A.捜神記/B.東国李相国集	センター2016年 古文	301~380	識別①
6月	①	【古文】蜻蛉日記	センター2014年 漢文	1~50	助詞・識別①のまとめ
	②	【古文】春日権現験記	センター2013年 漢文	51~100	識別②
	③	【漢文】漢書	センター2014年 古文	101~150	識別③
7月	①	【古文】菴心集	センター2012年 漢文	151~200	識別②・③のまとめ
	②	【古文】風雅和歌集	センター2011年 漢文	201~250	敬語①
	③	【漢文】A.酔後/B.方望溪遺集	センター2012年 古文	251~300	敬語②
夏期	①	【古典】無名抄/漢書	-	-	-
	②	【古典】俊頼髄脳/蘇軾の漢詩	-	-	-
	③	【古典】冷泉家和歌秘々口伝/後漢書	-	-	-
9月	①	【古文】唐物語	センター2010年 漢文	夏期課題確認(1~380)	夏期課題確認(文法全範囲)
	②	【古文】落窪物語	センター2009年 漢文	301~380	-
	③	【漢文】霞城講義	センター2010年 古文	1~100	-
10月	①	【古文】栄花物語	センター2007年 漢文	101~200	用言・助動詞・助詞のまとめ
	②	【古文】とはずがたり	センター2006年 漢文	201~300	-
	③	【漢文】A.世説新語/B.梁谿漫志	センター2007年 古文	301~380	-
11月	①	【古文】大和物語	センター2005年 漢文	1~100	識別のまとめ
	②	【古文】浜松中納言物語	センター2004年 漢文	101~200	-
	③	【漢文】呂氏春秋	センター2005年 古文	201~300	-
12月	①	【古文】A.更級日記/B.栄花物語	センター2002年 漢文	301~380	敬語のまとめ
	②	【古文】三のしるべ	センター2001年 漢文	1~100	-
	③	【漢文】A.珂雪齋集/B.清波雜誌	センター2002年 古文	101~200	-
冬期	①	-	-	-	-
	②	-	-	-	-
	③	-	-	-	-
	④	-	-	-	-
1月	①	【古文】しら露	センター2003年 古文・漢文	-	-
	②	【古文】A.堅田十六夜之辯/B.栄花物語	-	201~300	-
	③	【漢文】A.劉子新論/B.閱微草堂筆記	-	301~380	-

・上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

・1月①が共通テスト実施日以後に実施される場合は、12月③と1月①の内容を入れ替えて実施します。

高3古文SK

対象

難関国公立大や、早慶上智などの最難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

1学期まではこれまで学習した文法事項や重要語句を確認しながら、一文一文を正確に読解できる精読力の養成を目指します。また、作品知識や古典常識の充実にも力をいれます。2学期以降はより難度の高い大学入試問題を扱い、1学期に構築した精読力をもとに設問ごとの解法や効率的に読解するための方法、難関大独自の主題形式への対応方法などを学んでいきます。到達度の目安は、記述型模試で偏差値65程度となります。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高3古文SK(前期・後期)

メインテキストです。さまざまなジャンルの読解問題が掲載されています。書き込みがしやすいように本文は行間をあけて現代語訳や、説明を挿入できるようにしてあります。

使用法

予習:基本的には不要です(担当講師によって指示が出る場合があります)。

授業:夏期までは重要文法・古典常識・作品常識などを丁寧に板書しながら文章を精読していきます。講師が行う板書はノートに写してください。2学期以降は、「解答力」に重点を置き、設問ごとの解法研究や読解技術に焦点をあてたより実践的な授業展開となります。板書事項は1学期同様ノートに写してください。

復習:夏期までは、板書事項とテキストに書き込んだものを見直し、確実に知識を増やしてください。その後、設問の解き直しと本文がきちんと訳せるかどうかのチェックをしてください。2学期以降はそれらに加えて、「より効率的な解答プロセスで正解を得る」ということを意識して復習を行ってください。疑問点はそのままにせず、授業担当者やアシスタスに質問してください。

■ センター過去問集(前期・後期)

センター試験の過去問集です。2001年度から2020年度までの古典の過去問題が掲載されています。

■ 新版完全征服 合格古文単語380

古文単語帳です。月例テストの回以外はテストを実施します。毎回のテストは試験範囲から25問出題されます。例文を暗記し、文脈に即した訳ができるように対策を講じてください。テスト実施後はダイアリーに得点を記載し、間違えた単語があった場合にはダイアリーに備忘録を記すとともに、テキスト自体にも忘れずに印をつけておくようにしてください。

■ 古文文法問題集

古文文法を復習するための自習用の問題集です。月例テストの回以外は文法確認テストを実施しますので、対策を講じてください。

【宿題】

- ① 古文単語テスト・文法確認テストの実施回はテストの準備が宿題です。(1日10分毎日)
- ② 授業で扱った問題の復習が宿題です。担当講師が指示した復習法で実施してください。チェック方法も担当からの指示を守ってください。
- ③ 月例テストに向けて当該月に扱った問題をもう一度見直してください。また、当該月の古文単語テスト・文法確認テストの範囲からも出題されますので、古文単語・文法の復習も行ってください。(1週間に2時間程度)

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 10分	解説 諸伝達 5分 5分	導入・読解 方法の説明 15分	演習 25分	解説 60分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	共通テスト対策	古文単語テスト	文法確認テスト
3月	①	十訓抄	センター2020年 漢文	-	-
	②	寝ころび草	センター2019年 漢文	1~50	動詞
	③	大鏡	センター2020年 古文	51~100	形容詞・形容動詞
春期	①	分野別問題演習	-	-	-
	②	分野別問題演習	-	-	-
	③	分野別問題演習	-	-	-
	④	分野別問題演習	-	-	-
4月	①	うつほ物語	センター2018年 漢文	春期課題確認(1~380)	助動詞①
	②	無名抄	センター2017年 漢文	101~150	助動詞②
	③	住吉物語	センター2018年 古文	151~200	助動詞③
5月	①	蜻蛉日記	センター2016年 漢文	月例テスト	月例テスト(用言・助動詞)
	②	源氏物語	センター2015年 漢文	201~250	助詞
	③	更級日記	センター2016年 古文	251~300	識別①
6月	①	松浦宮物語	センター2014年 漢文	月例テスト	月例テスト(助詞・識別)
	②	落窪物語	センター2013年 漢文	301~380	識別②
	③	石清水物語	センター2014年 古文	1~50	識別③
7月	①	発心集	センター2012年 漢文	月例テスト	月例テスト(識別)
	②	栄花物語	センター2011年 漢文	51~100	敬語①
	③	浜松中納言物語	センター2012年 古文	101~150	敬語②
夏期	①	分野別問題演習	-	-	-
	②	分野別問題演習	-	-	-
	③	分野別問題演習	-	-	-
9月	①	和泉式部日記	センター2010年 漢文	夏期課題確認(1~380)	夏期課題確認(文法全範囲)
	②	平中物語	センター2009年 漢文	151~200	-
	③	狭衣物語	センター2010年 古文	201~250	-
10月	①	花鏡	センター2007年 漢文	月例テスト	月例テスト(用言・助動詞・助詞)
	②	道行きぶりなど	センター2006年 漢文	251~300	-
	③	今鏡	センター2007年 古文	301~380	-
11月	①	源氏物語	センター2005年 漢文	月例テスト	月例テスト(識別)
	②	夜の寝覚	センター2004年 漢文	1~100	-
	③	蜻蛉日記	センター2005年 古文	101~200	-
12月	①	大鏡	センター2002年 漢文	月例テスト	月例テスト(敬語)
	②	藤原隆信朝臣集	センター2001年 漢文	201~300	-
	③	東野州聞書 など	センター2002年 古文	301~380	-
冬期	①	分野別問題演習	-	-	-
	②	分野別問題演習	-	-	-
	③	分野別問題演習	-	-	-
	④	分野別問題演習	-	-	-
1月	①	しら露	センター2003年 古文・漢文	-	-
	②	笈の小文	-	1~200	-
	③	とはずがたり など	-	201~380	-

・上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

・1月①が共通テスト実施日以後に実施される場合は、12月③と1月①の内容を入れ替えて実施します。

高3古文R

対象

基礎事項を確認しながら、学習院大・明治大・青山学院大・立教大・中央大・法政大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

基礎を定着させ、古文分野での高得点を目指す講座です。1学期中に読解の基礎となる文法事項を身につけ、夏休みには入試レベルの文法問題が解けるように授業を進めます。2学期以降はメインテキストの文章テーマ編を中心に、設問形式や文学史的知識にも触れながら実践的な読解力を養成します。

単語や古文常識に関しては授業の中で扱うとともに、毎回の単語確認テストによって確実な力を身につけることができます。

【教材】 ※講習会は別テキストです。

■ 高校新演習スタンダード 大学受験 古典

■ 高校新演習フォーカス 大学受験 古文

文法中心の「文法編」と読解中心の「文章テーマ編」の二部構成になっています。

使用法

予習:基本的には不要です。(単語の意味調べを課す場合もあります。)

授業:文章内に出てくる頻出文法事項をピックアップしながら、適宜時間をとって解説をします。また、最も基礎的な文法である用言や助動詞などにも触れ、授業内での発問を通して定着を図ります。文章を要素に分解し、着目すべき事項を挙げ、確実に理解していく方法を身につけることで読解力を高めていきます。演習問題に加え、付属の確認テストも扱います。

復習:授業内で扱った文法事項の類題演習などを課します。また、設問の品詞分解を行い、文に含まれる品詞を全て明示するという課題を出す場合がありますので、しっかりと取り組んでください。単語に関しては単語テストの勉強の他に、授業内で扱った重要単語を単語帳へ書き込むなどして、語彙を増やす努力をしてください。

■ 新版完全征服 合格古文単語380

古文単語帳です。月例テストの回以外はテストを実施します。毎回のテストは試験範囲から25問出題されます。例文を暗記し、文脈に即した訳ができるように対策を講じてください。テスト実施後はダイアリーに得点を記載し、間違えた単語があった場合にはダイアリーに備忘録を記すとともに、テキスト自体にも忘れずに印をつけておくようにしてください。

■ 古文文法問題集

古文文法を復習するための自習用の問題集です。月例テストの回以外は文法確認テストを実施しますので、対策を講じてください。

【宿題】

- ① 古文単語テスト・文法確認テストの実施回はテストの準備が宿題です。(1日10分毎日)
- ② 授業で扱った問題の復習が宿題です。担当講師が指示した復習法で実施してください。チェック方法も担当からの指示を守ってください。
- ③ 月例テストに向けて当該月に扱った問題をもう一度見直してください。また、当該月の古文単語テスト・文法確認テストの範囲からも出題されますので、古文単語・文法の復習も行ってください。(1週間に2時間程度)

【授業進行例(通常授業)】

0		30		60		90		120
確認テスト 10分	解説 5分	諸伝達 5分	導入・読解 方法の説明 15分	演習 25分		解説 60分		

・クラスの人数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	古文単語テスト	文法確認テスト
3月	①	第1講 動詞・形容詞・形容動詞	演習問題A・B	－	－
	②	第2講 助動詞(1)	演習問題A・B	1～50	動詞
	③	第3講 助動詞(2)	演習問題A・B	51～100	形容詞・形容動詞
春期	①	分野別問題演習(1)	入試問題演習	－	－
	②	分野別問題演習(2)	入試問題演習	－	－
	③	分野別問題演習(3)	入試問題演習	－	－
	④	分野別問題演習(4)	入試問題演習	－	－
4月	①	第4講 助動詞(3)	演習問題A・B	春期課題確認(1～380)	助動詞①
	②	第5講 助詞(1)	演習問題A・B	101～150	助動詞②
	③	第6講 助詞(2)・副詞の呼応	演習問題A・B	151～200	助動詞③
5月	①	第7講 識別(1)	演習問題A・B	月例テスト	月例テスト(用言・助動詞)
	②	第8講 識別(2)	演習問題A・B	201～250	助詞
	③	第9講 敬語(1)	演習問題A・B	251～300	識別①
6月	①	第10講 敬語(2)	演習問題A	月例テスト	月例テスト(助詞・識別)
	②	第10講 敬語(2)／補講 文学史	演習問題B	301～380	識別②
	③	【フォーカス】第1講 随筆	演習問題A・B	1～50	識別③
7月	①	【フォーカス】第2講 日記	演習問題A・B	月例テスト	月例テスト(識別)
	②	【フォーカス】第3講 物語(1)	演習問題A・B	51～100	敬語①
	③	【フォーカス】第4講 物語(2)	演習問題A・B	101～150	敬語②
夏期	①	分野別問題演習(1)	入試問題演習	－	－
	②	分野別問題演習(2)	入試問題演習	－	－
	③	分野別問題演習(3)	入試問題演習	－	－
9月	①	【フォーカス】第5講 評論(1)	演習問題A・B	夏期課題確認(1～380)	夏期課題確認(文法全範囲)
	②	【フォーカス】第6講 評論(2)	演習問題A・B	151～200	－
	③	第14講 説話(1)	演習問題A・B	201～250	－
10月	①	第15講 説話(2)	演習問題A・B	月例テスト	月例テスト(用言・助動詞・助詞)
	②	第16講 随筆(1)	演習問題A・B	251～300	－
	③	第17講 随筆(2)	演習問題A・B	301～380	－
11月	①	第18講 日記・紀行(1)	演習問題A・B	月例テスト	月例テスト(識別)
	②	第19講 日記・紀行(2)	演習問題A・B	1～100	－
	③	第20講 和歌	演習問題A・B	101～200	－
12月	①	第21講 物語(1)	演習問題A・B	月例テスト	月例テスト(敬語)
	②	第22講 物語(2)	演習問題A・B	201～300	－
	③	第23講 評論	演習問題A・B	301～380	－
冬期	①	分野別問題演習(1)	入試問題演習	－	－
	②	分野別問題演習(2)	入試問題演習	－	－
	③	分野別問題演習(3)	入試問題演習	－	－
	④	分野別問題演習(4)	入試問題演習	－	－
1月	①	総合問題(1)	共通テスト対策	－	－
	②	総合問題(2)	入試問題演習	1～200	－
	③	総合問題(3)	入試問題演習	201～380	－

・上記カリキュラムの他にも、確認テストを行う場合があります。個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

・1月①が共通テスト実施日以後に実施される場合は、12月③と1月①の内容を入れ替えて実施します。

高3小論文(期間限定基本講座)

通常授業(1回)

120分

対象 小論文を入試で利用する生徒(推薦含む)。

※通常講座とは料金体系が異なります

講座の目的

小論文試験や推薦入試対策を行います。前期は「小論文とは何か?」という基本的なところから学習し、「文章の構成方法」や文章作成を学んだうえで、「課題文のない小論文」や「課題文のついた小論文」などを書けるようにします。後期は前期で学習した内容を踏まえ、最重要のテーマに沿って「志望校学部別対策」を行い、小論文で合格点をとれる力を養成します。

【教材】

■ 高校ゼミEssence小論文

小論文の構成、さまざまな形式への対応方法、ジャンル別の対策を学び、小論文の総合的な力を育成するテキストです。

使用法

予習:不要です。

授業:小論文の解説を中心に授業は進みます。解説の際に講師が行う板書は、ノートに写してください。

復習:授業で扱った問題は全てノートに解き直します。その際、わからない部分が残らないようにノートを参照しながら復習してください。

疑問点は放置せず、授業担当者やアシスタントスタッフに質問してください。宿題は次週の授業時に講師がチェックします。

【授業進行例】

0	30	60	90	120
諸伝達 5分	導入 25分	演習 60分	解説 30分	

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	宿題
5月	①	導入編 小論文の書き方	第1部	授業内で指示
	②	基礎編 賛成・反対を問う問題を書く	第2部第1講	添削課題①
	③	基礎編 キーワードを使って書く	第2部第5講	授業内で指示
6月	①	基礎編 複数の課題を読んで書く	第2部第6講	授業内で指示
	②	基礎編 課題文を読んで要約・論述する問題を解く	第2部第7講	添削課題②
	③	基礎編 要約と自由論述の問題を書く	第2部第8講	授業内で指示
7月	①	基礎編 統計資料を読んで書く	第2部第9講	授業内で指示
	②	基礎編 抽象的な課題を書く	第2部第10講	添削課題③
	③	基礎編 推薦入試対策(特別講義)	第4部	授業内で指示
9月	①	入試実践編 グローバリゼーションと異文化理解	第3部第1講	授業内で指示
	②	入試実践編 まちづくりと地域振興	第3部第2講	添削課題「学部系統別」
	③	入試実践編 科学研究と効率性	第3部第3講	授業内で指示
10月	①	入試実践編 男女共同参画社会	第3部第4講	授業内で指示
	②	入試実践編 弱くて、かっこ悪い自分へ	第3部第5講	添削課題「学部系統別」
	③	入試実践編 翻訳と辞書とインターネット	第3部第6講	授業内で指示
11月	①	入試実践編 労働力人口の推移	第3部第7講	授業内で指示
	②	入試実践編 高校生に覚醒剤を使用する自由はあるか	第3部第8講	添削課題「学部系統別」
	③	入試実践編 私のアイデンティティとは何か	第3部第9講	授業内で指示
12月	①	入試研究1(人文科学)	-	授業内で指示
	②	入試研究2(法、政治)	-	授業内で指示
	③	入試研究3(経済、自然科学)	-	授業内で指示
1月	①	入試演習1(人文科学)	-	授業内で指示
	②	入試演習2(法、政治)	-	授業内で指示
	③	入試演習3(経済、自然科学)	-	授業内で指示

個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。小論文は通常講座とは料金体系が異なります。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

物理 科目の指導方針

TW 授業の進め方

●高校物理全単元の二週目を演習中心に進めて、基礎知識の確認と自力で問題を解くための応用力の養成を行います。そして、11月以降はテーマ別実戦演習を行います。扱う問題は、難関大学の入試問題の中から学習効果の高い良問を厳選したものです。単に問題を解くだけでなく、その問題の現象や実態、背景を把握することに重点を置き、洞察力と実戦力を鍛えていきます。そして、冬期講習会からは「総合演習」「テストゼミ演習」を通して、制限時間内に得点を最大化させる訓練を徹底的に行います。基礎力、実戦力、得点力を身につけ、どのような問題に対しても動じることなく対応できる状態で入試に臨んでもらいたいと思います。

SK 授業の進め方

●高校物理全単元の二週目を「導入+演習」で進めて、基礎知識の確認と自力で問題を解くための応用力の養成を行います。そして、12月と1月の授業ではテーマ別実戦演習を行います。扱う問題は、各単元の重要なテーマを含む良問を厳選したものです。単に問題を解くだけでなく、その問題を解くために必要な物理法則や基礎知識の確認をし、解法の大きな流れを解説して、基礎力と実戦力を鍛えていきます。そして、冬期講習会ではテストゼミ演習を通して、制限時間内に得点を最大化させる訓練を徹底的に行います。基礎力、実戦力、得点力を身につけ、どのような問題に対しても動じることなく対応できる状態で入試に臨んでもらいたいと思います。

【ノート】

■TW

授業を受けるにあたり、ノートは以下の2冊をご用意ください。

①授業用ノート

授業で扱う講義編テキストの「例題」「応用例題」を解く際に使用します。知識や理論の導入は、講義編テキストに沿って進めていくので、補足説明はテキストに直接書き込んで下さい。

②課題用ノート

宿題として指定された演習課題を解く際に使用します。宿題は、講義編テキストの「例題」「応用例題」や、演習テキストから指定されます。

■SK

授業を受けるにあたり、ノートは以下の2冊をご用意ください。

①授業用ノート

授業内の知識や理論導入の板書ノートとして使用します。必要に応じて、先生の口頭説明も書き加えましょう。また、復習する際に、分かりにくい部分については自分の言葉で説明を書き加えて整理しておきましょう。

②課題用ノート

宿題として指定された演習課題を解く際に使用します。宿題は、授業のテキストの「演習」から指定されます。

化学 科目の指導方針

TW 授業の進め方

●ハイスピードなカリキュラムと解答作成能力の醸成
『東大や医学部合格に必要な科学的思考および自然観を身につけさせる。』
2年生で構築した化学の世界を、実際の入試問題に当てはめて使えるようにすることが3年生の学習の目標です。前期は単元別に重要なテーマや発展的な問題を通じて、知っている知識に落とし込んで解くための手法を習得します。後期はテストゼミとして単元に縛られない総合演習を十数回行い、記述問題や計算問題を通して、知識が正しく運用されているかをチェックします。最終的には各大学で合格点を取るための戦略、必要な知識レベルが身につくよう進めていきます。

SK 授業の進め方

●知識の確実な定着と計算能力の醸成
『早慶理工・薬学部合格に必要な計算能力・適切な化学的操作を身につけさせる。』
2年生で構築した化学の世界を、実際の入試問題に当てはめて使えるようにすることが3年生の学習の目標です。前期～10月は2年生で学習した内容について、単元ごとに誤りやすいポイントや誤解しやすい表現について確認をします。授業の後半では実践的な演習を通じて入試問題での問われ方や知識が曖昧になりやすい部分を重点的に確認します。11月以降は再度単元別に重要テーマや発展的な問題を通じて、正確な知識や計算能力の定着を目指します。年間を通じて基礎事項の確認+入試で差がつきやすいポイントに比重を置くことで、最終的には各大学で合格点を取るように指導を進めます。

【ノート】

■TW

授業を受けるにあたり、ノートは以下の2冊をご用意ください。

①授業用ノート

授業用テキストの問題を解く際に使用します。知識や理論の導入・問題の解説もノートに書き込んで下さい。

②宿題用ノート

宿題として指定された自習課題を解く際に使用します。宿題は授業用テキストの解き直しと演習用テキストから毎回指定されます。

■SK

授業を受けるにあたり、ノートは以下の2冊をご用意ください。

①授業用ノート

授業はテキストのみを利用して板書で進めていきます。授業内容の他、わからない語句が登場したら都度メモを取るようにしましょう。

②演習用ノート

授業内での演習、通常授業の宿題、長期課題の宿題を行う演習用のノートです。問題を解くために必要な用語や計算手法などは都度まとめていきましょう。

生物 科目の指導方針

授業の進め方

●高校生物のすべての分野を、入試問題演習も交えながら一通り学習します。その後、実戦的な難関大演習を行う中で解答力を鍛えていきます。それぞれの単元は基礎的な内容からスタートしますが、ある程度理解が進んだ上で授業に臨む方が効果的な学習ができます。授業で扱う単元についてあらかじめ教科書の該当単元に目を通しておく程度の予習を前提とします。また、正誤問題と計算問題と考察問題の演習を課題として提示します。生物は暗記すべき情報が多い科目ですが、難関大合格のためには単純な暗記だけでは対応できません。より一段と理解を深めるために、単元同士の結びつきを意識した学習や考察力を鍛えるための実験考察問題を授業で扱います。東大などの難関大学の入試問題は、リード文が非常に長く複数の単元を横断する問題が出題されるため、問題の設定や条件を素早く理解する読解力と生物学的な思考回路が必要となります。また、論述問題への対策として、実際に答案を作成する練習も授業内で行います。また、冬期や直前期には、近年の出題傾向を意識した問題や受講生の志望に応じた問題演習を通じて、効率的に得点を伸ばす演習授業を行っていきます。

【ノート】

授業用として、ノートを1冊をご用意ください。

授業内の知識や理論導入の板書ノートとして使用します。必要に応じて、先生の口頭説明も書き加えましょう。また、復習する際に、分かりにくい部分については自分の言葉で説明を書き加えて整理しておきましょう。宿題で出る演習課題も、このノートに解きましょう。

【カリキュラム】

	高2			高3		
	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉
TW	力学導入	熱力学導入 波動導入	電磁気導入	全分野導入・演習	全分野導入・演習 入試実戦	入試実戦
SK	力学導入	熱力学導入 波動導入	電気導入	全分野導入・演習	全分野導入・演習 入試実戦	入試実戦

【テスト(高3)】

TWクラス選抜
東大必勝模試

TWクラスの受講には選抜試験で受講認定を得ることが必要です。受講認定の対象になるのは、高2の12月に行われたクラス分けテスト、高3の6月に行われる東大必勝模試です(必修テストや東大外部模試の結果によって受講認定を付与する場合があります)。

実施月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

必修テスト

5月、9月、10月の年3回の記述型全国模試と、6月、11月の年2回マーク型全国模試を受験します。授業担当者から、必修テストの結果を元に課題が指定されることがあります。6月段階では、全単元が終了していませんが、8月以降はほぼ全単元が終了していますので偏差値65以上が目安です。

実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

月例テスト

授業冒頭20分間で月例テストを行います。前月学習した内容から出題されます。合格点は70点が目安です(TWクラスでは11月はありません)。

実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

【カリキュラム】

	高2			高3		
	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉
TW	理論化学導入	無機化学導入	有機化学導入	全分野演習	全分野演習 入試実戦	入試実戦
SK	理論化学導入	無機化学導入	有機化学導入	全分野導入・演習	全分野導入・演習	全分野演習 入試実戦

【テスト(高3)】

TWクラス選抜
東大必勝模試

TWクラスの受講には選抜試験で受講認定を得ることが必要です。受講認定の対象になるのは、高2の12月に行われたクラス分けテスト、高3の6月に行われる東大必勝模試です(必修テストや東大外部模試の結果によって受講認定を付与する場合があります)。

実施月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

必修テスト

5月、9月、10月の年3回の記述型全国模試と、6月、11月の年2回マーク型全国模試を受験します。授業担当者から、必修テストの結果を元に課題が指定されることがあります。6月段階では、全単元が終了していませんが、9月以降はほぼ全単元が終了していますので偏差値65以上が目安です。

実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

月例テスト

授業冒頭20分間で月例テストを行います。前月学習した内容から出題されます。合格点は70点が目安です。

実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

【カリキュラム】

	高2			高3		
	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉	〈1学期〉	〈2学期〉	〈3学期〉
TW	[生物基礎]導入	[生物基礎]導入	[生物]導入	全分野導入・演習	全分野導入・演習	入試実戦

【テスト(高3)】

必修テスト

記述型全国模試を5月、9月、10月の年3回、マーク型全国模試を6月、11月の年2回受験します。単元学習を離れた実力テストで、普段の学習がどの程度定着しているかを最終的に判断することができます。授業担当者から、模試の結果を元に課題が指定されることがあります。各人の学習状況にもよりますが、偏差値60以上が目標となるでしょう。

実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

月例テスト

該当月の最終授業で月例テストを課題として課し、翌月冒頭で提出してもらいます。前月学習した内容から出題されます。合格点は70点が目安です。

実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
-----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

高3物理TW 選抜

対象

東大・京大・国公立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

前期は基礎理論を振り返りつつ、入試問題演習を通して理論を具体的な問題へ適用していくための一貫した思考を身につけていくことを目指します。高2までに概観した物理学をより高い視点から体系化すると同時に、数式と物理現象の間を自由に往来していくためのトレーニングに時間を割く予定です。11月以降はテーマ演習やテストゼミ形式の実戦演習に移行します。未知の問題設定に対しても常に安定した処理が行えるようになることを目指します。

【教材】

- 高3物理TW 力学[講義編]／[演習編](3月～春期 α 、夏期 α)
- 高3物理TW 力学[単元別演習編](春期 β)
- 高3物理TW 波動[講義編]／[演習編](4月～5月)
- 高3物理TW 電磁気[講義編]／[演習編](6月～7月、9月～10月)
- 高3物理TW 熱力学[講義編・演習編](夏期 β)
- 高3物理TW 原子物理[講義編・演習編](夏期 γ)
- 高3物理TW テーマ別実戦演習(11月～12月)
- 高3物理TW 波動・熱力学・原子 総合演習(冬期)
- 高3物理TW テストゼミ演習(1月)

すべて授業で使用使用するテキストです。(11月以降は、重要テーマを含む入試問題演習+解説)

使用法

予習:不要です。

授業:担当講師の指示に従って使用してください。

【宿題】

宿題は以下の通りになります。

【3月～10月】

① 授業内容の復習 (40分程度)

講義編テキストで新しく登場した「物理用語」「物理法則」「公式・定義式」などの定義や意味を確認し、稚拙な言葉でも良いので他人に説明できるようにしましょう。そして、授業内で扱った「例題」「応用例題」の解き直しをして下さい。また、再度テキストを見るときのことを考え、復習をする際は、理解しにくい部分に自分の言葉で補足説明をテキストに書き加えておきましょう。

② テキストの指定された問題を解く (80分程度)

授業内容に合わせて指定された問題を解いて下さい。講義編のテキストから出題された問題は講義編用のノートに解き、演習編テキストで指定された問題は課題用のノートに解きましょう。

【11月～1月】

① 授業内容の復習 (2時間程度)

11月以降はテーマ別の実戦演習となります。授業で扱った演習問題の解答解説の読み直しを行い、各大問のポイントとテーマを整理しましょう。そして、テキストの補充問題を1題あたり約20分の時間設定で解いて下さい。

② 次の授業に向けた基本事項の確認 (1時間程度)

毎回の授業で扱うテーマが決まっているので、そのテーマについての基礎知識や典型例題を講義編のテキストを用いて授業を受ける前に確認しておきましょう。これを毎週行うことで、講義編のテキストの総復習をすることができます。

※宿題の時間は目安であり、重要なことは、授業内容を正確に理解して自力で演習問題が解ける力を身につけることです。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
前回内容の確認・宿題解説 25分		理論導入・例題解説・演習 90分		諸伝達 5分

・11月以降は「実戦演習+解説」の授業形式です。
 ・クラスの人数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回は冒頭で20分のテストを行います。

【カリキュラム】

月	回	分野	内容	使用テキスト	月例テスト
3月	①	力学	位置・速度・加速度	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
	②	力学	運動方程式[1]	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
	③	力学	運動方程式[2]	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
春期α	①	力学	保存則[1]	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
	②	力学	保存則[2]	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
	③	力学	円運動[1]	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
	④	力学	円運動[2]・剛体・流体	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
春期β	①	力学	【演習】保存則[1]	高3物理TW 力学[単元別演習編]	-
	②	力学	【演習】保存則[2]	高3物理TW 力学[単元別演習編]	-
	③	力学	【演習】円運動[1]	高3物理TW 力学[単元別演習編]	-
	④	力学	【演習】円運動[2]・剛体・流体	高3物理TW 力学[単元別演習編]	-
4月	①	波動	波の基本性質	高3物理TW 波動[講義編]/[演習編]	-
	②	波動	弦と気柱の振動・共振	高3物理TW 波動[講義編]/[演習編]	-
	③	波動	ドップラー効果	高3物理TW 波動[講義編]/[演習編]	-
5月	①	波動	光の基本性質・レンズ	高3物理TW 波動[講義編]/[演習編]	音の干渉・ドップラー効果
	②	波動	光の干渉[1]	高3物理TW 波動[講義編]/[演習編]	-
	③	波動	光の干渉[2]	高3物理TW 波動[講義編]/[演習編]	-
6月	①	電磁気	電場と電位[1]	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	光の干渉
	②	電磁気	電場と電位[2]	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	-
	③	電磁気	コンデンサー[1]	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	-
7月	①	電磁気	電流と抵抗	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	電場と電位
	②	電磁気	直流回路(非線形抵抗含む)	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	-
	③	電磁気	コンデンサー[2]	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	-
夏期α	①	力学	単振動[1]	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
	②	力学	単振動[2]	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
	③	力学	万有引力	高3物理TW 力学[講義編]/[演習編]	-
夏期β	①	熱力学	気体分子運動論・熱力学第1法則	高3物理TW 熱力学[講義編・演習編]	-
	②	熱力学	気体の状態変化	高3物理TW 熱力学[講義編・演習編]	-
	③	熱力学	熱サイクル	高3物理TW 熱力学[講義編・演習編]	-
夏期γ	①	原子	光電効果・X線	高3物理TW 原子物理[講義編・演習編]	-
	②	原子	物質波・原子モデル	高3物理TW 原子物理[講義編・演習編]	-
	③	原子	原子核反応	高3物理TW 原子物理[講義編・演習編]	-
9月	①	電磁気	電流と磁場	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	-
	②	電磁気	荷電粒子の運動	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	-
	③	電磁気	電磁誘導[1]	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	-
10月	①	電磁気	電磁誘導[2]	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	電磁誘導
	②	電磁気	交流回路	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	-
	③	電磁気	電気振動	高3物理TW 電磁気[講義編]/[演習編]	-
11月	①	テーマ別実戦演習	電磁気① 電磁誘導[1]	高3物理TW テーマ別実戦演習	-
	②	テーマ別実戦演習	電磁気② 電磁誘導[2]	高3物理TW テーマ別実戦演習	-
	③	テーマ別実戦演習	電磁気③ 回路	高3物理TW テーマ別実戦演習	-
12月	①	テーマ別実戦演習	電磁気④ 荷電粒子の運動・コンデンサー	高3物理TW テーマ別実戦演習	-
	②	テーマ別実戦演習	力学① 円運動・単振動	高3物理TW テーマ別実戦演習	-
	③	テーマ別実戦演習	力学② 重心運動・二体問題	高3物理TW テーマ別実戦演習	-
冬期	①	総合演習	波動[1]	高3物理TW 波動・熱力学・原子 総合演習	-
	②	総合演習	波動[2]	高3物理TW 波動・熱力学・原子 総合演習	-
	③	総合演習	熱力学	高3物理TW 波動・熱力学・原子 総合演習	-
	④	総合演習	原子	高3物理TW 波動・熱力学・原子 総合演習	-
1月	①	実戦テストゼミ	実戦テストゼミ[1] 論述式	高3物理TW テストゼミ演習	-
	②	実戦テストゼミ	実戦テストゼミ[2] 論述式	高3物理TW テストゼミ演習	-
	③	実戦テストゼミ	実戦テストゼミ[3] 論述式	高3物理TW テストゼミ演習	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

高3物理SK

対象

国立大・早慶上智大・理科大・GMARCH大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

物理は理論導入が非常に重要です。毎回の授業で基礎理論の理解をしっかりと深めていきます。物理的な性質の理解に重点を置きながら、演習を多く取り入れ、計算力も養います。12月からは総合演習に入ります。物理現象を根本的に理解することにより、典型問題を確実に解けるようになりながら、難関入試で出題されるような、物理的考察を必要とする問題にも対処できる力を付けることが目的です。

10月以降の模試で偏差値60以上がとれる力を付けることを目標とします。

【教材】

- 物理SK 力学[実戦編] (3月～春期α、5月～7月)
- 物理SK 波動[実戦編] (春期β～4月)
- 物理SK 電磁気[実戦編] (夏期α～10月)
- 物理SK 熱力学[実戦編] (夏期β)
- 物理SK 原子物理[実戦編] (10月～11月)
- 物理SK 電磁気総合演習 (12月)
- 物理SK テストゼミ演習 (冬期)
- 物理SK テーマ別演習 (1月)

すべて授業で使用するテキストです(12月以降は、重要テーマを含む入試問題演習+解説)。また、翌週同範囲の「確認テスト」を行います。

使用法

予習:不要です。

授業:担当講師の指示に従って使用してください。

- 物理のエッセンス 力学・波動
- 物理のエッセンス 熱・電磁気・原子

高3物理SKのサブテキストです。各単元の基本事項がまとめられています。

使用法

予習:不要です。

授業:担当講師の指示に従って使用してください。

【宿題】

宿題は以下の通りになります。

【3月～11月】

① 授業内容の復習 (40分程度)

授業で新しく登場した「物理用語」「物理法則」「公式・定義式」などの定義や意味を確認し、稚拙な言葉でも良いので他人に説明できるようにしましょう。そして、授業内で扱った「例題」「演習」の解き直しをして下さい。演習問題の解き直しをする際は、その問題を解く上で必要な知識と、解法の大きな流れを整理しておきましょう。

② テキストの指定された問題を解く (80分程度)

授業内容に合わせて指定されたテキストの演習問題を解いて下さい。余裕がある人は、発展演習にチャレンジしてみてください。

【12月～1月】

① 授業内容の復習 (1時間程度)

12月以降はテーマ別の実戦演習となります。授業で扱った演習問題の解答解説の読み直しを行い、各大問のポイントとテーマを整理しましょう。

② 次の授業に向けた基本事項の確認 (1時間程度)

毎回の授業で扱うテーマが決まっているので、そのテーマについての基礎知識や典型例題を11月までの授業で使用していたテキストとノートを用いて授業を受ける前に確認しておきましょう。

※宿題の時間は目安であり、重要なことは、授業内容を正確に理解して自力で演習問題が解ける力を身につけることです。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
確認テスト 15分	理論導入、典型問題演習・解説 100分			諸伝達 5分

・12月以降は「実戦演習+解説」の授業形式です。
 ・クラスの人数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回は冒頭で20分のテストを行います。

【カリキュラム】

月	回	分野	内容	使用テキスト	確認テスト
3月	①	力学	力のつり合い[1]	物理SK 力学 [実戦編]	-
	②	力学	力のつり合い[2]	物理SK 力学 [実戦編]	力のつり合い[1]
	③	力学	剛体・モーメント	物理SK 力学 [実戦編]	力のつり合い[2]
春期α	①	力学	運動方程式・等加速度運動	物理SK 力学 [実戦編]	-
	②	力学	運動方程式(慣性力を含む)	物理SK 力学 [実戦編]	運動方程式・等加速度運動
	③	力学	複合問題演習[1]	物理SK 力学 [実戦編]	運動方程式(慣性力を含む)
	④	力学	複合問題演習[2]	物理SK 力学 [実戦編]	-
春期β	①	波動	波の基本的性質[1]	物理SK 波動 [実戦編]	-
	②	波動	波の基本的性質[2]	物理SK 波動 [実戦編]	波の基本的性質[1]
	③	波動	弦と気柱の振動・共振	物理SK 波動 [実戦編]	波の基本的性質[2]
	④	波動	ドップラー効果	物理SK 波動 [実戦編]	弦と気柱の振動・共振
4月	①	波動	光の基本的性質・幾何光学	物理SK 波動 [実戦編]	-
	②	波動	光の干渉[1]	物理SK 波動 [実戦編]	光の基本的性質・幾何光学
	③	波動	光の干渉[2]	物理SK 波動 [実戦編]	光の干渉[1]
5月	①	力学	保存則[1]	物理SK 力学 [実戦編]	月例テスト(光の干渉)
	②	力学	保存則[2]	物理SK 力学 [実戦編]	保存則[1]
	③	力学	保存則演習	物理SK 力学 [実戦編]	保存則[2]
6月	①	力学	円運動[1]	物理SK 力学 [実戦編]	月例テスト(保存則)
	②	力学	円運動[2]	物理SK 力学 [実戦編]	円運動[1]
	③	力学	万有引力	物理SK 力学 [実戦編]	円運動[2]
7月	①	力学	単振動[1]	物理SK 力学 [実戦編]	月例テスト(円運動)
	②	力学	単振動[2]	物理SK 力学 [実戦編]	単振動[1]
	③	力学	力学総合演習	物理SK 力学 [実戦編]	単振動[2]
夏期α	①	電磁気	電場と電位	物理SK 電磁気 [実戦編]	-
	②	電磁気	コンデンサー[1]	物理SK 電磁気 [実戦編]	電場と電位
	③	電磁気	コンデンサー[2]	物理SK 電磁気 [実戦編]	コンデンサー[1]
	④	電磁気	直流回路(非線形抵抗を含む)	物理SK 電磁気 [実戦編]	コンデンサー[2]
	⑤	電磁気	電流と磁場	物理SK 電磁気 [実戦編]	直流回路(非線形抵抗を含む)
	⑥	電磁気	荷電粒子の運動	物理SK 電磁気 [実戦編]	電流と磁場
夏期β	①	熱力学	熱力学の諸法則	物理SK 熱力学 [実戦編]	-
	②	熱力学	気体分子運動論	物理SK 熱力学 [実戦編]	熱力学の諸法則
	③	熱力学	気体の状態変化・熱サイクル	物理SK 熱力学 [実戦編]	気体分子運動論
9月	①	電磁気	電磁誘導[1]	物理SK 電磁気 [実戦編]	-
	②	電磁気	電磁誘導[2]	物理SK 電磁気 [実戦編]	電磁誘導[1]
	③	電磁気	電磁誘導[3]	物理SK 電磁気 [実戦編]	電磁誘導[2]
10月	①	電磁気	交流回路	物理SK 電磁気 [実戦編]	月例テスト(電磁誘導)
	②	電磁気	電気振動・RLC回路	物理SK 電磁気 [実戦編]	交流回路
	③	原子	光電効果・コンプトン散乱	物理SK 原子物理 [実戦編]	電気振動・RLC回路
11月	①	原子	物質波・X線の発生・X線回折	物理SK 原子物理 [実戦編]	月例テスト(交流回路・電気振動)
	②	原子	原子・原子核[1]	物理SK 原子物理 [実戦編]	物質波・X線の発生・X線回折
	③	原子	原子・原子核[2]	物理SK 原子物理 [実戦編]	原子・原子核[1]
12月	①	電磁気	【演習】電磁誘導	物理SK 電磁気総合演習	-
	②	電磁気	【演習】回路(直流・交流)	物理SK 電磁気総合演習	-
	③	電磁気	【演習】コンデンサー	物理SK 電磁気総合演習	-
冬期	①	テストゼミ	テストゼミ演習	物理SK テストゼミ演習	-
	②	テストゼミ	テストゼミ演習	物理SK テストゼミ演習	-
	③	テストゼミ	テストゼミ演習	物理SK テストゼミ演習	-
	④	テストゼミ	テストゼミ演習	物理SK テストゼミ演習	-
1月	①	テーマ別演習	共通テスト対策	物理SK テーマ別演習	-
	②	テーマ別演習	テーマ別演習[1]	物理SK テーマ別演習	-
	③	テーマ別演習	テーマ別演習[2]	物理SK テーマ別演習	-

クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

高3化学TW 選抜

対象

東大・京大・国立大医学部などの最難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

10月までは講義&演習の形式で授業を展開し、化学の基礎的な力を確実に習得させます。単に暗記をすることや用語を答えられることだけにとどまらず、難関大合格に必須である化学現象の原理・法則の理解を深めます。そして、11月以降は入試演習により、これまで築いた理解を解答に反映する力を一気に習得していきます。

【教材】

- 高3化学TW 理論化学①【講義編・演習編・自習用】(3月～5月)
- 高3化学TW 理論化学②・無機化学【講義編・演習編・自習用】(夏期 α ・ β)
- 高3化学TW 有機化学①【講義編・演習編・自習用】(5月～7月)
- 高3化学TW 有機化学②【講義編・演習編・自習用】(9月～10月)
- 高3化学TW テストゼミ【問題編・解答編】(11月～1月)

使用法

予習:不要です。

授業:担当講師の指示に従って使用してください。

【宿題】

宿題は以下の通りになります。

【3月～10月】

①授業で扱った問題の解きなおし (1時間程度)

前期の授業で取り組む問題は入試化学に必須の典型問題ばかりです。授業内での演習と解説を踏まえて、解けなかった問題が「なぜできなかったのか」「どうすればできるようになるのか」を確認しましょう。

②自習用の該当問題を解く (1時間程度)

【11月～1月】

①テストゼミの問題の解きなおし

時間内に解けるべきなのに解けなかった問題があれば、10月までの授業で学んだことのうち「いったい何を忘れてしまったのか」確認して思い出しましょう。

②自習問題およびテストゼミの類題を解く

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
諸伝達 5分	理論導入、典型問題演習&解説 90分			問題演習&解説 25分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	分野	内容	使用テキスト	月例テスト
3月	①	理論化学	物質の構成粒子	高3化学TW 理論化学①	-
	②	理論化学	化学結合	高3化学TW 理論化学①	-
	③	理論化学	結晶格子	高3化学TW 理論化学①	-
春期	①	理論化学	気体の性質と混合気体	高3化学TW 理論化学①	-
	②	理論化学	蒸気圧、実在気体	高3化学TW 理論化学①	-
	③	理論化学	溶液の濃度、固体の溶解度	高3化学TW 理論化学①	-
	④	理論化学	希薄溶液の性質、コロイド	高3化学TW 理論化学①	-
4月	①	理論化学	熱化学(1)	高3化学TW 理論化学①	-
	②	理論化学	熱化学(2)	高3化学TW 理論化学①	-
	③	理論化学	反応速度	高3化学TW 理論化学①	-
5月	①	理論化学	化学平衡(1)	高3化学TW 理論化学①	月例テスト
	②	理論化学	化学平衡(2)	高3化学TW 理論化学①	-
	③	有機化学	有機化学の基礎(異性体)	高3化学TW 有機化学①	-
6月	①	有機化学	有機化学の基礎(元素分析)、脂肪酸炭化水素	高3化学TW 有機化学①	月例テスト
	②	有機化学	脂肪族化合物(アルコール・エーテル)	高3化学TW 有機化学①	-
	③	有機化学	脂肪族化合物(アルデヒド・ケトン・カルボン酸)	高3化学TW 有機化学①	-
7月	①	有機化学	脂肪族化合物(エステル)・芳香族炭化水素	高3化学TW 有機化学①	月例テスト
	②	有機化学	芳香族化合物(フェノール・芳香族カルボン酸)	高3化学TW 有機化学①	-
	③	有機化学	窒素を含んだ芳香族化合物	高3化学TW 有機化学①	-
夏期α	①	理論化学	酸・塩基(1)	高3化学TW 理論化学②・無機化学	-
	②	理論化学	酸・塩基(2)	高3化学TW 理論化学②・無機化学	-
	③	理論化学	酸化還元滴定	高3化学TW 理論化学②・無機化学	-
	④	理論化学	金属のイオン化傾向、電池の基本性質	高3化学TW 理論化学②・無機化学	-
	⑤	理論化学	実用電池	高3化学TW 理論化学②・無機化学	-
	⑥	理論化学	電気分解	高3化学TW 理論化学②・無機化学	-
夏期β	①	無機化学	無機反応の分類	高3化学TW 理論化学②・無機化学	-
	②	無機化学	気体の製法、無機物質の工業的製法	高3化学TW 理論化学②・無機化学	-
	③	無機化学	金属イオンの系統分析	高3化学TW 理論化学②・無機化学	-
9月	①	有機化学	単糖類・二糖類・多糖類	高3化学TW 有機化学②	-
	②	有機化学	アミノ酸・タンパク質	高3化学TW 有機化学②	-
	③	有機化学	油脂	高3化学TW 有機化学②	-
10月	①	有機化学	核酸、天然高分子演習	高3化学TW 有機化学②	月例テスト
	②	有機化学	合成高分子化合物(1)	高3化学TW 有機化学②	-
	③	有機化学	合成高分子化合物(2)	高3化学TW 有機化学②	-
11月	①		テストゼミ(1)	高3化学TW テストゼミ	-
	②		テストゼミ(2)	高3化学TW テストゼミ	-
	③		テストゼミ(3)	高3化学TW テストゼミ	-
12月	①		テストゼミ(4)	高3化学TW テストゼミ	-
	②		テストゼミ(5)	高3化学TW テストゼミ	-
	③		テストゼミ(6)	高3化学TW テストゼミ	-
冬期	①		テストゼミ(7)	高3化学TW テストゼミ	-
	②		テストゼミ(8)	高3化学TW テストゼミ	-
	③		テストゼミ(9)	高3化学TW テストゼミ	-
	④		テストゼミ(10)	高3化学TW テストゼミ	-
1月	①		テストゼミ(11)	高3化学TW テストゼミ	-
	②		テストゼミ(12)	高3化学TW テストゼミ	-
	③		テストゼミ(13)	高3化学TW テストゼミ	-

クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

高3化学SK

対象

国立大・早慶上智大・理科大・GMARCH大などの難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

10月までは各単元を基礎レベルから確認しつつ、入試標準レベルの問題を演習していきます。11月からは実戦的な演習に入ります。教科書から一歩踏み込んだかたちで化学現象を根本的に理解することにより、典型問題を確実に解けるようにしながら、最難関入試で出題されるような“長めのリード文から化学的考察のもと、解答を作成する力”を養成することが目的です。

8月終了段階で、有機化学の高分子化合物以外の単元はすべて学び終えますので、その時点の模試で偏差値60以上をとれる力を付けることが目標です。

【教材】

- 高3化学SK 理論化学【講義編・演習編・自習用】(3月～5月)
- 高3化学SK 有機化学①【講義編・演習編・自習用】(6月～夏期β)
- 高3化学SK 理論・無機化学【講義編・演習編・自習用】(夏期α)
- 高3化学SK 有機化学②【講義編・演習編・自習用】(9月～10月)
- 高3化学SK 理論化学テーマ別入試演習【問題編・解答編】(11月～冬期α)
- 高3化学SK 有機化学入試演習【問題編・解答編】(冬期β)
- 高3化学SK テストゼミ【問題編・解答編】(1月)

すべて授業で使用するテキストです。

使用法

予習:不要です。

授業:担当講師の指示に従って使用してください。

■ 実戦化学重要問題集

高3化学SKの演習テキストです。授業および宿題に使用するので授業に持参して下さい。

使用法

予習:不要です。

授業:担当講師の指示に従って使用してください。

【宿題】

宿題は以下の通りになります。

① 授業テキストとノートの見直し (1時間程度)

まずは授業内で扱った用語や法則について、一つひとつが「どういう定義で」「なぜ成立するのか」をノートを見なくても説明できるようになるまで反復して読み込んでください。授業では化学で用いる用語や法則の定義について、根源的な成り立ちや日常生活との関わり・他分野や他単元との関わりを、具体例を用いて説明しますから、それらも含めて暗唱できる状態にしておきましょう。

② 重要問題集の指定された問題を解く (2時間程度)

授業ノートの見返しが終わったら、重要問題集のテキストに対応している問題を宿題用ノートに解きます。解けた問題も解けなかった問題も、

①で確認したツールが問題のなかでどのように利用されているのかを解説で確認していきましょう。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
前回内容 確認テスト 10分	解説 諸伝達 5分 5分	理論導入、典型問題演習&解説 75分	問題演習&解説 25分	

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	分野	内容	使用テキスト	確認・月例テスト
3月	①	理論化学	物質の成り立ちと原子に関する法則、物質の名称、物質質量	高3化学SK 理論化学	-
	②	理論化学	原子の構造、電子配置と周期表	高3化学SK 理論化学	3月①内容
	③	理論化学	化学結合、結合の種類、極性	高3化学SK 理論化学	3月②内容
春期α	①	理論化学	ボイル・シャルルの法則、気体の状態方程式、混合気体	高3化学SK 理論化学	-
	②	理論化学	実在気体、状態変化、三態、蒸気圧曲線	高3化学SK 理論化学	春期α①内容
	③	理論化学	濃度の種類、溶解度	高3化学SK 理論化学	春期α②内容
	④	理論化学	希薄溶液の性質、コロイド	高3化学SK 理論化学	春期α③内容
春期β	①	理論化学	結晶の性質、結晶の構造	高3化学SK 理論化学	-
	②	理論化学	反応エンタルピー、ヘスの法則、結合エネルギー	高3化学SK 理論化学	春期β①内容
	③	理論化学	反応速度論	高3化学SK 理論化学	春期β②内容
	④	理論化学	化学平衡、ルシャトリエの原理	高3化学SK 理論化学	春期β③内容
4月	①	理論化学	酸・塩基の定義、pHの定義	高3化学SK 理論化学	-
	②	理論化学	広義の酸塩基反応と電離平衡のpH	高3化学SK 理論化学	4月①内容
	③	理論化学	中和反応と塩の加水分解	高3化学SK 理論化学	4月②内容
5月	①	理論化学	逆滴定、2段階滴定、滴定法のまとめ	高3化学SK 理論化学	月例テスト
	②	理論化学	滴定曲線と緩衝液	高3化学SK 理論化学	5月①内容
	③	理論化学	酸化還元、酸化数、酸化還元滴定	高3化学SK 理論化学	5月②内容
6月	①	有機化学	有機化学の基礎(骨格と官能基、異性体)	高3化学SK 有機化学①	月例テスト
	②	有機化学	脂肪族化合物の反応・性質(炭化水素)①	高3化学SK 有機化学①	6月①内容
	③	有機化学	脂肪族化合物の反応・性質(炭化水素)②	高3化学SK 有機化学①	6月②内容
7月	①	有機化学	脂肪族化合物の反応・性質(アルコールとエーテル)	高3化学SK 有機化学①	月例テスト
	②	有機化学	脂肪族化合物の反応・性質(アルデヒドとケトン)	高3化学SK 有機化学①	7月①内容
	③	有機化学	脂肪族化合物の反応・性質(カルボン酸、エステル)	高3化学SK 有機化学①	7月②内容
夏期α	①	理論化学	金属のイオン化傾向、電池の基本性質	高3化学SK 理論・無機化学	-
	②	理論化学	実用電池	高3化学SK 理論・無機化学	夏期α①内容
	③	理論化学	電気分解、熔融塩電解、電気分解の応用	高3化学SK 理論・無機化学	夏期α②内容
	④	無機化学	典型非金属元素	高3化学SK 理論・無機化学	夏期α③内容
	⑤	無機化学	典型金属元素	高3化学SK 理論・無機化学	夏期α④内容
	⑥	無機化学	遷移元素	高3化学SK 理論・無機化学	夏期α⑤内容
	⑦	無機化学	気体の製法と性質	高3化学SK 理論・無機化学	夏期α⑥内容
	⑧	無機化学	無機化合物の工業的製法と利用価値	高3化学SK 理論・無機化学	夏期α⑦内容
	⑨	無機化学	金属の系統分析	高3化学SK 理論・無機化学	夏期α⑧内容
夏期β	①	有機化学	芳香族化合物の反応・性質(ベンゼン、酸素を含む芳香族化合物①)	高3化学SK 有機化学①	-
	②	有機化学	芳香族化合物の反応・性質(酸素を含む芳香族化合物②、アミン)	高3化学SK 有機化学①	夏期β①内容
	③	有機化学	有機化合物の構造決定	高3化学SK 有機化学①	夏期β②内容
9月	①	有機化学	単糖類・二糖類・多糖類	高3化学SK 有機化学②	-
	②	有機化学	アミノ酸・タンパク質	高3化学SK 有機化学②	9月①内容
	③	有機化学	油脂・脂質・核酸	高3化学SK 有機化学②	9月②内容
10月	①	有機化学	天然高分子化合物演習	高3化学SK 有機化学②	月例テスト
	②	有機化学	合成高分子の特徴・ゴム・プラスチック	高3化学SK 有機化学②	10月①内容
	③	有機化学	機能性樹脂・合成繊維	高3化学SK 有機化学②	10月②内容
11月	①	理論化学	テーマ別入試演習【酸・塩基反応】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
	②	理論化学	テーマ別入試演習【酸化還元反応】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
	③	理論化学	テーマ別入試演習【電気化学】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
12月	①	理論化学	テーマ別入試演習【熱化学】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
	②	理論化学	テーマ別入試演習【反応速度】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
	③	理論化学	テーマ別入試演習【結晶格子】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
冬期α	①	理論化学	テーマ別入試演習【化学平衡】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
	②	理論化学	テーマ別入試演習【気体】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
	③	理論化学	テーマ別入試演習【濃度と溶解度】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
	④	理論化学	テーマ別入試演習【希薄溶液】	高3化学SK 理論化学テーマ別演習	-
冬期β	①	有機化学	有機化学演習【有機化合物の性質】	高3化学SK 有機化学入試演習	-
	②	有機化学	有機化学演習【有機化合物の分析】	高3化学SK 有機化学入試演習	-
	③	有機化学	有機化学演習【天然高分子化合物】	高3化学SK 有機化学入試演習	-
	④	有機化学	有機化学演習【合成高分子化合物】	高3化学SK 有機化学入試演習	-
1月	①		テストゼミ演習【私大国立二次対策】	高3化学SK テストゼミ	-
	②		テストゼミ演習【私大国立二次対策】	高3化学SK テストゼミ	-
	③		テストゼミ演習【私大国立二次対策】	高3化学SK テストゼミ	-

クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。受講者層と志望大学に応じて、扱う問題を変更する場合があります。

高3生物TW

対象

東大・医学部などの最難関大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

最難関大学に必要な論述の能力と教科書には載っていない実験・研究問題への対応能力を醸成します。各単元の基本事項を大切に、最難関入試に対応する能力に引き上げます。

【教材】

■ 理系標準問題集 生物(3月～12月)

■ 2次対策演習(冬期 $\alpha\beta$)

■ 直前対策演習(1月)

授業及び宿題として利用します。既習分野に関しては問題演習にも利用してください。

使用法

予習:原則として予習の必要はありません。

授業:授業内の演習や宿題として設定します。授業の際には必ず持ってくるようにしてください。

復習:授業内で扱ったテーマについて、標準問題の演習を必ず行うようにしてください。どのテーマを宿題として設定するかは授業内で指定するので、担当講師の指示に従ってください。

【宿題】

宿題は以下の通りになります。

① 授業内容の復習

ノートを見返しながら授業内容の復習をして下さい。復習をする際は、理解しにくい部分に自分の言葉で補足説明を書き加えておきましょう。

② テキストの指定された問題を解く

授業内容に合わせて指定された問題を解いて下さい。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
諸伝達 5分	講義 70分		演習 30分	解説 15分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。 ・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	備考
3月	①	生命現象と物質(1)	細胞と分子①	-
	②	生命現象と物質(2)	細胞と分子②	-
	③	生命現象と物質(3)	代謝①	-
春期α	①	生命現象と物質(4)	代謝②	-
	②	生命現象と物質(5)	総合①	-
	③	生命の連続性(1)	遺伝情報の発現①	-
	④	生命の連続性(2)	生殖①	-
春期β	①	生命の連続性(3)	発生①	-
	②	生命の連続性(4)	総合①	-
	③	生命の連続性(5)	総合②	-
	④	生物の環境応答(1)	生物の体内環境①	-
4月	①	生物の環境応答(2)	生物の体内環境②	-
	②	生物の環境応答(3)	動物の反応と行動①	-
	③	生物の環境応答(4)	動物の反応と行動②	-
5月	①	生物の環境応答(5)	植物の環境応答①	月例テスト
	②	生物の環境応答(6)	総合①	-
	③	生物の環境応答(7)	総合②	-
6月	①	生態と環境(1)	生物の多様性と生態系①	月例テスト
	②	生態と環境(2)	生物の多様性と生態系②	-
	③	生態と環境(3)	生物群集と生態系①	-
7月	①	進化と系統(1)	生命の起源と進化①	月例テスト
	②	進化と系統(2)	生命の起源と進化②	-
	③	進化と系統(3)	総合①	-
夏期α	①	生命現象と物質(6)	細胞と分子③	-
	②	生命現象と物質(7)	代謝③	-
	③	生命現象と物質(8)	総合②	-
夏期β	①	生命の連続性(6)	遺伝情報の発現②	-
	②	生命の連続性(7)	生殖②	-
	③	生命の連続性(8)	発生②	-
	④	生命の連続性(9)	総合③	-
	⑤	生命の連続性(10)	総合④	-
	⑥	生命の連続性(11)	総合⑤	-
9月	①	生物の環境応答(8)	生物の体内環境③	-
	②	生物の環境応答(9)	生物の体内環境④	-
	③	生物の環境応答(10)	動物の反応と行動③	-
10月	①	生物の環境応答(11)	動物の反応と行動④	月例テスト
	②	生物の環境応答(12)	植物の環境応答②	-
	③	生物の環境応答(13)	総合③	-
11月	①	生態と環境(4)	生物の多様性と生態系③	-
	②	生態と環境(5)	生物の多様性と生態系④	-
	③	生態と環境(6)	生物群集と生態系②	-
12月	①	生態と環境(7)	総合	-
	②	進化と系統(4)	生命の起源と進化③	-
	③	進化と系統(5)	総合②	-
冬期α	①	二次対策演習(1)	-	-
	②	二次対策演習(2)	-	-
	③	二次対策演習(3)	-	-
	④	二次対策演習(4)	-	-
冬期β	①	二次対策演習(5)	-	-
	②	二次対策演習(6)	-	-
	③	二次対策演習(7)	-	-
	④	二次対策演習(8)	-	-
1月	①	共通テスト直前対策演習	-	-
	②	二次直前対策演習(1)	-	-
	③	二次直前対策演習(2)	-	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。

社会科カリキュラム

高校2年～3年

社会科指導方針

日本史

TW 授業の進め方

東大をはじめとする最難関大学で必要とされるのは、歴史的な思考力・考察力・表現力であり、各時代の特色や時代を跨いだ共通点や相違点、歴史的意義についての確かに説明・表現することができる力です。断片的な知識の暗記に頼るという一般的な学習法では、大学からの要求に応えることはできません。

●論理的な文章で表現できる力を鍛える

東大をはじめとする最難関国公立大学の個別試験では、学習の中で得られた自らの理解を、論理的に表現する力が求められます。高3TWの授業では、授業を通じて得られた理解と、出題者が提示する情報を分析・考察して、設問に対して的確な解答を書くための方法を指導します。毎回の授業ではテキストから論述課題が課され、担当講師が添削をして返却します。最終的に東大日本史で60点中45点以上の得点を目指します。

●受験本番まで余裕を持ったカリキュラム

高3では、高2日本史から続く近現代史（明治時代～現代）の通史を8月で終了させ、その後は時代を跨いで同一の歴史的事象を学ぶテーマ史を扱います（前近代史を再度学ぶ講座もあります）。入試本番まで半年の猶予がある時期に通史を完成させることで、十分な時間的余裕をもって入試実戦や過去問演習に取り組むことができるようになります。

【2年間の流れ】

高3の授業は α と β の2つの講座があり、 α では、高2日本史を受講した方にとっては、その続きとなる近現代史を1学期～夏期講習会で学習し、2学期に様々な頻出のテーマ史、3学期には入試演習を行います。最近の入試では近現代史の占める比率が高まっており、夏期講習会までで昭和戦後史までの学習が完了するカリキュラムですので、入試までじっくりとテーマ史および入試演習に取り組むことができます。古代（原始時代）から近世（江戸幕末）までの通史を2学期で完了させ、その後テーマ史と入試演習を扱います。高校2年生で受講した方にとっては2科目となるカリキュラムですが、2年生ではあまり触れない文化史も含めより掘り下げた内容を扱っていきますので、より深い理解と定着が図れる講座となっています。

世界史

TW 授業の進め方

●東大を最短ルートで目指す授業

東大志望者のみを対象としている強みを生かし、東大の傾向を踏まえた論述問題の正確な分析と解釈、その設問要求に応じた答案構成の仕方を教授します。なお、多くの塾が行っている通史的講義とは異なり、基本用語はインプットできているという前提で、東大世界史頻出の視点で知識・理解を再構成し、それを翌週の論述演習を通じて得点が取れる状態に引き上げるという構成になっています。9月以降の授業では東大を中心とする最難関大の論述課題を課し、担当講師が添削を行います。最終的に、東大世界史で60点中40点以上の得点を目指します。

●高2で培った視点を発展させ得点に結び付ける

高2世界史を受講して俯瞰的視点を身につけた人は、この授業で特に重視する「異文化交流」や「世界の一体化」、「世紀や地域をまたいだ変化の記述」といった説明は、非常に理解しやすいとともに、理解を得る力へと直結させる絶好の機会となります。ぜひ継続して受講しましょう。

【2年間の流れ】

- ・高3TW：高2で培った視点の確認と応用を単元別に行っていきます。並行して1学期から論述演習も行い正しいアプローチの仕方を意識してもらいます。12月で単元学習が終了し、冬期以降は東大において重要なテーマの講義と演習を行います。 $\alpha\beta$ セット受講です。全範囲を扱います。
- ・高3SK：通史の講義を行っていきます。1学期は古代～近世史、2学期は近代～現代史を扱い、冬期講習会で単元学習が終了します。冬期以降は頻出文化史・テーマ史・地域史の学習と総合演習を行います。 $\alpha\beta$ セット受講です。全範囲を扱います。

SK 授業の進め方

早慶上智をはじめとする難関私立大学の日本史は、高校で使用する教科書レベルの知識では解答できない問題が出題されることがあります。自らの志望に合わせて、必要な知識とそうでない知識を、受験生自身が取捨選択することは困難です。さらに、近年は大学入学共通テストに見られるような歴史的思考を試す入試問題も増加傾向にあります。

●歴史的知識・思考力を涵養する授業

早稲田アカデミーでは、高2から高3にかけて基本的な歴史的事象を学びます。それらが、なぜ、どのようにして起こったか、それが後世にどのように影響してくるのか、を丁寧に解説します。また、生徒と講師の対話と発問を通じて、知識事項の定着を図り、歴史的な思考力も鍛えます。

●学び得た知識を得点力に変える

最難関私立大学の入試問題に対応するためには、膨大な知識のインプット、そしてアウトプットが大切です。早稲田アカデミーの高2・高3SKの授業では、毎回の授業で確認テストを行い、知識の定着度合いをチェックします。また、指定教材やテキストに収録された演習問題を宿題として課し、自宅学習の状況も授業担当がチェックします。さらに、日曜日に開講される必勝コースでは、より実践的な入試演習を通じて得点力を高めていきます。

SK 授業の進め方

●受験に必要な知識の定着・思考力を養成する授業

東大以外の難関国公立大学、および難関私立大学志望者を対象としたクラスで、1年間で教科書に掲載されている全範囲の詳細を学習します。毎週4時間の講義ですので、他塾と比べて多くの時間がある利点を生かして各時代地域の歴史の流れ、必要な知識の解説、入試での問われ方、横のつながりなど受験世界史で高得点を取るために必要なことを全て解説します。論述についても、問われやすい事項に関しては担当講師から指摘と説明があります。「なぜその歴史事象が起こったのか」「その事象がどのように影響するのか」を意識しながら発問をすることで、歴史的な思考力も鍛えます。

●定着させた知識を入試問題に生かす

通常授業で習得した知識は書き込み教科書、オリジナルテキストの演習問題などを通じて定着させていきます。また前回内容の確認テストを行い、担当講師が定着状況をチェックします。さらに入試問題に対応するため、日曜に行われる早慶大必勝や難関大必勝の受講を推奨します。入試問題演習中心の授業を受講することで自身の弱点の把握や知識の使い方などをより実践的に効率的に学習できます。

地理

- 最難関大にフォーカスしたカリキュラム
高校2年生同様、最上位校合格に特化したカリキュラムなので、ムダやムラのない学習ができます。
- 高3からキャッチアップするために演習時間を長く確保
12月・冬期講習会・1月に合計24時間と豊富な演習時間を確保していますので、高3から地理の受講を始めた人も、キャッチアップ可能な仕組みになっています。
- 東大必勝と組み合わせることで効果が倍増
高2から地理を受講した状態に比べると時間的余裕がないため、日曜に開講される東大必勝コースとの併用を強くお勧めします。ここで東大地理の出題傾向や設問要求をふまえた論述演習・添削というサイクルを経ることで、通常授業で学んだ知識を東大合格レベルへと一気に引き上げることが可能となります。

【2年間の流れ】

自然環境から始めて人口・都市・産業など入試全範囲を2学期中に網羅し、東大をはじめとする最難関大合格に必要な知識を完成させます。地理においては演習量確保が重要となるため、例えば夏期講習会では17時間、冬期講習会では11時間強を使い、既習範囲のポイント整理と分野横断的な視野の獲得、それを踏まえた入試演習で実戦的な力を養成していきます。

【ノート】

担当講師から指示が出るのでそれに従ってください。

【テスト(高3)】

TWクラス選抜 東大必勝模試	TWクラスの受講には選抜試験で受講認定を得る必要があります。受講認定の対象になるのは、高2の12月に行われたTWクラス選抜、高3の6月に行われる東大必勝模試です(必修テストや東大外部模試の結果によって受講認定を付与する場合があります)。地理は選抜試験を行いません。											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
必修テスト	5月、9月、10月には記述型、6月と11月にはマーク型の年5回、全国模試を受験します。授業の進度に合わせて試験範囲が課されています。確認テストや月例テストと比較すると、より実践的な出題内容で範囲も広がっています。返却された帳票を元に学習単元の取りこぼしや弱点単元を克服するために授業担当者から課題が指定されることがあります。目標偏差値は以下の通りです。 最難関国立志望者:70 早慶:65 GMARCH大:60											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
月例テスト	5月より指定月の初回授業の冒頭で行います。前月学習した学習内容から出題されます。 合格点の目安は80点です。											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
確認テスト	前回の授業内容を踏まえた復習確認テストです。毎回の授業内容が家庭学習で復習できているか、定着しているかを授業冒頭でテストします。講師の板書ノート、補足プリント、メイン教材の指定範囲をしっかりと見直して挑みましょう。 合格点の目安は80点です。											
	実施月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

❖ 社会科カリキュラム

高3日本史TW α 選抜

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

対象

大学入試の選択科目で日本史を選択する生徒のうち、特に東大・一橋大などの最難関国公立大学を目指す生徒。

講座の目的

高2日本史を受講した生徒にとってはその続きとなる講座です。明治時代以降の近現代史とテーマ史を学習します。3月から夏期講習会までで通史を完成させ、9月以降はこれまでに学習してきた内容を踏まえたテーマ史を扱い、直前期の1月は入試演習に取り組みます。本講座では、東大をはじめとする国立最難関の論述に対応できる知識の定着と、歴史的な思考力や考察力を涵養します。また、時代の共通点や相違点、歴史的意義について正確に説明し表現することができる力を涵養するために、毎回の授業で必ず論述演習を行うことがTWクラスの特徴です。到達目標は、必修テスト(塾内模試)で80点(偏差値65)以上、夏～秋の東大レベルの冠模試で35点、本番で45点以上取れるようにすることです。

なお、本科の授業では歴史総合は扱いませんが、担当講師より適宜学習の指示を出します。

【教材】

■ 高3日本史TW α 前期(講義編)・後期(講義編) ※春期・夏期は前期テキスト、冬期は後期テキストを使用します。

本講座のメインテキストです。講義・解説部分を用いて歴史の流れや入試の出題ポイントを解説します。テキストは書き込みができるようになっていますので、講師が板書した内容はもちろん、口頭で説明したことも積極的にメモを取るようにしましょう。なお、テキストは左面に時系列にまとめた表解を、右面には論述に必要な詳細をポイントとして明示することで、歴史の外枠を理解しやすい構成となっています。さらに、近年の学会動向も踏まえた記載にしてあるため、最新の研究動向にも留意することが可能です。

■ 高3日本史TW/SK α 前期(問題演習編)・後期(問題演習編)

授業で習った内容について、入試問題を用いて知識を確認・定着させるために使用します。収録されている問題は、記号選択・記述・正誤・論述といったさまざまな形式・レベルで構成されているため、自分の学力や志望に合った問題に取り組むことができるだけでなく、演習量を十分に確保することができます。

問題は★×1～3の3段階の難度で構成されており、どの受講者も★×1は共通の宿題となりますので必ず解いてください。なお、早慶上智大志望者は★×2、国公立大志望者は★×3の問題まで取り組んでおくことで学習効果が上がりやすくなります。また、このテキストから一部月例テストも出題されますので、必ず学習に取り込むようにしましょう。

■ 教科書・用語集・図録

講義では使用しませんが、復習を行う際に必要となります。

基本的には学校で使用するもので構いませんが、持っていない場合は、以下を参考にして手元に用意してください。

教科書: 東大・国公立大志望者には『日本史探究 詳説日本史』(山川出版社)を推奨しますが、基本的には学校で使用しているもの構いません。毎回の授業の前に右記カリキュラムを確認して、該当部分を読んでくることで授業での理解が深まります。また、復習の際にも時代の流れの確認のために教科書をしっかりと読み込むようにしましょう。

用語集: 『日本史用語集』(山川出版)が良いです。使用するにあたり、「知識の幅を広げ、共通テストや私大入試の正誤問題等詳細な知識を必要とする設問への対応力を高める」、また、「歴史事象の展開性を涵養する」などの明確な使用目的を持つことが大切です。用語集を丸暗記するような使い方はやめましょう。

図録: 『詳説日本史図録』(山川出版)は、上記教科書、用語集に対応しています。

【宿題】

① 問題演習編の問題演習★1～3

具体的な問題番号は毎回の授業で講師が指示します。宿題専用のノートを1冊用意してそれに解答し、次回の授業時に担当講師に提出してください。テキスト巻末の解答を参照して、論述問題以外は丸付けまで行ってください。間違えた問題は原因分析を行い、テキストや用語集を使ってインプットしなおしましょう。正誤判定などで正答の根拠が分からない場合は、次回の授業までに講師がアシスタスタッフに質問して疑問点を解消するようにしましょう。

② 予習は必要としませんが、事前に学校の教科書を読んでくることで授業の理解を深めることができます。授業内容は次頁のカリキュラムを参照してください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
出欠確認 諸伝達 5分	確認テスト 10分	講義 70分	論述演習 30分	宿題等 伝達 5分

講義が中心となりますが、理解度の確認や思考力を養うため、要所で講師からの発問が組み込まれます。これは、暗記に頼らず歴史的な思考力を養うことを重視するためです。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	確認テスト
3月	①	明治時代①	明治維新政府成立・地租改正・中央集権化	-
	②	明治時代②	殖産興業政策・貨幣金融制度	明治時代①
	③	明治時代③	自由民権運動の展開過程・土族解体	明治時代②
春期	①	明治時代④	立憲国家の成立過程・大日本帝国憲法	-
	②	明治時代⑤	議會政治の展開と初期外交	明治時代④
	③	明治時代⑥	日清戦争の勃発・政党政治の展開	明治時代⑤
	④	明治時代⑦	日露戦争の勃発・中国分割概要	明治時代⑥
4月	①	明治時代⑧	明治後期の政治・大正政変への過程	-
	②	明治時代⑨	明治文化①: 絵画・啓蒙思想・建築	明治時代⑧
	③	明治時代⑩	明治文化②: 教育・学問・ジャーナリズム	明治時代⑨
5月	①	明治時代⑪	資本主義経済成立史・産業革命概要	月例テスト
	②	大正時代①	第一次世界大戦と大戦景気の動向	明治時代⑪
	③	大正時代②	政党内閣成立・第二次護憲運動	大正時代①
6月	①	大正時代③	大正デモクラシー・大正文化	月例テスト
	②	昭和時代(戦前)①	恐慌の時代・軍部台頭	大正時代③
	③	昭和時代(戦前)②	ファシズムの展開	昭和戦前①
7月	①	昭和時代(戦前)③	日中戦争の勃発	月例テスト
	②	昭和時代(戦前)④	第二次世界大戦	昭和戦前③
	③	昭和時代(戦前)⑤	太平洋戦争の勃発と終戦	昭和戦前④
夏期	①	昭和時代(戦後)①	戦後占領と五大改革・戦後初期の政治	-
	②	昭和時代(戦後)②	冷戦体制の形成・占領政策の転換	昭和戦後①
	③	昭和時代(戦後)③	国際社会への復帰・55年体制	昭和戦後②
	④	昭和時代(戦後)④	高度経済成長概要	昭和戦後③
	⑤	昭和時代(戦後)⑤	保守政権の動揺	昭和戦後④
	⑥	昭和時代(戦後)⑥	行財政改革と55年体制の崩壊・現代の日本	昭和戦後⑤
9月	①	テーマ史①(近現代経済史①)	明治～大正期の経済史	-
	②	テーマ史②(近現代経済史②)	昭和戦前の経済史	テーマ史①
	③	テーマ史③(近現代経済史③)	昭和戦後の経済史	テーマ史②
10月	①	テーマ史④(社会運動史)	明治～現代までの社会運動史	月例テスト
	②	テーマ史⑤(貨幣史)	古代～現代までの貨幣史	テーマ史④
	③	テーマ史⑥(職制史)	古代～現代までの職制史	テーマ史⑤
11月	①	テーマ史⑦(琉球・沖縄史)	古代～現代までの琉球・沖縄史	月例テスト
	②	テーマ史⑧(蝦夷・北海道史)	古代～現代までの蝦夷・北海道史	テーマ史⑦
	③	テーマ史総合演習	既習テーマ史の総合演習	テーマ史⑧
12月	①	テーマ史⑩(土地制度史①)	古代～現代までの土地制度史	月例テスト
	②	テーマ史⑪(土地制度史②)	古代～現代までの土地制度史	テーマ史⑩
	③	テーマ史⑫(日露関係史)	近世～現代までの日露関係史	テーマ史⑪
冬期	①	テーマ史⑬(日中関係史①)	古代～中世までの日中関係史	-
	②	テーマ史⑭(日中関係史②)	近世～現代までの日中関係史	テーマ史⑬
	③	テーマ史⑮(日朝関係史)	古代～現代までの日朝関係史	テーマ史⑭
	④	テーマ史⑯(日米関係史)	近世～現代までの日米関係史	テーマ史⑮
1月	①	入試総合演習①	正誤問題・記述問題・問題形式の把握	-
	②	入試総合演習②	論述対策テストゼミ	-
	③	入試総合演習③	論述対策テストゼミ	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3日本史TWβ 選抜



大学入試の選択科目で日本史を選択する生徒のうち、特に東大・一橋大などの最難関国立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

高2日本史で学習した前近代(旧石器～江戸時代)の範囲について、これまでに扱った通史的知識に加え、より難度の高い東大や一橋大などの国公立大の論述問題に対応できる知識の涵養と、文章構成力の構築を主眼とします。本講座では、時代の共通点や相違点、歴史的意義について正確に説明し表現することができる力を涵養するために、毎回の授業で必ず論述演習を行います。東大入試の3/4、入試全体を見ても6割を占める時代を扱う大変重要な講座です。一つの時代ごとに丁寧な通史の解説→文化史の順で講義を進めますので、高2で日本史を受講していなかった生徒でも受講可能です。到達目標は、必修テスト(塾内模試)で80点(偏差値65)以上、夏～秋の東大レベルの冠模試で35点、本番で45点以上取れるようになることです。

なお、本科の授業では歴史総合は扱いませんが、担当講師より適宜学習の指示を出します。

【教材】

■ 高3日本史TWβ前期(講義編)・後期(講義編) ※春期・夏期は前期テキスト、冬期は後期テキストを使用します。

本講座のメインテキストです。講義・解説部分を用いて歴史の流れや入試の出題ポイントを解説します。テキストは書き込みができるようになっていきますので、講師が板書した内容はもちろん、口頭で説明したことも積極的にメモを取るようにしましょう。なお、テキストは左面に時系列にまとめた表解を、右面には論述に必要な詳細をポイントとして明示することで、歴史の外枠を理解しやすい構成となっています。さらに、近年の学会動向も踏まえた記載にしてあるため、最新の研究動向にも留意することが可能です。

■ 高3日本史TW/SKβ前期(問題演習編)・後期(問題演習編)

授業で習った内容について、入試問題を用いて知識を確認・定着させるために使用します。収録されている問題は、記号選択・記述・正誤・論述といったさまざまな形式・レベルで構成されているため、自分の学力や志望に合った問題に取り組むことができるだけでなく、演習量を十分に確保することができます。

問題は★×1～3の3段階の難度で構成されており、どの受講者も★×1は共通の宿題となりますので必ず解いてください。なお、早慶上智大志望者は★×2、国公立大志望者は★×3の問題まで取り組んでおくと学習効果が上がりやすくなります。また、このテキストから一部月例テストも出題されますので、必ず学習に取り込むようにしましょう。

■ 教科書・用語集・図録

講義では使用しませんが、復習を行う際に必要となります。

基本的には学校で使用するもので構いませんが、持っていない場合は、以下を参考にして手元に用意してください。

教科書: 東大・国公立大志望者には『日本史探究 詳説日本史』(山川出版社)を推奨しますが、基本的には学校で使用しているもので構いません。毎回の授業の前に右記カリキュラムを確認して、該当部分を読んでくことで授業での理解が深まります。また、復習の際にも時代の流れの確認のために教科書をしっかりと読み込むようにしましょう。

用語集: 『日本史用語集』(山川出版)が良いです。使用するにあたり、「知識の幅を広げ、共通テストや私大入試の正誤問題等詳細な知識を必要とする設問への対応力を高める」、また、「歴史事象の展開性を涵養する」などの明確な使用目的を持つことが大切です。用語集を丸暗記するような使い方はやめましょう。

図録: 『詳説日本史図録』(山川出版)は、上記教科書、用語集に対応しています。

【宿題】

① 問題演習編の問題演習★1～3

具体的な問題番号は毎回の授業で講師が指示します。宿題専用のノートを1冊用意してそれに解答し、次回の授業時に担当講師に提出してください。テキスト巻末の解答を参照して、論述問題以外は丸付けまで行ってください。間違えた問題は原因分析を行い、テキストや用語集を使ってインプットしなおしましょう。正誤判定などで正答の根拠が分からない場合は、次回の授業までに講師がアシスタスタフに質問して疑問点を解消するようにしましょう。

② 予習は必要としませんが、事前に学校の教科書を読んでくことで授業の理解を深めることができます。授業内容は次頁のカリキュラムを参照してください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
出欠確認 諸伝達 5分	確認テスト 10分	講義 70分	論述演習 30分	宿題等 伝達 5分

講義が中心となりますが、理解度の確認や思考力を養うため、要所で講師からの発問が組み込まれます。これは、暗記に頼らず歴史的な思考力を養うことを重視するためです。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	確認テスト
3月	①	旧石器時代・縄文時代	原始時代概要・旧石器文化・縄文文化概要	-
	②	弥生時代①	弥生時代:鉄器・青銅器伝来・本格農耕	旧石器・縄文時代
	③	弥生時代②	小国の分立・首長の台頭・大陸交渉概要	弥生時代①
春期	①	古墳時代	古墳文化概要・大和政権の政治構造	-
	②	飛鳥時代①	推古朝の中央集権化・大陸外交	古墳時代
	③	飛鳥時代②	律令国家の形成・中央官制・班田收授	飛鳥時代①
	④	奈良時代①	遣唐使・平城京と地方社会	飛鳥時代②
4月	①	奈良時代②	政界の動揺:政権担当者と主な事項	-
	②	奈良時代③	飛鳥・白鳳・天平文化	奈良時代①・②
	③	平安時代①	平安初期政治:桓武朝～淳和朝	奈良時代③
5月	①	平安時代②	平安中期政治:摂関政治	月例テスト
	②	平安時代③	荘園制の概要	平安時代①・②
	③	平安時代④	武士の成長・清和源氏の進出	平安時代③
6月	①	平安時代⑤	院政期の社会・平氏政権	月例テスト
	②	平安時代⑥	弘仁貞観文化～院政期文化	平安時代④・⑤
	③	鎌倉時代①	鎌倉幕府の成立	平安時代⑥
7月	①	鎌倉時代②	執権政治の展開	月例テスト
	②	鎌倉時代③	元寇・幕府の滅亡	鎌倉時代①・②
	③	鎌倉時代④	鎌倉文化	鎌倉時代③
夏期	①	室町時代①	建武の新政・南北朝の動乱・室町幕府の成立	-
	②	室町時代②	惣村と一揆・幕府の動揺	室町時代①
	③	室町時代③	室町外交	室町時代②
	④	安土桃山時代①	戦国大名の台頭・織田信長の政治	室町時代③
	⑤	安土桃山時代②	豊臣秀吉の政治	安土桃山時代①
	⑥	安土桃山時代③	室町文化～桃山文化	安土桃山時代②
9月	①	江戸時代①	江戸幕府の成立・幕藩体制	-
	②	江戸時代②	江戸初期外交	安土桃山時代③・江戸時代①
	③	江戸時代③	文治政治の展開	江戸時代②
10月	①	江戸時代④	江戸時代の産業・交通・金融	月例テスト
	②	江戸時代⑤	幕政改革:享保の改革・田沼時代	江戸時代③・④
	③	江戸時代⑥	幕政改革:寛政の改革・天保の改革	江戸時代⑤
11月	①	江戸時代⑦	列強の接近	月例テスト
	②	江戸時代⑧	開国の影響	江戸時代⑥・⑦
	③	江戸時代⑨	江戸幕府の滅亡	江戸時代⑧
12月	①	江戸時代⑩	寛永・元禄文化	月例テスト
	②	江戸時代⑪	化政文化①	江戸時代⑨・⑩
	③	江戸時代⑫	化政文化②	江戸時代⑪
冬期	①	テーマ史①	古代～近現代までの交通制度の変遷	-
	②	テーマ史②	古代～近現代までの都城・都市の変遷	テーマ史①
	③	テーマ史③	古代～近現代までの教育制度の変遷	テーマ史②
	④	テーマ史④	古代～近現代までの女性地位の変遷	テーマ史③
1月	①	入試総合演習①	正誤問題・記述問題・問題形式の把握	-
	②	入試総合演習②	論述対策テストゼミ	-
	③	入試総合演習③	論述対策テストゼミ	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3日本史SKα



大学入試の選択科目で日本史を選択する生徒。
国公立大・早慶上智大・GMARCH大をはじめ、難関国公立大および難関私立大を志望する生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

明治時代から平成までの近現代史とテーマ史を学習する講座です。3月から夏期講習会までで通史を完成させ、9月以降はこれまでに学習してきた内容を踏まえたテーマ史を扱っていきます。高2で「高2日本史」を受講していた生徒にとっては、その続きの時代を本講座で学習することになります。授業は講師の板書と補足プリントを使用し、歴史の流れを掴み、歴史的事象を正確に理解することに注意して授業が展開されます。また、単に用語の暗記にとどまらず、時代の展開や相違点、一般化して歴史的事象を捉える思考力も訓練し、国公立2次や難関私大にも通用する論述の基礎を養っていきます。

なお、本科の授業では歴史総合は扱いませんが、担当講師より適宜学習の指示を出します。

【教材】

■ 高3日本史SKα前期(講義編)・後期(講義編) ※春期・夏期は前期テキスト、冬期は後期テキストを使用します。

本講座のメインテキストです。講義・解説部分を用いて歴史の流れや入試の出題ポイントを解説します。テキストは書き込みができるようになっていますので、講師が板書した内容はもちろん、口頭で説明したことも積極的にメモを取るようにしましょう。なお、本テキストは一般販売されているものや他の予備校で使用されている教材とは各講の構成や体裁が異なります。授業担当の講義内容や板書をしっかりと記憶することは言うまでもありませんが、テキスト本体においても覚えやすく復習しやすい体裁にしていますので、自分だけのテキスト作りを心掛けてください。

■ 高3日本史TW/SKα前期(問題演習編)・後期(問題演習編)

授業で習った内容について、入試問題を用いて知識を確認・定着させるために使用します。収録されている問題は、記号選択・記述・正誤・論述といったさまざまな形式・レベルで構成されているため、自分の学力や志望に合った問題に取り組むことができるだけでなく、演習量を十分に確保することができます。

問題は★×1～3の3段階の難度で構成されており、どの受講者も★×1は共通の宿題となりますので必ず解いてください。なお、早慶上智大志望者は★×2、国公立大志望者は★×3の問題まで取り組んでおくことで学習効果が上がりやすくなります。また、このテキストから一部月例テストも出題されますので、必ず学習に取り込むようにしましょう。

■ 教科書・用語集・図録

直接、講義では使用しませんが、必要に応じて用意していただくことで学習効果が期待できます。

教科書：通史の内容理解、知識定着のためのものとして使用します。学校で使用しているもので構いません。校舎での授業を受け、ノートやプリントの整理をしたのちに教科書を通読することで、より知識定着が深化します。

用語集：一般的には山川出版社の用語集が良いでしょう。しかし、用語集の丸暗記をするような使い方は避けてください。あくまでも知識の幅を広げ、正誤問題など詳細な知識を必要とする設問への対応、また、歴史事象の展開性を涵養する、など明確な使用目的を持つことが大切です。

図録：教科書同様、学校で使用しているもので構いません。

【宿題】

①問題演習編の問題演習★1

具体的な問題番号は毎回の授業で講師が指示します。宿題専用のノートを1冊用意してそれに解答し、次回の授業時に担当講師に提出してください。テキスト巻末の解答を参照して丸付けまで行ってください。間違えた問題は原因分析を行い(知識の未定着、漢字の誤りなど)、テキストや用語集を使ってインプットしなおしましょう。正誤判定などで正答の根拠が分からない場合は、次回の授業までに講師かアシスタスタフに質問して疑問点を解消するようにしましょう。

②予習は必要としませんが、事前に学校の教科書を読んでおくことで授業の理解を深めることができます。授業内容は次頁のカリキュラムを参照してください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
出欠確認 諸伝達 5分	確認テスト 10分	講義 100分		宿題等 伝達 5分

講義が中心となりますが、理解度の確認や思考力を養うため、要所で講師からの発問が組み込まれます。これは、暗記に頼らず歴史的な思考力を養うことを重視するためです。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	確認テスト
3月	①	明治時代①	明治維新政府成立・地租改正・中央集権化	-
	②	明治時代②	殖産興業政策・貨幣金融制度	明治時代①
	③	明治時代③	自由民権運動の展開過程・土族解体	明治時代②
春期	①	明治時代④	立憲国家の成立過程・大日本帝国憲法	-
	②	明治時代⑤	議會政治の展開と初期外交	明治時代④
	③	明治時代⑥	日清戦争の勃発・政党政治の展開	明治時代⑤
	④	明治時代⑦	日露戦争の勃発・中国分割概要	明治時代⑥
4月	①	明治時代⑧	明治後期の政治・大正政変への過程	-
	②	明治時代⑨	明治文化①: 絵画・啓蒙思想・建築	明治時代⑧
	③	明治時代⑩	明治文化②: 教育・学問・ジャーナリズム	明治時代⑨
5月	①	明治時代⑪	資本主義経済成立史・産業革命概要	月例テスト
	②	大正時代①	第一次世界大戦と大戦景気の動向	明治時代⑪
	③	大正時代②	政党内閣成立・第二次護憲運動	大正時代①
6月	①	大正時代③	大正デモクラシー・大正文化	月例テスト
	②	昭和時代(戦前)①	恐慌の時代・軍部台頭	大正時代③
	③	昭和時代(戦前)②	ファシズムの展開	昭和戦前①
7月	①	昭和時代(戦前)③	日中戦争の勃発	月例テスト
	②	昭和時代(戦前)④	第二次世界大戦	昭和戦前③
	③	昭和時代(戦前)⑤	太平洋戦争の勃発と終戦	昭和戦前④
夏期	①	昭和時代(戦後)①	戦後占領と五大改革・戦後初期の政治	-
	②	昭和時代(戦後)②	冷戦体制の形成・占領政策の転換	昭和戦後①
	③	昭和時代(戦後)③	国際社会への復帰・55年体制	昭和戦後②
	④	昭和時代(戦後)④	高度経済成長概要	昭和戦後③
	⑤	昭和時代(戦後)⑤	保守政権の動揺	昭和戦後④
	⑥	昭和時代(戦後)⑥	行財政改革と55年体制の崩壊・現代の日本	昭和戦後⑤
9月	①	テーマ史①(近現代経済史①)	明治～大正期の経済史	-
	②	テーマ史②(近現代経済史②)	昭和戦前の経済史	テーマ史①
	③	テーマ史③(近現代経済史③)	昭和戦後の経済史	テーマ史②
10月	①	テーマ史④(社会運動史)	明治～現代までの社会運動史	月例テスト
	②	テーマ史⑤(貨幣史)	古代～近現代までの貨幣史	テーマ史④
	③	テーマ史⑥(職制史)	古代～近現代までの職制史	テーマ史⑤
11月	①	テーマ史⑦(琉球・沖縄史)	古代～近現代までの琉球・沖縄史	月例テスト
	②	テーマ史⑧(蝦夷・北海道史)	古代～近現代までの蝦夷・北海道史	テーマ史⑦
	③	テーマ史総合演習	既習テーマ史の総合演習	テーマ史⑧
12月	①	テーマ史⑩(土地制度史①)	古代～近現代までの土地制度史	月例テスト
	②	テーマ史⑪(土地制度史②)	古代～近現代までの土地制度史	テーマ史⑩
	③	テーマ史⑫(日露関係史)	近世～現代までの日露関係史	テーマ史⑪
冬期	①	テーマ史⑬(日中関係史①)	古代～中世までの日中関係史	-
	②	テーマ史⑭(日中関係史②)	近世～現代までの日中関係史	テーマ史⑬
	③	テーマ史⑮(日朝関係史)	古代～現代までの日朝関係史	テーマ史⑭
	④	テーマ史⑯(日米関係史)	近世～現代までの日米関係史	テーマ史⑮
1月	①	入試総合演習①	正誤問題・記述問題・問題形式の把握	-
	②	入試総合演習②	正誤問題・記述問題・問題形式の把握	-
	③	入試総合演習③	正誤問題・記述問題・問題形式の把握	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3日本史SKβ

対象

大学入試の選択科目で日本史を選択する生徒。
特に、高校3年生から本格的に日本史の学習をスタートする生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

旧石器時代から江戸時代の終焉までの通史と文化史を中心に学習する講座です。1つの時代ごとに、通史⇒文化史の順序で講義していきます。高2で扱った通史的知識に加え、より難度の高い国公立大の論述問題や、早稲田大・慶應義塾大で出題される正誤問題に対応しうる講義を展開します。β範囲は各大学の入試問題の比重として、全体の6割弱を占める大変重要な講座です。

なお、本科の授業では歴史総合は扱いませんが、担当講師より適宜学習の指示を出します。

【教材】

■ 高3日本史SKβ前期(講義編)・後期(講義編) ※春期・夏期は前期テキスト、冬期は後期テキストを使用します。

本講座のメインテキストです。講義・解説部分を用いて歴史の流れや入試の出題ポイントを解説します。テキストは書き込みができるようになっていますので、講師が板書した内容はもちろん、口頭で説明したことも積極的にメモを取るようにしましょう。なお、本テキストは一般販売されているものや他の予備校で使用されている教材とは各講の構成や体裁が異なります。授業担当の講義内容や板書をしっかりと記憶することは言うまでもありませんが、テキスト本体においても覚えやすく復習しやすい体裁にしていますので、自分だけのテキスト作りを心掛けてください。

■ 高3日本史TW/SKβ前期(問題演習編)・後期(問題演習編)

授業で習った内容について、入試問題を用いて知識を確認・定着させるために使用します。収録されている問題は、記号選択・記述・正誤・論述といったさまざまな形式・レベルで構成されているため、自分の学力や志望に合った問題に取り組むことができるだけでなく、演習量を十分に確保することができます。

問題は★×1～3の3段階の難度で構成されており、どの受講者も★×1は共通の宿題となりますので必ず解いてください。なお、早慶上智大志望者は★×2、国公立大志望者は★×3の問題まで取り組んでおくことで学習効果が上がりやすくなります。また、このテキストから一部月例テストも出題されますので、必ず学習に取り込むようにしましょう。

■ 教科書・用語集・図録

直接、講義では使用しませんが、必要に応じて用意していただくことで学習効果が期待できます。図録のみ、文化史の講義内で使用します。

教科書: 通史の内容理解、知識定着のためのものとして使用します。学校で使用しているもので構いません。校舎での授業を受け、ノートやプリントの整理をしたのちに教科書を通読することで、より知識定着が深化します。

用語集: 一般的には山川出版社の用語集が良いでしょう。しかし、用語集の丸暗記をするような使い方は避けてください。あくまでも知識の幅を広げ、正誤問題など詳細な知識を必要とする設問への対応、また、歴史事象の展開性を涵養する、など明確な使用目的を持つことが大切です。

図録: 教科書同様、学校で使用しているもので構いませんので、ご持参ください。

【宿題】

①問題演習編の問題演習★1

具体的な問題番号は毎回の授業で講師が指示します。宿題専用のノートを1冊用意してそれに解答し、次回の授業時に担当講師に提出してください。テキスト巻末の解答を参照して丸付けまで行ってください。間違えた問題は原因分析を行い(知識の未定着、漢字の誤りなど)、テキストや用語集を使ってインプットしなおしましょう。正誤判定などで正答の根拠が分からない場合は、次回の授業までに講師かアシスタスタフに質問して疑問点を解消するようにしましょう。

②予習は必要としませんが、事前に学校の教科書を読んでおくことで授業の理解を深めることができます。授業内容は次頁のカリキュラムを参照してください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
出欠確認 諸伝達 5分	確認テスト 10分	講義 100分		宿題等 伝達 5分

講義が中心となりますが、理解度の確認や思考力を養うため、要所で講師からの発問が組み込まれます。これは、暗記に頼らず歴史的な思考力を養うことを重視するためです。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	確認テスト
3月	①	旧石器時代・縄文時代	原始時代概要・旧石器文化・縄文文化概要	-
	②	弥生時代①	弥生時代:鉄器・青銅器伝来・本格農耕	旧石器・縄文時代
	③	弥生時代②	小国の分立・首長の台頭・大陸交渉概要	弥生時代①
春期	①	古墳時代	古墳文化概要・大和政権の政治構造	-
	②	飛鳥時代①	推古朝の中央集権化・大陸外交	古墳時代
	③	飛鳥時代②	律令国家の形成・中央官制・班田收授	飛鳥時代①
	④	奈良時代①	遣唐使・平城京と地方社会	飛鳥時代②
4月	①	奈良時代②	政界の動揺:政権担当者と主な事項	-
	②	奈良時代③	飛鳥・白鳳・天平文化	奈良時代①・②
	③	平安時代①	平安初期政治:桓武朝～淳和朝	奈良時代③
5月	①	平安時代②	平安中期政治:摂関政治	月例テスト
	②	平安時代③	荘園制の概要	平安時代①・②
	③	平安時代④	武士の成長・清和源氏の進出	平安時代③
6月	①	平安時代⑤	院政期の社会・平氏政権	月例テスト
	②	平安時代⑥	弘仁貞観文化～院政期文化	平安時代④・⑤
	③	鎌倉時代①	鎌倉幕府の成立	平安時代⑥
7月	①	鎌倉時代②	執権政治の展開	月例テスト
	②	鎌倉時代③	元寇・幕府の滅亡	鎌倉時代①・②
	③	鎌倉時代④	鎌倉文化	鎌倉時代③
夏期	①	室町時代①	建武の新政・南北朝の動乱・室町幕府の成立	-
	②	室町時代②	惣村と一揆・幕府の動揺	室町時代①
	③	室町時代③	室町外交	室町時代②
	④	安土桃山時代①	戦国大名の台頭・織田信長の政治	室町時代③
	⑤	安土桃山時代②	豊臣秀吉の政治	安土桃山時代①
	⑥	安土桃山時代③	室町文化～桃山文化	安土桃山時代②
9月	①	江戸時代①	江戸幕府の成立・幕藩体制	-
	②	江戸時代②	江戸初期外交	安土桃山③・江戸時代①
	③	江戸時代③	文治政治の展開	江戸時代②
10月	①	江戸時代④	江戸時代の産業・交通・金融	月例テスト
	②	江戸時代⑤	幕政改革:享保の改革・田沼時代	江戸時代③・④
	③	江戸時代⑥	幕政改革:寛政の改革・天保の改革	江戸時代⑤
11月	①	江戸時代⑦	列強の接近	月例テスト
	②	江戸時代⑧	開国の影響	江戸時代⑥・⑦
	③	江戸時代⑨	江戸幕府の滅亡	江戸時代⑧
12月	①	江戸時代⑩	寛永・元禄文化	月例テスト
	②	江戸時代⑪	化政文化①	江戸時代⑨・⑩
	③	江戸時代⑫	化政文化②	江戸時代⑪
冬期	①	テーマ史①	古代～近現代までの交通制度の変遷	-
	②	テーマ史②	古代～近現代までの都城・都市の変遷	テーマ史①
	③	テーマ史③	古代～近現代までの教育制度の変遷	テーマ史②
	④	テーマ史④	古代～近現代までの女性地位の変遷	テーマ史③
1月	①	入試総合演習①	正誤問題・記述問題・問題形式の把握	-
	②	入試総合演習②	正誤問題・記述問題・問題形式の把握	-
	③	入試総合演習③	正誤問題・記述問題・問題形式の把握	-

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3世界史TW 選抜

対象

大学入試の選択科目で世界史を選択する生徒のうち、特に東大を目指す生徒。

通常授業(1回)

240分
(2講座分)

講習会(1回)

180分

講座の目的

1日2コマの講義を連続して行います。便宜上、16:45～18:45のコマを「β」、19:15～21:15のコマを「α」と呼称します。「β」に関しては、既習範囲の論述問題演習と講義を組み合わせて実施、「α」に関しては講義を中心に行います。講義は「β」「α」と連続して行いますので、必ずセットで受講してください。高3の1年間で、教科書に記載されているすべての範囲を履修します。あわせて、履修したテーマごとに東大型論述問題を使用した問題演習を行い、内容の定着を図るとともに、答案作成の能力の向上を図ります。2コマをセット受講することで、東大世界史で高得点をとるためのノウハウをすべて習得することを目的としています。

歴史事象の定義を解説し、通史の補完を行うのではなく、歴史展開の大きな流れや政治・経済・社会的な因果関係に基づいて、どのように歴史が構築されていくかを詳述します。そのことによって、大論述問題に対処する応用力を養っていきます。さらに、論述問題の解法として、「感覚」に基づく対処、「指定語句からの類推」、暗記した「類題の解答の切り貼り」といった明らかに間違ったアプローチをさせないよう、「問題文の正確な分析と解釈、設問要求に応じた構成の立て方」を学ぶための演習も実施します。

【教材】

■ 高3世界史TW(前期・後期) ※春期・夏期は前期テキスト、冬期は後期テキストを使用します。

世界史TWの授業はこのテキストに沿って進められます。このテキストは左側の偶数ページがテキスト部分・右側の奇数ページが地図や表などを掲載した資料集的なページになっています。授業は通史の補完ではないので、基本的な流れや用語はテキストや教科書を用いて授業前に各自でインプットしておいてください。授業冒頭には確認テストを行い知識の底上げをしていきます。授業中は東大頻出という観点からどのように歴史が構築されていくかを中心に解説されますので、復習時の再現に必要なことをどんどんメモして行ってください。論述演習の問題はプリントで配布されます。

■ 教科書・用語集・図説 ※教材選定に迷う場合は授業担当に相談しましょう。

直接、講義では使用しませんが、二次試験対策としては必須の教材です。

教科書: 通史の内容を理解、定着させるためのものとして山川出版社『世界史探究 詳説世界史』・『新世界史』、帝国書院『新詳世界史探究』などがお勧めです。歴史の大きな流れを把握するには、編年体で記載されているものを使う方が効率的です。ある程度学習成果が定着したのなら、東京書籍『世界史探究』などのテーマ別に編集されたものを使用するとよいでしょう。

用語集: 現在使用しているものを使ってください。これから購入が必要な場合は山川出版社のものが単純な用語の確認であればお勧めです。

図説: 帝国書院『最新世界史図説タバストーリー』または第一学習社『グローバルワイド最新世界史図表』がお勧めですが、現在使用しているものでも構いません。

■ 大学入学共通テストへの道 世界史(山川出版社)

宿題として課される大学入学共通テストへの道は、正誤判定問題を中心に構成された問題集です。内容の定着度をはかるのはもちろん、正解とならない選択肢についても分析をすることで理解を深めることができます。基本事項のみで構成されているので、東大受験に必要な知識をムダなくチェックすることができます。

【宿題】

毎回扱った範囲の以下の内容を行ってください。

- ① 講義内容のインプット(暗記&理解)を行ってください。その際教科書も精読してください。論述答案作成の一助となります。
- ② 大学入学共通テストへの道解いてください。丸付けまで行い、「なぜ間違えたか」の原因分析も記述してください。
- ③ (9月～) 東大などの指定された過去問題を解いてきてください。担当講師が添削します。
(②は毎回講師にノート提出、③は配布されたプリントに解いて提出してください。)

【授業進行例(通常授業)】

	0	30	60	90	120
β	出欠確認 確認 5分	論述問題演習 60分	講義 [知識の整理と論述解答の視座について]	50分	本時の まとめ 5分
α	確認 テスト等 5分	講義 [単元の内容について]	110分		宿題等 の 5分

・単元の内容やカリキュラム消化の都合などによって多少の変更がありますので、ご了承ください。・月例テストの回は冒頭で10分のテストを行います。・講習会の際には講義時間に変動があります。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	確認テスト
3月	①	β/α オリエンテーション/古代オリエント史	授業の進め方、復習の仕方など/文明の成立～アッシリア	—
	②	β/α 論述演習/古代ギリシア史	前回内容の知識整理と論述解答の視座(以降「論述演習」はすべて同内容)/古代ギリシア・ヘレニズム時代	—
	③	β/α 論述演習/古代ローマ史	論述演習/古代ローマの政治制度と文化	—
春期	①②	β 論述演習/古代ペルシア史	論述演習/古代ペルシアの諸王朝と東西交流関係など	—
	③④	β 論述演習/古代インド史	論述演習/古代インドの諸王朝と東西交流関係など	—
	①②	α 論述演習/古代東南アジア史	論述演習/古代東南アジアの諸王朝と東西交流関係など	—
	③④	α 論述演習/前近代中国史①	論述演習/春秋戦国～秦・漢	—
4月	①	β/α 論述演習/前近代中国史②	論述演習/魏晉南北朝時代～隋唐	—
	②	β/α 論述演習/前近代中国史③	論述演習/唐・宋	—
	③	β/α 論述演習/前近代中国史④	論述演習/金・元	—
5月	①	β/α 論述演習/前近代中国史⑤	論述演習/明・清	月例テスト
	②	β/α 論述演習/イスラーム史①	論述演習/イスラーム世界の成立から分裂期まで	—
	③	β/α 論述演習/イスラーム史②	論述演習/イスラーム2帝国の時代	—
6月	①	β/α 論述演習/中世ヨーロッパ史①	論述演習/中世ヨーロッパ世界の社会構造とその変化	月例テスト
	②	β/α 論述演習/中世ヨーロッパ史②	論述演習/中世ヨーロッパ各国史	—
	③	β/α 論述演習/近世ヨーロッパ史	論述演習/ルネサンス～大航海時代	—
7月	①	β/α 論述演習/絶対主義時代①	論述演習/絶対主義時代の概論	月例テスト
	②	β/α 論述演習/絶対主義時代②	論述演習/絶対主義時代各国史①	—
	③	β/α 論述演習/絶対主義時代③	論述演習/絶対主義時代各国史②	—
夏期	①②	β 論述演習/近代ヨーロッパの成立	17・18世紀のヨーロッパ文化～市民革命	—
	③④	β 論述演習/19世紀概論	産業革命の影響・市民革命と社会変化・帝国主義など	—
	⑤⑥	β 論述演習/帝国主義概論	独占資本主義など	—
	①②	α 論述演習/植民地化される各地域	バクスブリタニカの成立など	—
	③④	α 論述演習/第一次世界大戦①	列強の二極化	—
	⑤⑥	α 論述演習/第一次世界大戦②	第一次世界大戦の展開とその影響	—
9月	①	β/α 最難関大論述演習/戦間期の世界①	論述演習/ヴェルサイユ・ワシントン体制	—
	②	β/α 最難関大論述演習/ロシア革命	論述演習/ロシア革命とその影響	—
	③	β/α 最難関大論述演習/戦間期の世界②	論述演習/アジア各国の民族運動	—
10月	①	β/α 最難関大論述演習/戦間期の世界③	論述演習/戦間期の欧米諸国	月例テスト
	②	β/α 最難関大論述演習/ファシズムの台頭と第二次世界大戦①	論述演習/第二次世界大戦への道	—
	③	β/α 最難関大論述演習/ファシズムの台頭と第二次世界大戦②	論述演習/第二次世界大戦の展開	—
11月	①	β/α 最難関大論述演習/戦後の世界①	論述演習/冷戦の展開①	月例テスト
	②	β/α 最難関大論述演習/戦後の世界②	論述演習/冷戦の展開②	—
	③	β/α 最難関大論述演習/戦後の世界③	論述演習/ヨーロッパの統合・戦後のアメリカ	—
12月	①	β/α 最難関大論述演習/戦後の世界④	論述演習/戦後の中国・朝鮮半島	月例テスト
	②	β/α 最難関大論述演習/戦後の世界⑤	論述演習/中東問題	—
	③	β/α 最難関大論述演習/戦後の世界⑥	論述演習/中東各国史・第三勢力	—
冬期	①②	β 東大過去問演習+テーマ史①②	通史の終了を踏まえ、東大世界史で特に重要なテーマの講義・演習	—
	③④	β 東大過去問演習+テーマ史③④	通史の終了を踏まえ、東大世界史で特に重要なテーマの講義・演習	—
	①②	α 東大過去問演習+テーマ史⑤⑥	通史の終了を踏まえ、東大世界史で特に重要なテーマの講義・演習	—
	③④	α 東大過去問演習+テーマ史⑦⑧	通史の終了を踏まえ、東大世界史で特に重要なテーマの講義・演習	—
1月	①	β/α 東大対策・テーマ別論述演習①/②	東大頻出の論述テーマを演習し、解答の視座を最終確認	—
	②	β/α 東大対策・テーマ別論述演習③/④	東大頻出の論述テーマを演習し、解答の視座を最終確認	—
	③	β/α 東大対策・テーマ別論述演習⑤/⑥	東大頻出の論述テーマを演習し、解答の視座を最終確認	—

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3世界史SK

対象

大学入試の選択科目で世界史を選択する生徒。京大などの難関国公立大学、および早慶上智大、GMARCH大などの難関私立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

240分
(2講座分)

講習会(1回)

180分

講座の目的

1日2コマの講義を連続して行います。便宜上、16:45～18:45のコマを「β」、19:15～21:15のコマを「α」と呼称します。「β」に関しては、既習範囲の問題演習と講義を組み合わせ実施、「α」に関しては講義を中心に行います。

講義は「β」「α」と連続して行いますので、必ずセットで受講してください。高3時の1年間で、教科書に記載されているすべての範囲を履修します。あわせて、履修したテーマごとに私大型入試問題・国立型論述問題を使用した問題演習を行い、内容の定着を図るとともに、答案作成の力の向上を図ります。2コマをセット受講することで、受験世界史で高得点をとるためのノウハウをすべて習得することを目的としています。

【教材】

■ 高3世界史SK 前期(講義編)・後期(講義編) ※春期・夏期は前期テキスト、冬期は後期テキストを使用します。

世界史SKの授業はこのテキストに沿って歴史の流れや必要な知識、入試の出題ポイントを解説していきます。原則左側が解説ページ・右側が主に地図やグラフなどの資料や板書のメモ用ページになっています。これらと授業中に口頭で解説されたものを組み合わせることで、受験世界史に必要な知識を習得できます。

■ 高3世界史SK 前期(問題演習編)・後期(問題演習編) ※春期・夏期は前期テキスト、冬期は後期テキストを使用します。

授業で習った内容について、入試問題を用いて知識を確認・定着させるために使用します。収録されている問題は記号選択・記述・正誤・論述といったさまざまな形式・レベルで構成されているため、自分の学力や志望にあった問題に取り組むことができるだけでなく、演習量を十分に確保することもできます。原則毎回の宿題として課されます。

■ 書き込み教科書 詳説世界史(山川出版社)

宿題として課される書き込み教科書は、教科書の重要部分を空欄にした問題集です。SKテキストや実力をつける世界史100題の演習前に宿題として取り組みましょう。また論述問題を課す大学を志望している受講生は空所補充はもちろん、その前後の文章を熟読して理解することで解答作成の際に役立てることができます。

■ 実力をつける世界史100題(Z会)

本講座で学習した単元を定着させるための問題集です。入試問題を想定した構成となっており、問題数は適量で解説が豊富についています。早稲田大や慶應義塾大などの難関私立大学入試への対応を意識し記述問題や用語確認の問題、正誤問題などが掲載されています。難度は高めなので、主に宿題としてテキストやノートで基本的な流れの把握・用語の暗記をしてから取り組んでもらうことになります。

■ 教科書・用語集・図説

教科書: 通史の内容を理解、定着させるためのものとして山川出版社『世界史探究 詳説世界史』・『新世界史』、帝国書院『新詳世界史探究』などがお勧めです。歴史の大きな流れを把握するには、編年体で記載されているものを使う方が効率的です。ある程度学習成果が定着したのなら、東京書籍『世界史探究』などのテーマ別に編集されたものを使用するとよいでしょう。

用語集: 現在使用しているものを使ってください。これから購入が必要な場合は山川出版社のものが単純な用語の確認であればお勧めです。

図説: 帝国書院『最新世界史図説タペストリー』または第一学習社『グローバルワイド最新世界史図表』がお勧めですが、現在使用しているものでも構いません。

【宿題】

毎回扱った範囲の以下の内容を行ってください。

- ①テキストの講義部分のインプット(暗記&理解)を行ってください。わからない用語は用語集などで調べて追記しておきましょう。
- ②書き込み教科書を解いてください。何度も繰り返せるようノートに行いましょう。丸付けまで行ってください。多少表現をかえううえで月例テストにも出題します。
- ③問題演習編と実力をつける世界史100題の指定された部分を解いてください。丸付けまで行い、「なぜ間違えたか」の原因分析も記述してください。解いて丸付けするだけの「作業」にならないように留意してください。(②・③はセットで毎回講師にノート提出してください。)

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
β	出次確認 確認テスト 5分 確認テスト ・解説 25分 演習15分 解説10分	講義 [単元の内容について] 85分		本時の まどめ 5分
α	講義 [単元の内容について] 115分			宿題等 の伝達 5分

・単元の内容やカリキュラム消化の都合などによって多少の変更がありますので、ご了承ください。・月例テストの回は冒頭で10分のテストを行います。・講習会の際には講義時間に変動があります。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	確認テスト	
3月	① αβ	先史時代/古代オリエント	化石人類の特徴、社会と国家の形成、オリエント各地域の動向	—	
	② αβ	古代オリエント/古代ギリシア	オリエントの統一、エーゲ文明、ポリスの成立、アテネとスパルタの特徴	3月①内容	
	③ αβ	ヘレニズム時代/古代イラン	マケドニアの台頭とヘレニズム世界の形成、ギリシア文化、パルティアとササン朝	3月②内容	
春期	① β	古代ローマ①	都市国家ローマの形成、身分闘争と領土の拡大	—	
	② β	古代ローマ②	内乱の一世紀と帝政ローマ、ローマ文化	—	
	③ β	古代インド①	統一前のインド、新宗教の登場	—	
	④ β	古代インド②/東南アジア史	インドの古代統一王朝、古代東南アジア諸王朝	—	
	① α	前近代中国史①	中国史の概観、殷周時代から秦の中国統一まで	—	
	② α	前近代中国史②	秦の政治から後漢の成立まで	—	
	③ α	前近代中国史③	後漢の政治から魏晋南北朝時代まで	—	
4月	④ α	前近代中国史④	隋の成立から唐の滅亡まで	—	
	① αβ	前近代中国史⑤	北宋時代、北方民族の成長	—	
	② αβ	前近代中国史⑥	モンゴル帝国、元時代から明の興隆まで	4月①内容	
5月	③ αβ	前近代中国史⑦	明の衰退から清(乾隆帝治世時代)まで、中国文化史	4月②内容	
	① αβ	イスラーム世界①	イスラーム教の成立と発展、三カリフ時代	月例テスト	
	② αβ	イスラーム世界②	イスラーム世界の分裂、ティムール帝国	5月①内容	
6月	③ αβ	イスラーム世界③	オスマン帝国、ムガル帝国、イスラーム文化史	5月②内容	
	① αβ	中世ヨーロッパの成立と展開①	中世ヨーロッパの概観、ゲルマン人の大移動からフランク王国の動向	月例テスト	
	② αβ	中世ヨーロッパの成立と展開②	第二次民族大移動、封建社会の成立、ローマ教会の発展、ビザンツ帝国	6月①内容	
7月	③ αβ	中世ヨーロッパ社会の変質①	スラブ世界、十字軍、商業ルネサンスと中世都市	6月②内容	
	① αβ	中世ヨーロッパ社会の変質②	封建社会の動揺、各国史(英仏)、百年戦争とその影響	月例テスト	
	② αβ	近世ヨーロッパ社会の胎動①	各国史(独・伊・イベリア半島)、中世ヨーロッパ文化、ルネサンス	7月①内容	
夏期	③ αβ	近世ヨーロッパ社会の胎動②	古代アメリカ文明、大航海時代とその影響、宗教改革の展開	7月②内容	
	① β	近世ヨーロッパ①	絶対主義の成立、スペインの繁栄とオランダの独立	—	
	② β	近世ヨーロッパ②	イギリス・フランスの絶対主義(ルイ14世の侵略戦争まで)	—	
	③ β	近世ヨーロッパ③	ドイツ三十年戦争、英仏の植民地戦争	—	
	④ β	近世ヨーロッパ④	プロイセンとオーストリア、ロシアの成長、17・18世紀ヨーロッパ文化	—	
	⑤ β	市民革命/産業革命①	イギリス市民革命、立憲政治の展開	—	
	⑥ β	市民革命/産業革命②	産業革命、アメリカ独立革命の展開	—	
	① α	市民革命/産業革命③	フランス革命の展開と変質(第一共和政終了まで)	—	
	② α	19世紀欧米諸国の動向①	ナポレオン時代、ウィーン体制下のヨーロッパ(1848年まで)	—	
	③ α	19世紀欧米諸国の動向②	19世紀後半のイギリス、イタリアの統一運動	—	
	④ α	19世紀欧米諸国の動向③	ドイツの統一運動(ビスマルク体制の成立まで) 二月革命後のフランス(第三共和政の成立まで)	—	
	⑤ α	19世紀欧米諸国の動向④	19世紀のロシアと東方問題の推移	—	
	⑥ α	19世紀欧米諸国の動向⑤	19世紀のアメリカ合衆国と中南米諸国の動向	—	
	9月	① αβ	近代のアジア①	帝国主義時代の概観、清の衰退と近代化	—
		② αβ	近代のアジア②	冊封体制の動揺、列強による中国分割と辛亥革命、オスマン帝国の衰退	9月①内容
③ αβ		近代のアジア③	西アジアの民族運動、ムガル帝国の植民地化、東南アジアの動向	9月②内容	
10月	① αβ	帝国主義と世界分割	帝国主義時代(英・仏・独・露・米)、アフリカ&太平洋分割	月例テスト	
	② αβ	第一次世界大戦とロシア革命	第一次世界大戦の展開と影響、ロシア革命、ソ連の成立	10月①内容	
	③ αβ	戦間期の欧米諸国①	ヴェルサイユ体制の成立、戦後危機の時代、戦間期の米英仏	10月②内容	
11月	① αβ	戦間期の欧米諸国②・アジア諸国①	戦間期の独・伊・ソ連、東欧諸国、辛亥革命後の中国と日本の侵略	月例テスト	
	② αβ	戦間期のアジア諸国②	日本の朝鮮支配、西アジア諸国・インド・東南アジアの動向	11月①内容	
	③ αβ	世界恐慌と第二次世界大戦①	世界恐慌の発生と各国の対応、ファシズムの台頭	11月②内容	
12月	① αβ	世界恐慌と第二次世界大戦②・戦後世界の動向①	第二次世界大戦、冷戦の開始と第三世界の台頭①	月例テスト	
	② αβ	戦後世界の動向②	冷戦の開始と第三世界の台頭②	12月①内容	
	③ αβ	戦後世界の動向③	ヨーロッパ統合、戦後のアメリカ	12月②内容	
冬期	① β	戦後世界の動向④	戦後の中国・朝鮮半島	—	
	② β	戦後世界の動向⑤	中東問題など	—	
	③ β	戦後世界の動向⑥	戦後各国史、第三勢力の動き、19・20世紀のヨーロッパ文化	—	
	④ β	テーマ史・総合演習①	中国文化史(全時代)演習、頻出テーマ史など	—	
	① α	テーマ史・総合演習②	前近代のヨーロッパ文化史演習①、頻出テーマ史など	—	
	② α	テーマ史・総合演習③	前近代のヨーロッパ文化史演習②、頻出テーマ史など	—	
	③ α	テーマ史・総合演習④	近代以降のヨーロッパ文化史演習①、頻出テーマ史など	—	
1月	④ α	テーマ史・総合演習⑤	近代以降のヨーロッパ文化史演習②、頻出テーマ史など	—	
	① αβ	テーマ史・総合演習⑥	古代～中世世界の演習、総合演習	—	
	② αβ	テーマ史・総合演習⑦	中世～近世世界の演習、総合演習	—	
	③ αβ	テーマ史・総合演習⑧	近現代世界の演習、総合演習	—	

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

高3地理TW

対象

大学入試の選択科目で地理を選択する生徒のうち、特に東大・一橋大などの最難関国立大学を目指す生徒。

通常授業(1回)

120分

講習会(1回)

180分

講座の目的

授業は学習内容の基本的解説から始まり、最難関大学の論述に対応するために必要な思考力・記述力を養成していきます。最終的には大学入学共通テスト90点以上、かつ国立2次試験で地理を得点源にできる状態にすることが目標です。単なる知識の暗記にとどまることなく、教科書や資料集に掲載されている地図や統計資料を読み取り考察できるように指導していきます。また、指定教材に繰り返し取り組むことで、正誤にのみこだわらず、正答にたどり着くまでのプロセスを重視した授業が展開されます。

【教材】

■ 地理TW(前期・夏期・後期・冬期)

高3地理の授業はこのテキストに沿って進められます。重要語句のまとめはもちろん、表や図も掲載されている網羅的なテキストですが、授業の際には手元に地図帳とデータブック(出版社は問いません)を必ず用意し、適宜参照しながら授業を受けてください。

ここで得た知識を踏まえ東大必勝コースにて演習と添削を積み重ねることにより、東大合格ラインへ確実に到達できる力を身につけていきます。

使用法

授業:基礎の確認が終了したら問題に取り組みます。解答を直接書き込むのではなく、解答用のノートを一冊用意し、繰り返し反復できるようにしましょう。

復習:授業で扱った範囲は、必ず次の授業までに解きましょう。解説を読んでも分からないものは、次の授業で質問する姿勢を心がけてください。

■ 実力をつける 地理100題

地理は知識事項をただ覚えただけでは点数に結び付きません。獲得した知識を元に表やグラフを分析しながら良問を解く経験値を積み重ね、はじめて効果的に点数を伸ばすことができるようになります。授業を受けた後にノートを見返してポイントを確認し、その後の問題集を解いて理解の確認と知識定着をはかりましょう。

使用法

復習:担当講師から家庭学習で解くべき範囲の指示が出ますので、それに従い演習・復習を行ってください。

【宿題】

毎回授業で扱った範囲について、以下の作業を行ってください。

- ①講義内容をノート・ルーズリーフで確認し、重要語句を覚える。
- ②手元の地図帳やデータブックで教わった知識の位置や周辺情報を確認する。
- ③テキストの穴埋め部分を即座に答えられるか確認し、間違えたものはできるようになるまで繰り返し復習・確認作業を行う。
- ④家庭学習用に課した確認テストの答えをノート・ルーズリーフに書いてください(丸付けまで行うこと)。授業中にチェックします。

※知識のみを覚えるような勉強の仕方だと、地図やグラフを用いた考察問題に対応できなくなり再度覚えなおすことになってしまうので、復習の際に②も組み込むことを意識してください。

【授業進行例(通常授業)】

0	30	60	90	120
出欠確認 諸伝達 5分	講義 110分			宿題等 伝達 5分

・クラスの数や理解度などによって多少変更されることがあります。ご了承ください。・月例テストの回はテストが20分です。

【カリキュラム】

月	回	単元	内容	月例テスト
3月	①	大地形	成因(内的営力)と地体構造例の理解と知識定着	—
	②	小地形	成因(外的営力)と地形例の理解と知識定着	—
	③	日本の地形	日本の大断層、プレート、日本の地形の特徴の理解と知識定着	—
春期	①	気候	気候記号名の理解、気温・降水量による区分・分布	—
	②	ケッペン気候区分	気候区の特徴の理解と知識定着	—
	③	土壌・植生	成帯・間体土壌、気候区と植生の対応、各特長の理解と知識定着	—
	④	自然環境の総復習	自然環境分野の総合確認	—
4月	①	環境問題①	地球環境問題、開発による環境問題	—
	②	環境問題②	新しい(ダイオキシン、原子力発電など)環境問題会議・条約の理解	—
	③	国家・人種・民族①	国家の3要素、領域、自然的・人為的国境、国家群の理解と知識定着	—
5月	①	国家・人種・民族②	宗教・言語、民族紛争、領土問題、民族問題の理解と知識定着	月例テスト
	②	農業①	農産物の生産・分布、成立条件、農業地域区分の理解と知識定着	—
	③	農業②	農産物の生産・分布、成立条件、農業地域区分の理解と知識定着	—
6月	①	農業の諸問題	日本の地域別農業の特徴、牧畜と環境問題、稲作の理解と知識定着	月例テスト
	②	地誌と問題演習(東アジア)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
	③	地誌と問題演習(東南アジア)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
7月	①	地誌と問題演習(南アジア)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	月例テスト
	②	地誌と問題演習(西・中央アジア)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
	③	地誌と問題演習(アフリカ)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
夏期α	①	人口	用語、移動、ピラミッド、三角図表、日本の人口問題、都市人口率など	—
	②	人口の移動	用語、移動、ピラミッド、三角図表、日本の人口問題、都市人口率など	—
	③	都市	構造、都市群、形態、機能、問題、ウォーターフロント開発、政令指定都市	—
夏期β	①	林業・水産業	植生分類、土壌と植生、木材の用途、主要漁場、海洋新秩序など	—
	②	エネルギー資源①	炭田、ウラン・天然ガス、日本の原油輸入、電力消費など	—
	③	エネルギー資源②	自給率、原子力、環境の理解と知識定着	—
9月	①	鉱業	資源の分布・特徴、鉄鉱石の貿易の理解と知識定着	—
	②	工業①	工業立地、自動車工業の理解と知識定着	—
	③	工業②	産業集積・国際分業の理解と知識定着、日本の製造業就業数、製造品出荷額	—
10月	①	村落	村落の立地・発達の理解と知識定着	月例テスト
	②	交通・通信	交通手段、貿易と交通の理解と知識定着、通信の多様化と課題の理解と知識定着	—
	③	貿易・国際関係①	貿易品目と国名、日本の貿易、貿易と環境問題、中国の産業開発課題など	—
11月	①	貿易・国際関係②	貿易品目と国名、日本の貿易、貿易と環境問題、中国の産業開発課題など	月例テスト
	②	地誌と問題演習(アンソロアメリカ)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
	③	地誌と問題演習(ラテンアメリカ)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
12月	①	地誌と問題演習(ヨーロッパ)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	月例テスト
	②	地誌と問題演習(ロシア・CIS・東欧)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
	③	地誌と問題演習(オセアニア・太平洋)	地誌の理解と問題演習による確認・定着	—
冬期	①	総合演習	大気の大循環、日本の河川と交通、偏西風、地形図読図など	—
	②	総合演習	サハルの農業、農作物、日本の林業と人口、世界の林産資源、海洋資源など	—
	③	総合演習	エネルギー資源、工業形態と立地、鉄鋼業、村落の形成、小地形など	—
	④	総合演習	ヨーロッパの水上交通、環境と河川、経済ブロックと交通、日本の貿易など	—
1月	①	共通テスト対策	過去問演習を含む共通テスト対策を実施	—
	②	総合演習	1・2学期の復習と発展または入試問題演習	—
	③	総合演習	1・2学期の復習と発展または入試問題演習	—

上記カリキュラムのほかにも、確認テストが行われる場合があります。また、クラスごと、個人別の課題を設定する場合があります。

【受講にあたってのご案内】

クラス分け

選抜クラス(TWクラス・Tクラス)に関しては、中1～高1生は「TW/Tクラス選抜試験」、高2生は「東大水準模試」および理科TWクラス選抜試験、高3生は「東大必勝模試」および理社TWクラス選抜試験の結果により受講資格が与えられます。これらの試験は7月と12月に実施され、それぞれ後期(9月～翌年2月)と前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します(※)。

SKクラス(1組・2組)・Rクラス(高3のみ)に関しては、必修テストの結果に応じてクラス分けを行います。2月・6月のテストで後期(9月～翌年2月)、9月・11月の必修テストで前期(翌年3月～8月)のクラスを確定します。

※高3「東大必勝模試」は6月・9月の実施です。

月例テスト

解答用紙を実施前月の月末発送物で送付します。対面参加生は送付されたものを月例テスト実施日に持参してください。問題用紙につきましては、対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に公開された問題を見てテストを行います。

いずれの学年も、Zoom参加生は解答用紙を「早稲田アカデミーEAST」アプリを使用して、テスト当日の22時までに提出してください。また、実施後には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に解答を公開しますので、復習にご活用ください。

採点後の答えは、対面参加生には授業で直接返却し、Zoom参加生は「早稲田アカデミーEAST」での返却および月末(※)の発送物にて送付します。

※「早稲田アカデミーEAST」アプリで提出された答案に関しては、翌月末の発送物での送付となるケースがあります。ご了承ください。

確認テスト

対面参加生は授業の際に直接配布、Zoom参加生は画面共有でテストを行います。

翌月上旬には早稲田アカデミーOnline内「学習コンテンツ」に問題・解答を公開しますので、復習にご活用ください。

早稲田アカデミーEAST(アプリ)

月例テストの解答用紙や英語TW Boosterクラスの課題の提出に使用するアプリです。「早稲田アカデミーEAST」のアプリをダウンロードし、ホームページに掲載されている「スタートアップガイド」に従って解答用紙などの提出を行ってください。

早稲田アカデミーOnline(アプリ)

早稲田アカデミーが提供するさまざまなICTサービスを利用するための、オリジナルポータルサービスです。授業スケジュールの確認、遅刻や欠席の連絡、「双方向Web授業」や「学習コンテンツ」へのアクセスができるほか、各種お申し込みや請求支払い状況の照会などの機能を搭載しています。「お知らせ」には、時間割や保護者会のご案内など、重要なお知らせを配信します。

アプリのインストールおよびアカウント作成についての詳細は、ご入塾の際に配布している案内をご確認ください。

振替制度

同じクラス名の授業を他校舎にて振替出席することが可能です。事前に所属校舎までお申し出ください。校舎によって授業実施曜日が異なりますので、早稲田アカデミーOnlineに掲載されている年間カレンダーにて授業スケジュールをご確認いただき、授業回数が異なってしまわないようご注意ください。

教材の購入方法

テキスト使用予定約1か月前から早稲田アカデミーOnlineにてテキストが購入できるようになります。

購入が必要な時期(※)に「教材のご案内」を配布いたします。購入に必要な各教材の「教材コード」などが記載されておりますので、そちらを参照してご購入いただけます。

また、受講していない講座や、他学年の物などを含め時期が異なる教材の購入も可能です。購入をお考えの教材内容に関しては校舎までお問い合わせください。

※テキストの切り替わる時期に関しては各科目のカリキュラムのページをご確認ください。

サクセスタイムズ(毎月のお知らせ)

毎月の営業日時・休講日・模試・イベント等のご案内は、早稲田アカデミーOnlineに「サクセスタイムズ」を掲載させていただきますのでご確認ください。

ご不明点などございましたら所属校舎までお問い合わせください。

配布物ファイル

お知らせ等の配布物は授業時にクリアファイルに入れて配付いたします。授業中に配付しますので、中身を受け取り後、ファイルを授業担当講師へ返却してください。

授業がZoomでの参加のみ等の理由で直接お渡しできていない方に関しては、当月末の発送物にて送付します。

事務受付時間

通常営業日 平日・土曜 13:00～19:30

講習会期間 9:00～19:00

※日曜日の営業日時や受付時間変更などに関しては、毎月早稲田アカデミーOnlineに掲載される「サクセスタイムズ」をご参照ください。

自習室の利用

通常営業日 平日・土曜 13:00～21:30

講習会期間 8:30～20:00

※利用時間や利用可能日を変更させていただく場合がございます。変更がある場合は、早稲田アカデミーOnlineにてご案内いたします。

SYLLABUS 2026

[高校3年生コース]

 **早稲田アカデミー 大学受験部**